

令和6年度  
福井県海岸漂着物等実態調査業務

報告書

令和6年7月

有限会社日本交通流動リサーチ 北陸事務所

# 目 次

1. 業務概要	1
1-1 業務名	1
1-2 業務の目的	1
1-3 業務の概要	1
1-4 履行期間	1
1-5 納入場所	1
1-6 業務組織計画	1
1-7 連絡体制	2
1-8 成果品の内容、部数	3
2. 実施方針	4
2-1 業務フロー	4
2-2 調査計画	4
3. 調査内容	5
3-1 海岸漂着物の組成調査（計測・記録）	5
3-2 調査時の留意事項	13
3-3 データのとりまとめ	13
4. 調査期間中の気象	14
5. 調査結果	19
5-1 調査前後の状況	19
5-2 海岸漂着物調査結果	20
5-3 大分類別の組成	29
5-4 人工物別の組成	30
5-5 3分類別の組成	31
5-6 国別の組成	32
5-7 水晶浜海水浴場におけるごみの傾向	37
6. 過年度調査結果との比較	40
6-1 比較概要	40
6-2 大分類別調査結果の比較	41
6-3 人工物別調査結果の比較	45
6-4 3分類別調査結果の比較	49
6-5 国別調査結果の比較	52
6-6 プラ分類別調査結果の比較	56
6-7 ヒアリング調査	61
6-8 気象状況（降水量・風速・風向）の比較	63
7. 調査結果のまとめ	70

=====

## 添付資料

- ・データシート
- ・写真帳

## 1. 業務概要

### 1-1 業務名

令和6年度福井県海岸漂着物等実態調査業務

### 1-2 業務の目的

本業務は、県内の1海岸において、長期的に継続して漂着ごみの組成や存在量の実態を把握することを目的とし、発生抑制策等を検討する際の基礎資料とするものである。

### 1-3 業務の概要

本業務における業務概要を以下に示す。

(1) 打合せ協議	1式
(2) 調査計画	1式
(3) 調査準備	1式
(4) 海岸漂着物の組成調査（計測・記録）	1式
(5) データのとりまとめ	1式
(6) 報告書作成	1式

### 1-4 履行期間

令和6年4月1日から令和6年7月31日まで

### 1-5 納入場所

福井県エネルギー環境部循環社会推進課資源循環グループ

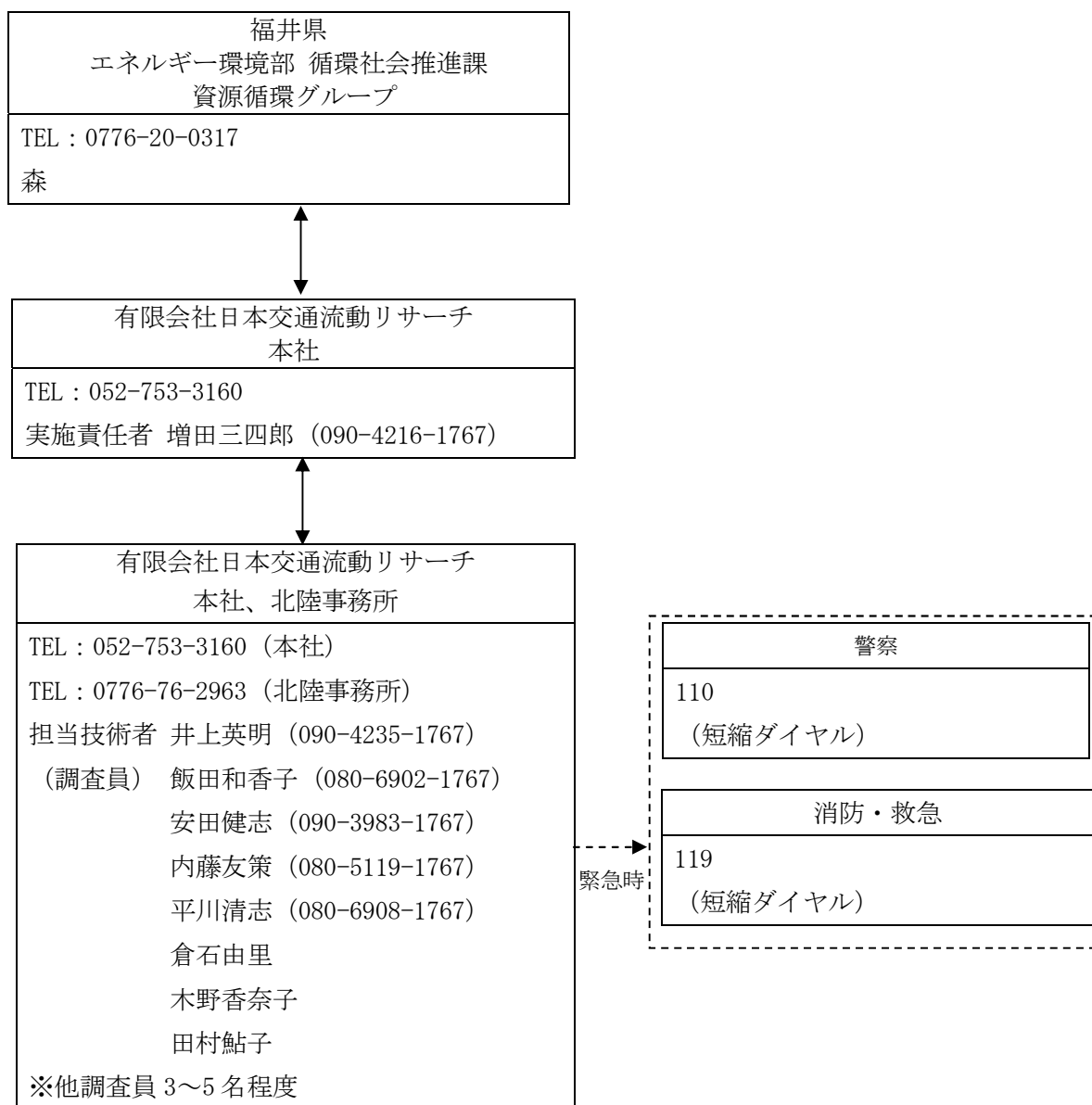
### 1-6 業務組織計画

業務組織計画を以下に示す。

- ・実施責任者：増田三四郎（本社）
- ・担当技術者：井上英明（本社）
  - ：飯田和香子（本社）
  - ：安田健志（北陸事務所）
  - ：内藤友策（本社）
  - ：平川清志（本社）
  - ：倉石由里（本社）
  - ：木野香奈子（本社）
  - ：田村鮎子（北陸事務所）

## 1-7 連絡体制

本業務は、以下に示す連絡体制のもと実施した。



海岸漂着物の組成調査を行う三方郡美浜町の緊急連絡先は以下のとおりである。

### 警察署

	警察署名	所在地	電話番号
三方郡美浜町	敦賀警察署	敦賀市木崎12-18-1	0770-25-0110

### 消防署

	消防署名	所在地	電話番号
三方郡美浜町	敦賀美浜消防組合美浜消防署	三方郡美浜町興道寺10-43	0770-32-1190

### 病院(救急)

	病院名	所在地	電話番号
三方郡美浜町	市立敦賀病院	敦賀市三島町1-6-60	0770-22-3611

## 1-8 成果品の内容、部数

成果品の内容、部数は以下のとおりである。

- (1) 報告書 (A4 版、紙媒体 1 部)
- (2) 報告書の電子データ (CD-R 等、2 枚)

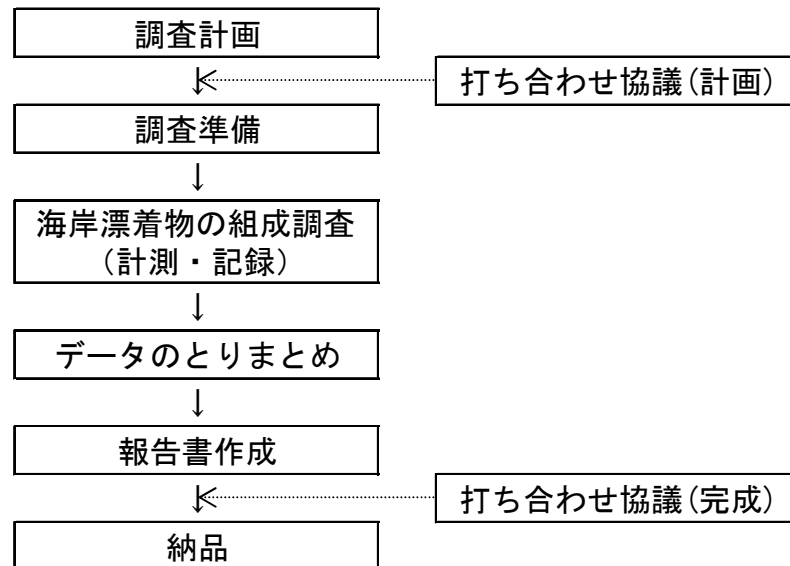
※報告書については下記の内容を含むものとする。

- ・別紙の「漂着ごみ データシート②」及び「言語表記等調査のデータシート」の電子データ (Excel 形式)
- ・調査範囲を記載した地図データ (PDF 形式)
- ・回収漂着ごみの写真データ (外国語表記の割合がわかる写真を含む) (jpeg 形式)
- ・調査の実施方法、漂着物分類結果、組成比

## 2. 実施方針

### 2-1 業務フロー

本業務の業務フローは以下のとおりである。



### 2-2 調査計画

過年度に調査を実施した地点について、経年の変化を適切に把握するため、漂着ごみ量が平均的と見られる位置において調査を実施した。

海岸漂着物の組成調査については、調査に必要な人員数及び所要時間の推定は、環境省の「地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン（令和5年6月 第3版）」に示す計算式から算出し、調査に必要な人員数を確保するものとするが、今年度の現地状況や過年度の調査人員数なども踏まえ、1日に必要な作業人員数を設定した。風や波など自然要因によって漂着するごみの時間的な影響を除くため、1地点における回収作業は1日で完了することを基本とした。また、調査当日の作業の進捗、調査員の体調や天候等を優先し、安全を最優先した行動に努めた。

### 3. 調査内容

#### 3-1 海岸漂着物の組成調査（計測・記録）

環境省「地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン（令和5年6月 第3版）」（以下「ガイドライン」という。）に基づき、海岸漂着物の組成及び量の調査を行った。

##### (1) 調査対象地点

調査地点については、以下に示す1地点とし、詳細は図-2に示す。

- ・水晶浜海水浴場（三方郡美浜町竹波）

##### (2) 調査日時

令和6年4月30日（火）9時～18時

##### (3) 調査方法

###### ①調査範囲

調査範囲は、事前に県で設定してある杭で囲まれている範囲とした。

海岸漂着物の調査範囲は、調査対象海岸内に、漂着物の代表的な状況が把握できるような調査範囲を下図のように海岸線沿いに原則として連続した幅50m、調査時の海岸汀線から海岸の後背地（植生もしくは堤防等人工物）までの間と記載されている（図-1参照）。

今回の調査では、下表の通り海岸線沿いに連続した幅69.5m、奥行きは砂浜部と階段状護岸際までの28.5mで囲まれた範囲で実施した（表-1参照）。

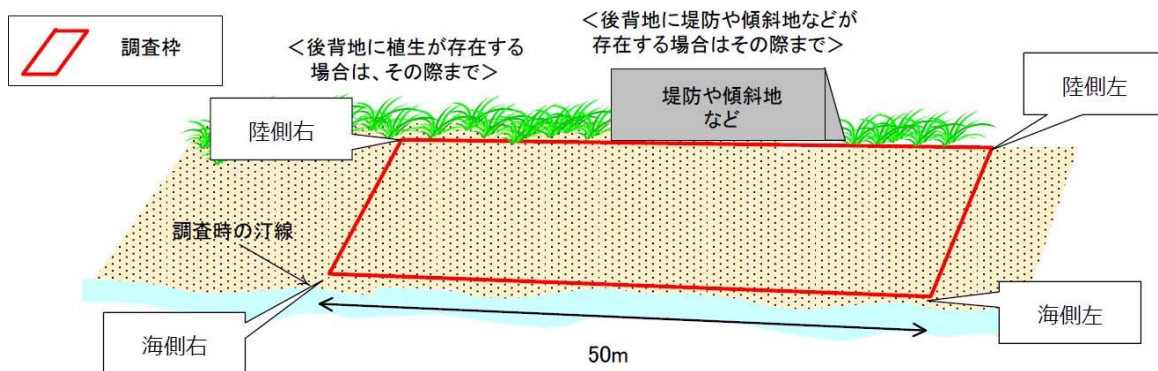


図-1 調査範囲のイメージ

※ガイドラインより抜粋

表-1 調査範囲

海岸名	海岸線長 (m)	砂浜部の奥行き (m)
水晶浜海水浴場 (三方郡美浜町竹波)	69.5	28.5

## ②調査対象ごみ

調査区画内（海岸線 69.5m）の漂着物（長さ 2.5cm 以上）を回収した。なお、2.5cm 未満の漂着物であっても、ガイドラインの漂着ごみ分類表（以下「分類表」という。）に記載の項目のうち発生源推定に資するもの（たばこの吸い殻（フィルター）、カキ養殖用まめ管など）は回収を行った。

## ③分類・計測

海岸漂着物の分類は、ガイドラインの漂着ごみ分類表の「大分類（プラスチック、発泡スチロール、ゴム、自然物など）」、「オプション項目（飲料用ペットボトル、レジ袋、発泡スチロール製フロート、タイヤ、流木など）」により分類し（表-3 参照）、必要に応じて「特徴的な漂着ごみ」を記録した。なお、ペットボトル、ペットボトルのキャップ・ふた、浮子（ブイ）については、記載されたバーコードやラベル等の表記が読み取れるものは、言語の特定を行い、ガイドラインに従って分類した（表-4 参照）。

海岸漂着物の計測は、種類ごとに個数、容量及び重量を測定し記録した。なお、「破片」類や「灌木」に分類されたものは、個数の計数は実施しなかった。また、ガイドラインに記載のない事項については下記のとおりとした。

- ・破損等により破片となったごみは、推定が可能な場合は元の製品として、不可能な場合は破片として分類した。
- ・葦等の灌木は、一定量回収し、重量、容量の概算値を記録した。

## ④その他

計測結果に加え、調査日時、調査範囲の緯度・経度（GPS で記録）、調査範囲の海岸汀線から後背地までの距離、海岸基質を記録した。

## (4) 廃棄物の処分

「海岸漂着物の組成調査」の際に回収した廃棄物（海岸漂着物等）は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び福井県美浜町の廃棄物処理計画等に則り適正に処理した。

また、調査終了後、調査区画内の細かいごみ（自然物含む）等についても可能な限り回収し、調査のため回収したごみと同様に処理した。





図-2 水晶浜海水浴場（三方郡美浜町竹波）の調査範囲等

表-2(1) 漂着ごみの分類表(1/2)

大分類	必須項目	オプション項目	ブラ分類	
プラスチック類	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	容器包装	
	ボトル<1L	飲料用(ペットボトル)<1L	飲料用(ペットボトル)<1L	容器包装
		その他のプラボトル<1L	その他のプラボトル<1L	容器包装
		飲料用(ペットボトル)≥1L	飲料用(ペットボトル)≥1L	容器包装
		その他のプラボトル類≥1L	その他のプラボトル類≥1L	容器包装
		ストロー	ストロー	製品
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	製品	
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	コップ、食器	コップ、食器	製品
		食品容器	食品容器	容器包装
		食品の容器包装	食品の容器包装	容器包装
	ポリ袋(不透明、透明)	レジ袋	レジ袋	容器包装
		その他プラスチック袋	その他プラスチック袋	容器包装
	ライター	ライター	製品	
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	製品	
	シートや袋の破片	シートや袋の破片	その他	
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片	その他	
	ウレタン	ウレタン	その他	
	浮子(ブイ)(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)	海域由来	
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	海域由来	
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	海域由来	
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	海域由来	
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	海域由来	
	漁網(漁具)	漁網(漁具)	海域由来	
	その他の漁具(漁具)	かご漁具	かご漁具	海域由来
		その他の漁具	その他の漁具	海域由来
	釣具	釣りのルアー、浮き	釣りのルアー、浮き	海域由来
		釣り糸	釣り糸	海域由来
		その他の釣具	その他の釣具	海域由来
	たばこ吸殻(フィルター)	たばこ吸殻(フィルター)	製品	
	生活雑貨(歯ブラシ等)	生活雑貨(歯ブラシ等)	製品	
	苗木ポット	苗木ポット	製品	
	その他	花火	花火	製品
玩具		玩具	製品	
プラスチック梱包材		プラスチック梱包材	容器包装	
シリンジ、注射器		シリンジ、注射器	製品	
分類に無いもので多数見つかった場合には記載		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	品目による	
その他		その他	品目による	
プラスチック類 (発泡スチロール)	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)	容器包装	
		コップ、食器(発泡スチロール)	製品	
	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	海域由来	
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片	その他	
	発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材	容器包装	
	その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載	品目による	
	その他	品目による		

※地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン(令和5年6月第3版)より引用

表-2(2) 漂着ごみの分類表(2/2)

大分類	必須項目	オプション項目	プラ分類
ゴム	ゴム	タイヤ 玩具、ボール 風船 靴(サンダル、靴底含む) ゴムの破片 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材 食品容器 ガラス、陶器の破片 食品以外容器 コップ、食器 電球 蛍光管 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
金属	金属	ビンのふた、キャップ、プルタブ アルミの飲料缶 スチール製飲料用缶 金属製コップ、食器 フォーク、ナイフ、スプーン等 その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等) 金属片 ワイヤー、針金 金属製漁具 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器 タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む) 花火 紙袋 食品包装材 紙製容器(飲料用紙パック等) 紙片(段ボール、新聞紙等を含む) 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む) 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満) 流木(径10cm以上、長さ1m以上) 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
人力で動かせない物			

※地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン(令和5年6月第3版)より引用

表-3(1) 漂着ごみデータシート②(1/2)

漂着ごみ データシート②

都道府県名: \_\_\_\_\_ 調査海岸の奥行き(平均): \_\_\_\_\_ m

実施者: \_\_\_\_\_ 海岸基質: 砂浜 礫浜 磯浜 その他( \_\_\_\_\_ )

調査海岸: \_\_\_\_\_ 海岸 調査地点 中心点: N \_\_\_\_\_ E \_\_\_\_\_

調査実施日: \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ※小数点第5位まで記載(例: N 35.00000, E 135.00000)

回収開始時刻: \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 清掃: 3ヶ月以内に実施 1年以内に実施

回収終了時刻: \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 台風・豪雨: 1ヶ月以内 3ヶ月以内

回収作業人数: \_\_\_\_\_ 人 重機の使用: 無 有 (バックホウ 台、ユニック 台 その他( \_\_\_\_\_ ))

奥行き方向の回収範囲 全範囲 一部範囲 ( \_\_\_\_\_ m )

河口付近:  島嶼地域:

大分類	必須項目	オプション項目	個数	容量(L) ※	重量(kg) ※	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた				
	ボトル	飲料用(ペットボトル)<1L	飲料用(ペットボトル)<1L			
		その他のプラボトル<1L	その他のプラボトル<1L			
		飲料用(ペットボトル)≥1L	飲料用(ペットボトル)≥1L			
		その他のプラボトル類≥1L	その他のプラボトル類≥1L			
	ストロー	ストロー				
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等				
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	カップ、食器 食品容器				
	ポリ袋(不透明、透明)	食品の容器包装 レジ袋 その他プラスチック袋				
	ライター	ライター				
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)				
	シートや袋の破片	シートや袋の破片				
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片				
	ウレタン	ウレタン				
	浮子(フイ)(漁具)	浮子(フイ)(漁具)				
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)				
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)				
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)				
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)				
	漁網(漁具)	漁網(漁具)				
	その他の漁具(漁具)	かご漁具 その他の漁具				
	釣具	釣りのルアー・浮き 釣り糸 その他の釣具				
	たばこ吸殻(フィルター)	たばこ吸殻(フィルター)				
	生活雑貨(歯ブラシ等)	生活雑貨(歯ブラシ等)				
	苗木ポット	苗木ポット				
	その他	花火 玩具 プラスチック梱包材 シリンジ、注射器 分類に無いもので多数見つかった場合には記載(マスク その他				
	(発泡スチロール)	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール) コップ、食器(発泡スチロール)			
発泡スチロール製フロート、浮子(フイ)		発泡スチロール製フロート・浮子(フイ)				
発泡スチロールの破片		発泡スチロールの破片				
発泡スチロール製包装材		発泡スチロール製包装材				
その他		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( その他				

※ 少なくとも「個数及び容量(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容量(L)・重量(kg)」すべて計測する。

※地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン(令和5年6月第3版)より引用

表-3(2) 漂着ごみデータシート②(2/2)

大分類	必須項目	オプション項目	個数	容量(L) ※	重量(kg) ※
ゴム	ゴム	タイヤ			
		玩具、ボール			
		風船			
		靴(サンダル、靴底含む)			
		ゴムの破片			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(			
		その他			
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材			
		食品容器			
		ガラス、陶器の破片			
		食品以外容器			
		コップ、食器			
		電球			
		蛍光管			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(			
金属	金属	ビンのふた、キャップ、プルタブ			
		アルミの飲料缶			
		スチール製飲料用缶			
		金属製コップ、食器			
		フォーク・ナイフ・スプーン等			
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)			
		金属片			
		ワイヤー、針金			
		金属製漁具			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(			
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器			
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)			
		花火			
		紙袋			
		食品包装材			
		紙製容器(飲料用紙パック等)			
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(			
		その他			
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(			
		その他			
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(			
		その他			
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器			
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)			
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(			
		その他			
その他	その他	その他1( )			
		その他2( )			
		その他3( )			
人力で動かせない物	緯度: 経度:	ごみの種類( )			
総合計					

※ 少なくとも「個数及び容量(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容量(L)・重量(kg)」すべて計測する。

※地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン(令和5年6月第3版)より引用

表-4 言語表記等調査特定のデータシート

言語表記等調査のデータシート

調査実施日： \_\_\_\_\_ 調査地点： \_\_\_\_\_

ペットボトル				ペットボトルのキャップ			漁業用の浮子（ブラ以外を含む。）		
項目	バーコード記載/表記言語 (最初の2ケタ or 3ケタ)	製造国	個数	項目	表記言語	個数	項目	表記言語	個数
ペット ボトル	49 or 45	日本		ペット ボトル の キャ ップ	日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)		漁 業 用 の 浮 子	日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)	
	69	中国			中国・台湾(漢字)			中国・台湾(漢字)	
	880	韓国			韓国(ハングル)			韓国(ハングル)	
	471	台湾			ロシア(ロシア語)			ロシア(ロシア語)	
	46	ロシア			不明(文字読取れず)			不明(文字読取れず)	
	不明(バーコード読取れず)	—			(表記言語)英語			(表記言語)_____	
	バーコード読取可能 ( )				(表記言語)フランス			(表記言語)_____	
	バーコード読取可能 ( )				(表記言語)何語かわからず			(表記言語)_____	
	バーコード読取可能 ( )				(表記言語)ポルトガル			(表記言語)_____	
	日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)				(表記言語)_____			(表記言語)_____	
	中国・台湾(漢字)				(表記言語)_____			(表記言語)_____	
	韓国(ハングル)				(表記言語)_____			(表記言語)_____	
	ロシア(ロシア語)				(表記言語)_____			(表記言語)_____	
	不明(文字読取れず)	—			(表記言語)_____			(表記言語)_____	
	(表記言語)_____				(表記言語)_____			(表記言語)_____	
	(表記言語)_____				(表記言語)_____			(表記言語)_____	
	(表記言語)_____				(表記言語)_____			(表記言語)_____	

※地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン(令和5年6月第3版)より引用

### 3-2 調査時の留意事項

調査を行うにあたり、以下の事項に十分留意した。

- ・調査実施にあたっては、安全管理に万全を期するものとする。
- ・車の運転にあたっては交通法規を遵守し、安全運転に努める。
- ・調査員は、実施責任者の指示に従い、疑問点は調査前に確認する。
- ・調査時の服装は、華美な服装や不審に思われるような服装を避ける。
- ・調査中の喫煙、食事は禁止とする。
- ・調査中は、通行の安全を確保し、事故等の防止に努める。
- ・食事は休憩時間内に行い、休憩中に出たごみは速やかに片付け、調査地点を常にきれいに保つ。
- ・実施責任者は、昼間気温30℃を越す真夏日が予想されるときには、熱中症対策として十分な水分、塩分を補給するよう調査員に指示し、定期的に調査員の健康状態を確認する。
- ・トイレについては、調査地点付近の公衆トイレ等を利用する。
- ・調査終了時には、責任を持って後片付けを行い、現状復旧に努める。

### 3-3 データのとりまとめ

- ・福井県が過去に実施した調査結果及び本年度調査結果について、データの整理・分析・考察を行い、結果をとりまとめた。
- ・過去に実施した組成調査の結果について、本年度調査結果を併せ、比較検討ができるようにグラフ等を作成・整理した。比較検討だけでなく、本年度結果のみについてまとめたグラフ等についても作成・整理した。なお、データの作成・整理にあつては、Microsoft Excel（表計算ソフトウェア）を用いた。

#### 4. 調査期間中の気象

調査対象海岸付近の令和6年1月～4月の気象情報（降水量、風速・風向）を気象庁ウェブサイト（参照：気象庁HP「過去の気象データ」<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/>）から入手し整理した。なお、以降に示す気象データについては、いずれも上記の気象庁ウェブサイトを参照しているものである。

気象庁観測地点は以下の図-3に示すとおりである。

- ・水晶浜海水浴場：美浜観測所（位置：北緯35° 36.0′ 東経135° 55.0′）



図-3 調査対象海岸と気象庁観測地点の位置

##### (1) 気象概況

水晶浜海水浴場近傍にある美浜観測地点（気象庁）の令和6年1月～4月の気象データを次頁以降に示す。

降水量の変化をみると、1月～3月はそれぞれ15～20日程度、4月は10日程度で降雨が見られた。また、水晶浜海水浴場の現地調査は令和6年4月30日に実施したが、調査当日の0～5時までに合計11mm程度の降雨があったものの調査時間中の天候は概ね曇りであり、特に調査に影響はなかった。

風速、風向の変化をみると、1月～3月は風速3 m/s前後、4月は風速2 m/s前後の風が中心であり、風向は1月～3月は北西から南東及び南西から北東の頻度が多く、4月は北東から南西及び南西から北東の頻度が多く見られた。また、調査実施時期に豪雨や台風などの異常気象は見られなかった。



表-5 2024年1月～4月における美浜観測所の日合計降水量

2024年 1月	降水量(mm) (日合計)	2024年 2月	降水量(mm) (日合計)	2024年 3月	降水量(mm) (日合計)	2024年 4月	降水量(mm) (日合計)
1月1日	1.5	2月1日	4.5	3月1日	14.5	4月1日	0.0
1月2日	0.0	2月2日	0.0	3月2日	9.5	4月2日	0.0
1月3日	3.0	2月3日	0.0	3月3日	0.0	4月3日	26.5
1月4日	9.0	2月4日	0.5	3月4日	2.5	4月4日	7.5
1月5日	0.0	2月5日	19.5	3月5日	22.0	4月5日	0.0
1月6日	0.0	2月6日	1.5	3月6日	2.0	4月6日	0.0
1月7日	31.5	2月7日	9.0	3月7日	0.0	4月7日	0.0
1月8日	5.0	2月8日	0.0	3月8日	8.5	4月8日	11.5
1月9日	0.0	2月9日	0.0	3月9日	7.0	4月9日	57.0
1月10日	0.5	2月10日	17.5	3月10日	1.5	4月10日	0.0
1月11日	0.0	2月11日	14.0	3月11日	0.0	4月11日	0.0
1月12日	25.0	2月12日	9.5	3月12日	23.0	4月12日	0.0
1月13日	27.0	2月13日	0.0	3月13日	0.5	4月13日	0.0
1月14日	0.0	2月14日	0.0	3月14日	0.0	4月14日	0.0
1月15日	9.0	2月15日	9.0	3月15日	0.0	4月15日	0.0
1月16日	1.0	2月16日	4.0	3月16日	0.0	4月16日	6.0
1月17日	0.0	2月17日	0.0	3月17日	0.0	4月17日	15.0
1月18日	17.0	2月18日	0.0	3月18日	0.0	4月18日	0.0
1月19日	0.0	2月19日	8.0	3月19日	0.0	4月19日	0.0
1月20日	4.5	2月20日	2.0	3月20日	14.0	4月20日	0.0
1月21日	22.0	2月21日	12.0	3月21日	4.0	4月21日	2.5
1月22日	5.0	2月22日	7.0	3月22日	0.5	4月22日	0.5
1月23日	0.5	2月23日	0.0	3月23日	9.5	4月23日	10.5
1月24日	47.5	2月24日	0.0	3月24日	0.5	4月24日	12.5
1月25日	6.0	2月25日	10.0	3月25日	9.5	4月25日	0.5
1月26日	5.5	2月26日	1.0	3月26日	30.0	4月26日	0.0
1月27日	4.5	2月27日	3.0	3月27日	0.5	4月27日	0.0
1月28日	10.5	2月28日	0.0	3月28日	1.5	4月28日	0.0
1月29日	0.0	2月29日	11.5	3月29日	3.0	4月29日	3.5
1月30日	0.0			3月30日	0.0	4月30日	15.5
1月31日	1.5			3月31日	0.0		

調査実施日

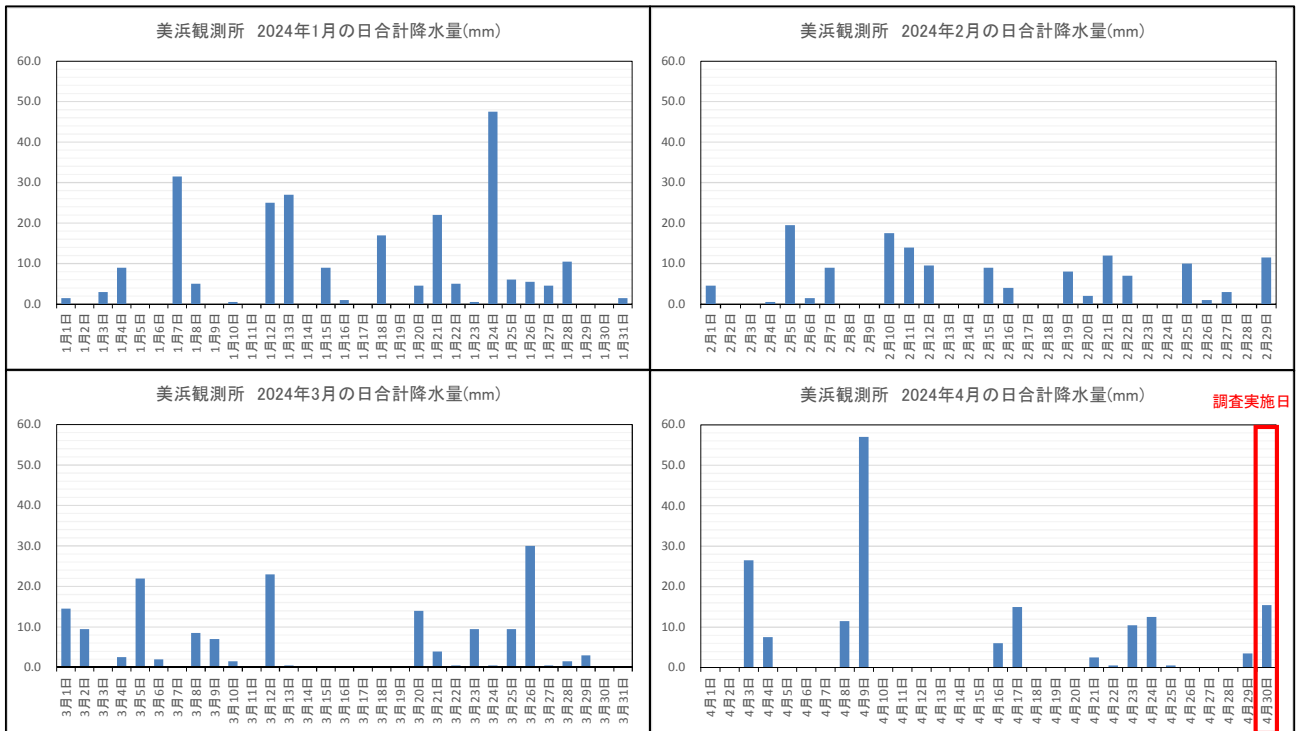


図-4 2024年1月～4月における美浜観測所の日合計降水量

表-6 2024年1月～4月における美浜観測所の日平均風速と日最多風向

2024年 1月	平均風速 (m/s)	最多風向 (16方位)	2024年 2月	平均風速 (m/s)	最多風向 (16方位)	2024年 3月	平均風速 (m/s)	最多風向 (16方位)	2024年 4月	平均風速 (m/s)	最多風向 (16方位)
1月1日	4.3	北北東	2月1日	4.1	北北東	3月1日	3.7	北西	4月1日	2.1	南西
1月2日	1.2	南南西	2月2日	3.5	北北東	3月2日	3.5	北西	4月2日	1.1	南南西
1月3日	1.2	南西	2月3日	2.9	北東	3月3日	2.0	南西	4月3日	1.9	南東
1月4日	3.2	北北東	2月4日	1.9	南南西	3月4日	1.8	南西	4月4日	2.5	北西
1月5日	1.3	南南西	2月5日	1.7	南西	3月5日	1.1	東南東	4月5日	1.6	西北西
1月6日	2.3	南西	2月6日	3.1	北西	3月6日	4.1	北北東	4月6日	1.4	北北東
1月7日	4.4	西	2月7日	2.4	南西	3月7日	2.9	北北東	4月7日	1.2	北北東
1月8日	3.7	北	2月8日	2.7	北北西	3月8日	3.2	西	4月8日	1.3	東南東
1月9日	1.2	南西	2月9日	1.8	北北東	3月9日	5.0	北西	4月9日	5.8	北北西
1月10日	1.7	南西	2月10日	1.8	南西	3月10日	2.8	北北西	4月10日	1.9	北
1月11日	1.2	南南西	2月11日	1.8	南西	3月11日	1.3	南南西	4月11日	1.7	南南東
1月12日	2.9	南西	2月12日	2.5	北西	3月12日	2.3	北北西	4月12日	1.3	北北東
1月13日	4.2	北北西	2月13日	1.2	南西	3月13日	3.7	北北西	4月13日	1.5	北北東
1月14日	1.5	南西	2月14日	1.2	東南東	3月14日	1.5	南南西	4月14日	1.4	南南西
1月15日	4.9	北北西	2月15日	2.3	南南西	3月15日	1.5	南南西	4月15日	2.4	南東
1月16日	5.3	北北西	2月16日	4.9	北	3月16日	1.5	南南西	4月16日	3.8	南東
1月17日	1.3	南西	2月17日	1.2	南南西	3月17日	2.4	南西	4月17日	1.4	北北東
1月18日	1.9	南西	2月18日	2.2	南東	3月18日	5.0	北北西	4月18日	2.0	北西
1月19日	2.4	北北東	2月19日	2.7	南東	3月19日	1.3	南南西	4月19日	2.4	北北西
1月20日	0.6	南南西	2月20日	1.8	北北西	3月20日	5.1	北北西	4月20日	1.3	南南西
1月21日	3.3	北北西	2月21日	1.9	南西	3月21日	3.1	北北西	4月21日	0.8	南西
1月22日	2.2	南西	2月22日	3.0	北北西	3月22日	1.3	南西	4月22日	1.0	南西
1月23日	4.1	西	2月23日	3.7	北北東	3月23日	1.6	南西	4月23日	1.4	東南東
1月24日	4.8	北西	2月24日	2.9	北北西	3月24日	0.7	南南西	4月24日	4.2	南東
1月25日	4.9	北北西	2月25日	1.0	南南西	3月25日	0.8	南西	4月25日	1.1	北北東
1月26日	4.4	北北西	2月26日	5.5	北北東	3月26日	3.9	北	4月26日	1.6	東南東
1月27日	2.7	北北西	2月27日	6.0	北北西	3月27日	2.7	北	4月27日	1.5	西南西
1月28日	1.3	南南西	2月28日	3.4	北東	3月28日	3.3	南東	4月28日	1.3	北北東
1月29日	1.2	南南西	2月29日	1.2	南西	3月29日	2.9	南南西	4月29日	1.6	南東
1月30日	1.3	南南西				3月30日	1.9	北	4月30日	1.8	北西
1月31日	1.2	南西				3月31日	1.3	北北東			

調査実施日

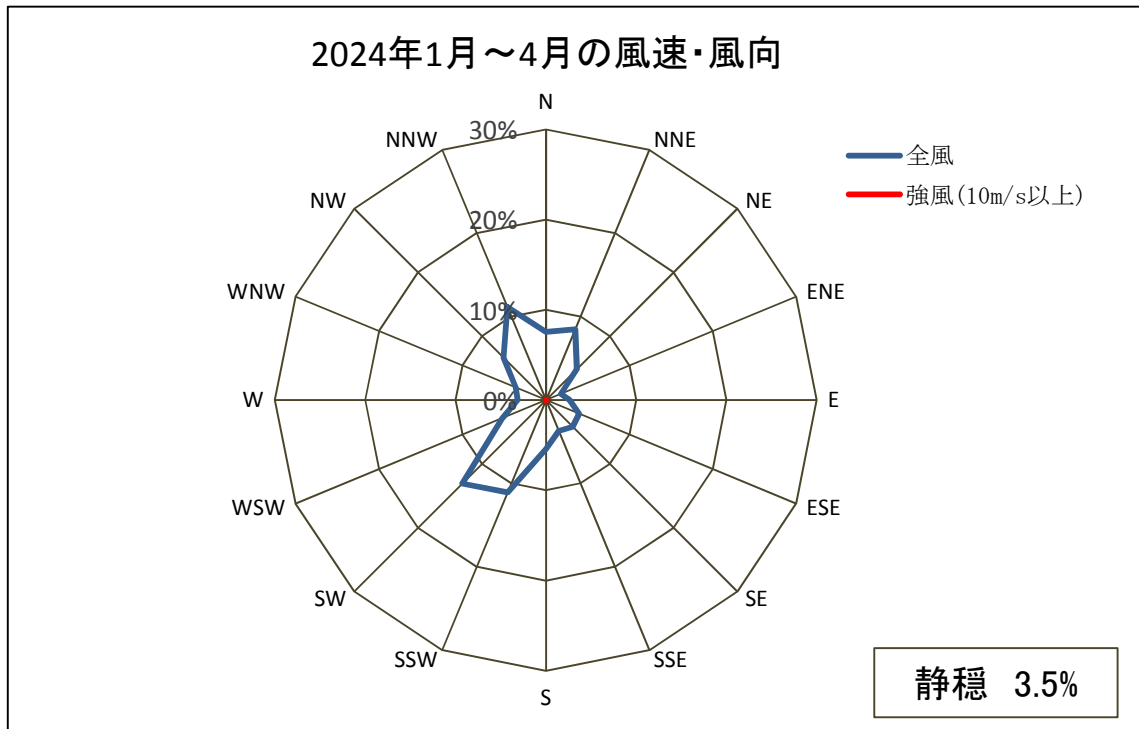


図-5 美浜観測所の日平均風速と日最多風向による風配図

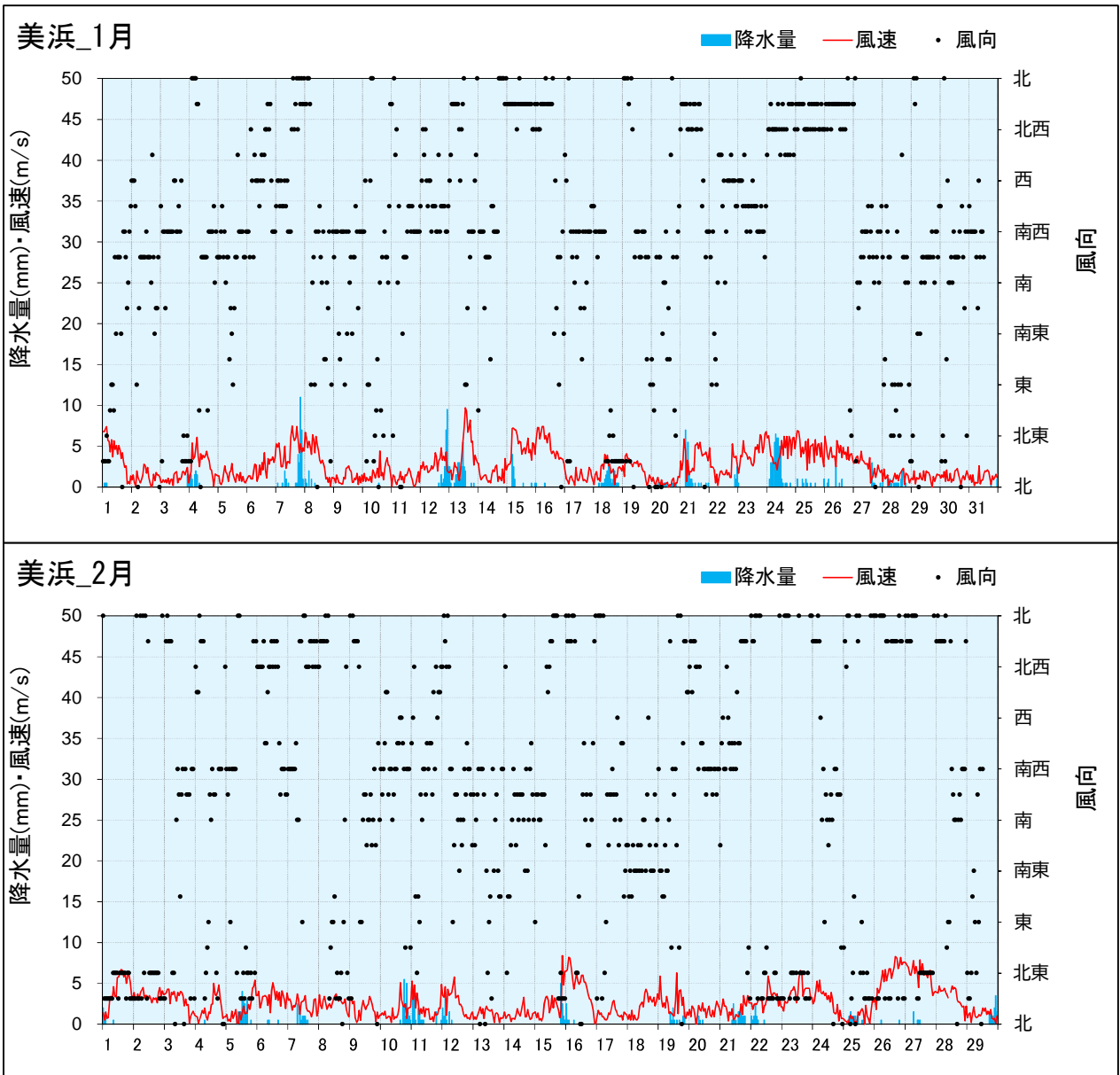


図-6(1) 美浜観測所での降水量、風速・風向の経時変化（令和6年1月、2月）

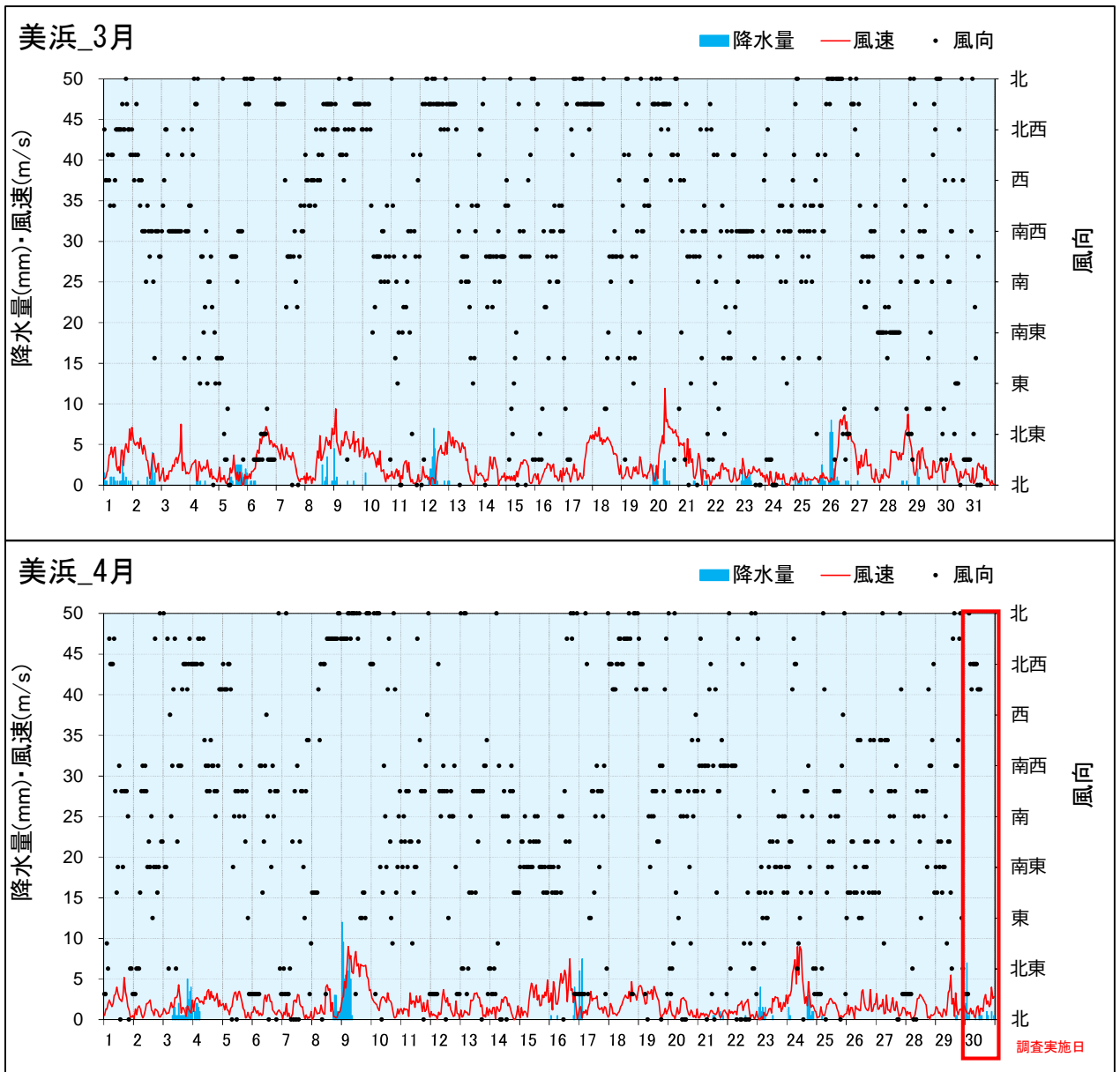


図-6(2) 美浜観測所での降水量、風速・風向の経時変化（令和6年3月、4月）

## 5. 調査結果

### 5-1 調査前後の状況

水晶浜海水浴場における調査前後の状況を以下の図-7 に示す。



図-7 調査前後の状況

## 5-2 海岸漂着物調査結果

本調査により回収した海岸漂着物の例を図-8に示す。

また、回収した海岸漂着物の調査結果について、個数・容量・重量の結果をそれぞれ表に示す(表-7(1)～表9(2)参照)。現地で計測した値のほかに、各調査項目の合計に占める割合や各調査項目が属している大分類の合計に占める割合、総計に占める割合なども併記した。

なお、以降の調査結果及び分析に用いている表・グラフについては端数処理の関係で合計値が一致しないことがある。

		
ボトルのキャップ、ふた	飲料用(ペットボトル)	ロープ・ひも(漁具)
		
浮子(ブイ)(漁具)	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)
		
人工物	木材	灌木

図-8 水晶浜海水浴場における海岸漂着物の例

表-7(1) 水晶浜海水浴場における海岸漂着物の調査結果（個数）（1/2）

大分類	必須項目	オプション項目	個数(個)	各大分類の合計個数に占める割合(%)	個数の総数に占める割合(%)
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	693	25.7	24.0
		<b>小計</b>	<b>693</b>	<b>25.7</b>	<b>24.0</b>
	ボトル	飲料用(ペットボトル)<1L	93	3.5	3.2
		その他のプラボトル<1L	78	2.9	2.7
		飲料用(ペットボトル)≥1L	14	0.5	0.5
		その他のプラボトル類≥1L	22	0.8	0.8
		<b>小計</b>	<b>207</b>	<b>7.7</b>	<b>7.2</b>
	ストロー	ストロー	82	3.0	2.8
		<b>小計</b>	<b>82</b>	<b>3.0</b>	<b>2.8</b>
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	34	1.3	1.2
		<b>小計</b>	<b>34</b>	<b>1.3</b>	<b>1.2</b>
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	カップ、食器	2	0.1	0.1
		食品容器	60	2.2	2.1
		<b>小計</b>	<b>62</b>	<b>2.3</b>	<b>2.1</b>
	ポリ袋(不透明、透明)	食品の容器包装	2	0.1	0.1
		レジ袋	2	0.1	0.1
		その他プラスチック袋	11	0.4	0.4
		<b>小計</b>	<b>15</b>	<b>0.6</b>	<b>0.5</b>
	ライター	ライター	16	0.6	0.6
		<b>小計</b>	<b>16</b>	<b>0.6</b>	<b>0.6</b>
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	49	1.8	1.7
		<b>小計</b>	<b>49</b>	<b>1.8</b>	<b>1.7</b>
	シートや袋の破片	シートや袋の破片			
		<b>小計</b>			
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片			
		<b>小計</b>			
	ウレタン	ウレタン	33	1.2	1.1
		<b>小計</b>	<b>33</b>	<b>1.2</b>	<b>1.1</b>
	浮子(ブイ)(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)	78	2.9	2.7
		<b>小計</b>	<b>78</b>	<b>2.9</b>	<b>2.7</b>
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	902	33.5	31.2
		<b>小計</b>	<b>902</b>	<b>33.5</b>	<b>31.2</b>
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	59	2.2	2.0
	<b>小計</b>	<b>59</b>	<b>2.2</b>	<b>2.0</b>	
カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	76	2.8	2.6	
	<b>小計</b>	<b>76</b>	<b>2.8</b>	<b>2.6</b>	
カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	12	0.4	0.4	
	<b>小計</b>	<b>12</b>	<b>0.4</b>	<b>0.4</b>	
漁網(漁具)	漁網(漁具)	4	0.1	0.1	
	<b>小計</b>	<b>4</b>	<b>0.1</b>	<b>0.1</b>	
その他の漁具(漁具)	かご漁具	0	0.0	0.0	
	その他の漁具	85	3.2	2.9	
	<b>小計</b>	<b>85</b>	<b>3.2</b>	<b>2.9</b>	
釣具	釣りのルアー・浮き	26	1.0	0.9	
	釣り糸	3	0.1	0.1	
	その他の釣具	5	0.2	0.2	
	<b>小計</b>	<b>34</b>	<b>1.3</b>	<b>1.2</b>	
たばこ吸殻(フィルター)	たばこ吸殻(フィルター)	0	0.0	0.0	
	<b>小計</b>	<b>0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	
生活雑貨(歯ブラシ等)	生活雑貨(歯ブラシ等)	80	3.0	2.8	
	<b>小計</b>	<b>80</b>	<b>3.0</b>	<b>2.8</b>	
苗木ポット	苗木ポット	3	0.1	0.1	
	<b>小計</b>	<b>3</b>	<b>0.1</b>	<b>0.1</b>	
その他	花火	0	0.0	0.0	
	玩具	14	0.5	0.5	
	プラスチック梱包材	5	0.2	0.2	
	シリンジ、注射器	3	0.1	0.1	
	分類に無いもので多数見つかった場合(メッシュコンテナ)	68	2.5	2.4	
	分類に無いもので多数見つかった場合(釣りのえさ入れ)	14	0.5	0.5	
	分類に無いもので多数見つかった場合(ふた)	11	0.4	0.4	
	分類に無いもので多数見つかった場合(漁具でないプラ製ロープ、ひも)	22	0.8	0.8	
	分類に無いもので多数見つかった場合(コーキング剤)	7	0.3	0.2	
	その他	27	1.0	0.9	
	<b>小計</b>	<b>171</b>	<b>6.3</b>	<b>5.9</b>	
	<b>プラスチック 合計</b>	<b>2,695</b>	<b>100.0</b>	<b>93.3</b>	
(発泡スチロール)	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)	6	40.0	0.2
		コップ、食器(発泡スチロール)	0	0.0	0.0
	<b>小計</b>	<b>6</b>	<b>40.0</b>	<b>0.2</b>	
発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	発泡スチロール製フロート・浮子(ブイ)	9	60.0	0.3	
	<b>小計</b>	<b>9</b>	<b>60.0</b>	<b>0.3</b>	
発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片				
	<b>小計</b>				
発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材	0	0.0	0.0	
	<b>小計</b>	<b>0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	
その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載	0	0.0	0.0	
	その他	0	0.0	0.0	
	<b>小計</b>	<b>0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	
	<b>発泡スチロール 合計</b>	<b>15</b>	<b>100.0</b>	<b>0.5</b>	

表-7(2) 水晶浜海水浴場における海岸漂着物の調査結果 (個数) (2/2)

大分類	必須項目	オプション項目	個数(個)	各分類の合計個数に占める割合(%)	
				各分類の合計個数に占める割合(%)	個数の総数に占める割合(%)
ゴム	ゴム	タイヤ	0	0.0	0.0
		玩具、ボール	0	0.0	0.0
		風船	0	0.0	0.0
		靴(サンダル、靴底含む)	15	57.7	0.5
		ゴムの破片			
		分類に無いもので多数見つかった場合(ゴム手袋)	7	26.9	0.2
		その他	4	15.4	0.1
		<b>小計</b>	<b>26</b>	<b>100.0</b>	<b>0.9</b>
	<b>ゴム 合計</b>	<b>26</b>	<b>100.0</b>	<b>0.9</b>	
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材	0	0.0	0.0
		食品容器	10	71.4	0.3
		ガラス、陶器の破片			
		食品以外容器	2	14.3	0.1
		コップ、食器	0	0.0	0.0
		電球	1	7.1	0.0
		蛍光管	1	7.1	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	0	0.0	0.0
		その他	0	0.0	0.0
		<b>小計</b>	<b>14</b>	<b>100.0</b>	<b>0.5</b>
			<b>ガラス、陶器 合計</b>	<b>14</b>	<b>100.0</b>
金属	金属	ビンのふた、キャップ、ブルタブ	0	0.0	0.0
		アルミの飲料缶	6	46.2	0.2
		スチール製飲料用缶	0	0.0	0.0
		金属製コップ、食器	0	0.0	0.0
		フォーク・ナイフ・スプーン等	0	0.0	0.0
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)	6	46.2	0.2
		金属片			
		ワイヤー、針金	0	0.0	0.0
		金属製漁具	0	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	0	0.0	0.0
		その他	1	7.7	0.0
		<b>小計</b>	<b>13</b>	<b>100.0</b>	<b>0.5</b>
			<b>金属 合計</b>	<b>13</b>	<b>100.0</b>
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器	0	-	0.0
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)	0	-	0.0
		花火	0	-	0.0
		紙袋	0	-	0.0
		食品包装材	0	-	0.0
		紙製容器(飲料用紙パック等)	0	-	0.0
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	0	-	0.0
		その他	0	-	0.0
		<b>小計</b>	<b>0</b>	<b>-</b>	<b>0.0</b>
			<b>紙、段ボール 合計</b>	<b>0</b>	<b>-</b>
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも	0	-	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	0	-	0.0
		その他	0	-	0.0
		<b>小計</b>	<b>0</b>	<b>-</b>	<b>0.0</b>
	<b>天然繊維、革 合計</b>	<b>0</b>	<b>-</b>	<b>0.0</b>	
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)	69	90.8	2.4
		分類に無いもので多数見つかった場合(白樺浮き)	7	9.2	0.2
		その他	0	0.0	0.0
		<b>小計</b>	<b>76</b>	<b>100.0</b>	<b>2.6</b>
	<b>木(木材等) 合計</b>	<b>76</b>	<b>100.0</b>	<b>2.6</b>	
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	2	100.0	0.1
		<b>小計</b>	<b>2</b>	<b>100.0</b>	<b>0.1</b>
			<b>電化製品、電子機器 合計</b>	<b>2</b>	<b>100.0</b>
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)			
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)	43	100.0	1.5
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	0	0.0	0.0
		その他	0	0.0	0.0
		<b>小計</b>	<b>43</b>	<b>100.0</b>	<b>1.5</b>
	<b>自然物 合計</b>	<b>43</b>	<b>100.0</b>	<b>1.5</b>	
その他	その他	その他1(筒、帽子、リュック)※いずれも素材不明	3	100.0	0.1
		その他2	0	0.0	0.0
		その他3	0	0.0	0.0
		<b>小計</b>	<b>3</b>	<b>100.0</b>	<b>0.1</b>
	<b>その他 合計</b>	<b>3</b>	<b>100.0</b>	<b>0.1</b>	
<b>総合計</b>			<b>2,887</b>		<b>100.0</b>



表-8(1) 水晶浜海水浴場における海岸漂着物の調査結果（容量）（1/2）

大分類	必須項目	オプション項目	容量(L)	各大分類の合計容量に占める割合(%)	
				容量の総数に占める割合(%)	割合(%)
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	31.60	1.2	0.7
		<b>小計</b>	<b>31.60</b>	<b>1.2</b>	<b>0.7</b>
	ボトル	飲料用(ペットボトル)<1L	91.80	3.4	1.9
		その他のプラボトル<1L	56.10	2.1	1.2
		飲料用(ペットボトル)≥1L	40.50	1.5	0.9
		その他のプラボトル類≥1L	188.30	6.9	4.0
		<b>小計</b>	<b>376.70</b>	<b>13.8</b>	<b>7.9</b>
	ストロー	ストロー	3.95	0.1	0.1
		<b>小計</b>	<b>3.95</b>	<b>0.1</b>	<b>0.1</b>
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	2.37	0.1	0.0
		<b>小計</b>	<b>2.37</b>	<b>0.1</b>	<b>0.0</b>
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	カップ、食器	2.37	0.1	0.0
		食品容器	23.70	0.9	0.5
		<b>小計</b>	<b>26.07</b>	<b>1.0</b>	<b>0.5</b>
	ポリ袋(不透明、透明)	食品の容器包装	1.41	0.1	0.0
		レジ袋	3.53	0.1	0.1
		その他プラスチック袋	15.30	0.6	0.3
		<b>小計</b>	<b>20.24</b>	<b>0.7</b>	<b>0.4</b>
	ライター	ライター	2.37	0.1	0.0
		<b>小計</b>	<b>2.37</b>	<b>0.1</b>	<b>0.0</b>
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	23.22	0.9	0.5
		<b>小計</b>	<b>23.22</b>	<b>0.9</b>	<b>0.5</b>
	シートや袋の破片	シートや袋の破片	25.50	0.9	0.5
		<b>小計</b>	<b>25.50</b>	<b>0.9</b>	<b>0.5</b>
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片	188.70	6.9	4.0
		<b>小計</b>	<b>188.70</b>	<b>6.9</b>	<b>4.0</b>
	ウレタン	ウレタン	27.65	1.0	0.6
		<b>小計</b>	<b>27.65</b>	<b>1.0</b>	<b>0.6</b>
	浮子(ブイ)(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)	695.37	25.5	14.6
		<b>小計</b>	<b>695.37</b>	<b>25.5</b>	<b>14.6</b>
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	364.00	13.3	7.6
		<b>小計</b>	<b>364.00</b>	<b>13.3</b>	<b>7.6</b>
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	87.56	3.2	1.8
	<b>小計</b>	<b>87.56</b>	<b>3.2</b>	<b>1.8</b>	
カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	1.41	0.1	0.0	
	<b>小計</b>	<b>1.41</b>	<b>0.1</b>	<b>0.0</b>	
カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	3.16	0.1	0.1	
	<b>小計</b>	<b>3.16</b>	<b>0.1</b>	<b>0.1</b>	
漁網(漁具)	漁網(漁具)	40.80	1.5	0.9	
	<b>小計</b>	<b>40.80</b>	<b>1.5</b>	<b>0.9</b>	
その他の漁具(漁具)	かご漁具	0.00	0.0	0.0	
	その他の漁具	50.82	1.9	1.1	
	<b>小計</b>	<b>50.82</b>	<b>1.9</b>	<b>1.1</b>	
釣具	釣りのルアー・浮き	5.53	0.2	0.1	
	釣り糸	0.79	0.0	0.0	
	その他の釣具	1.58	0.1	0.0	
	<b>小計</b>	<b>7.90</b>	<b>0.3</b>	<b>0.2</b>	
たばこ吸殻(フィルター)	たばこ吸殻(フィルター)	0.00	0.0	0.0	
	<b>小計</b>	<b>0.00</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	
生活雑貨(歯ブラシ等)	生活雑貨(歯ブラシ等)	31.54	1.2	0.7	
	<b>小計</b>	<b>31.54</b>	<b>1.2</b>	<b>0.7</b>	
苗木ポット	苗木ポット	3.16	0.1	0.1	
	<b>小計</b>	<b>3.16</b>	<b>0.1</b>	<b>0.1</b>	
その他	花火	0.00	0.0	0.0	
	玩具	3.95	0.1	0.1	
	プラスチック梱包材	7.11	0.3	0.1	
	シリンジ、注射器	0.71	0.0	0.0	
	分類に無いもので多数見つかった場合(メッシュコンテナ)	301.20	11.0	6.3	
	分類に無いもので多数見つかった場合(釣りのえさ入れ)	6.32	0.2	0.1	
	分類に無いもので多数見つかった場合(ふた)	40.80	1.5	0.9	
	分類に無いもので多数見つかった場合(漁具でないプラ製ロープ、ひも)	4.74	0.2	0.1	
	分類に無いもので多数見つかった場合(コーキング剤)	7.90	0.3	0.2	
	その他	344.74	12.6	7.2	
	<b>小計</b>	<b>717.47</b>	<b>26.3</b>	<b>15.1</b>	
	<b>プラスチック 合計</b>	<b>2,731.56</b>	<b>100.0</b>	<b>57.4</b>	
(発泡スチロール)	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)	1.58	0.7	0.0
		コップ、食器(発泡スチロール)	0.00	0.0	0.0
	<b>小計</b>	<b>1.58</b>	<b>0.7</b>	<b>0.0</b>	
発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	発泡スチロール製フロート・浮子(ブイ)	203.00	93.8	4.3	
	<b>小計</b>	<b>203.00</b>	<b>93.8</b>	<b>4.3</b>	
発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片	11.85	5.5	0.2	
	<b>小計</b>	<b>11.85</b>	<b>5.5</b>	<b>0.2</b>	
発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材	0.00	0.0	0.0	
	<b>小計</b>	<b>0.00</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	
その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載	0.00	0.0	0.0	
	その他	0.00	0.0	0.0	
	<b>小計</b>	<b>0.00</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	
	<b>発泡スチロール 合計</b>	<b>216.43</b>	<b>100.0</b>	<b>4.5</b>	

表-8(2) 水晶浜海水浴場における海岸漂着物の調査結果（容量）(2/2)

大分類	必須項目	オプション項目	容量(L)	各大分類の合計容量に占める割合(%)	
				容量の総数に占める割合(%)	
ゴム	ゴム	タイヤ	0.00	0.0	0.0
		玩具、ボール	0.00	0.0	0.0
		風船	0.00	0.0	0.0
		靴(サンダル、靴底含む)	23.70	81.1	0.5
		ゴムの破片	0.00	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合(ゴム手袋)	4.74	16.2	0.1
		その他	0.79	2.7	0.0
		<b>小計</b>	<b>29.23</b>	<b>100.0</b>	<b>0.6</b>
	<b>ゴム 合計</b>	<b>29.23</b>	<b>100.0</b>	<b>0.6</b>	
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材	0.00	0.0	0.0
		食品容器	7.05	71.4	0.1
		ガラス、陶器の破片	0.00	0.0	0.0
		食品以外容器	0.71	7.2	0.0
		コップ、食器	0.00	0.0	0.0
		電球	0.71	7.2	0.0
		蛍光管	1.41	14.3	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	0.00	0.0	0.0
		その他	0.00	0.0	0.0
		<b>小計</b>	<b>9.88</b>	<b>100.0</b>	<b>0.2</b>
	<b>ガラス、陶器 合計</b>	<b>9.88</b>	<b>100.0</b>	<b>0.2</b>	
金属	金属	ビンのふた、キャップ、ブルタブ	0.00	0.0	0.0
		アルミの飲料缶	5.64	34.5	0.1
		スチール製飲料用缶	0.00	0.0	0.0
		金属製コップ、食器	0.00	0.0	0.0
		フォーク・ナイフ・スプーン等	0.00	0.0	0.0
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)	7.90	48.3	0.2
		金属片	1.41	8.6	0.0
		ワイヤー、針金	0.00	0.0	0.0
		金属製漁具	0.00	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	0.00	0.0	0.0
		その他	1.41	8.6	0.0
		<b>小計</b>	<b>16.36</b>	<b>100.0</b>	<b>0.3</b>
			<b>金属 合計</b>	<b>16.36</b>	<b>100.0</b>
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器	0.00	-	0.0
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)	0.00	-	0.0
		花火	0.00	-	0.0
		紙袋	0.00	-	0.0
		食品包装材	0.00	-	0.0
		紙製容器(飲料用紙パック等)	0.00	-	0.0
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)	0.00	-	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	0.00	-	0.0
		その他	0.00	-	0.0
		<b>小計</b>	<b>0.00</b>	<b>-</b>	<b>0.0</b>
	<b>紙、段ボール 合計</b>	<b>0.00</b>	<b>-</b>	<b>0.0</b>	
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも	0.00	-	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	0.00	-	0.0
		その他	0.00	-	0.0
<b>小計</b>	<b>0.00</b>	<b>-</b>	<b>0.0</b>		
	<b>天然繊維、革 合計</b>	<b>0.00</b>	<b>-</b>	<b>0.0</b>	
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)	317.60	98.8	6.7
		分類に無いもので多数見つかった場合(白樺浮き)	3.95	1.2	0.1
		その他	0.00	0.0	0.0
		<b>小計</b>	<b>321.55</b>	<b>100.0</b>	<b>6.8</b>
	<b>木(木材等) 合計</b>	<b>321.55</b>	<b>100.0</b>	<b>6.8</b>	
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	4.74	100.0	0.1
		<b>小計</b>	<b>4.74</b>	<b>100.0</b>	<b>0.1</b>
	<b>電化製品、電子機器 合計</b>	<b>4.74</b>	<b>100.0</b>	<b>0.1</b>	
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)	1,092.00	89.9	22.9
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)	122.40	10.1	2.6
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	0.00	0.0	0.0
		その他	0.00	0.0	0.0
<b>小計</b>	<b>1,214.40</b>	<b>100.0</b>	<b>25.5</b>		
	<b>自然物 合計</b>	<b>1,214.40</b>	<b>100.0</b>	<b>25.5</b>	
その他	その他	その他1(筒、帽子、リュック)※いずれも素材不明	216.64	100.0	4.6
		その他2	0.00	0	0.0
		その他3	0.00	0	0.0
		<b>小計</b>	<b>216.64</b>	<b>100.0</b>	<b>4.6</b>
	<b>その他 合計</b>	<b>216.64</b>	<b>100.0</b>	<b>4.6</b>	
<b>総合計</b>			<b>4,760.79</b>		<b>100.0</b>

表-9(1) 水晶浜海水浴場における海岸漂着物の調査結果（重量）(1/2)

大分類	必須項目	オプション項目	重量(kg)	各大分類の合計重量に占める割合(%)	重量の総数に占める割合(%)	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	3.14	1.5	0.5	
		<b>小計</b>	<b>3.14</b>	<b>1.5</b>	<b>0.5</b>	
	ボトル	飲料用(ペットボトル)<1L		5.86	2.8	1.0
		その他のプラボトル<1L		5.08	2.5	0.8
		飲料用(ペットボトル)≥1L		0.78	0.4	0.1
		その他のプラボトル類≥1L		6.56	3.2	1.1
		<b>小計</b>	<b>18.28</b>	<b>8.8</b>	<b>3.0</b>	
	ストロー	ストロー	0.10	0.0	0.0	
		<b>小計</b>	<b>0.10</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	0.11	0.1	0.0	
		<b>小計</b>	<b>0.11</b>	<b>0.1</b>	<b>0.0</b>	
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	カップ、食器		0.05	0.0	0.0
		食品容器		0.81	0.4	0.1
		<b>小計</b>	<b>0.86</b>	<b>0.4</b>	<b>0.1</b>	
	ポリ袋(不透明、透明)	食品の容器包装		0.05	0.0	0.0
		レジ袋		0.06	0.0	0.0
		その他プラスチック袋		0.28	0.1	0.0
		<b>小計</b>	<b>0.38</b>	<b>0.2</b>	<b>0.1</b>	
	ライター	ライター	0.19	0.1	0.0	
		<b>小計</b>	<b>0.19</b>	<b>0.1</b>	<b>0.0</b>	
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	0.47	0.2	0.1	
		<b>小計</b>	<b>0.47</b>	<b>0.2</b>	<b>0.1</b>	
	シートや袋の破片	シートや袋の破片	0.28	0.1	0.0	
		<b>小計</b>	<b>0.28</b>	<b>0.1</b>	<b>0.0</b>	
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片	24.62	11.9	4.0	
		<b>小計</b>	<b>24.62</b>	<b>11.9</b>	<b>4.0</b>	
	ウレタン	ウレタン	1.34	0.6	0.2	
		<b>小計</b>	<b>1.34</b>	<b>0.6</b>	<b>0.2</b>	
	浮子(ブイ)(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)	49.52	23.9	8.1	
		<b>小計</b>	<b>49.52</b>	<b>23.9</b>	<b>8.1</b>	
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	50.76	24.5	8.3	
		<b>小計</b>	<b>50.76</b>	<b>24.5</b>	<b>8.3</b>	
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	2.71	1.3	0.4	
	<b>小計</b>	<b>2.71</b>	<b>1.3</b>	<b>0.4</b>		
カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	0.05	0.0	0.0		
	<b>小計</b>	<b>0.05</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>		
カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	0.13	0.1	0.0		
	<b>小計</b>	<b>0.13</b>	<b>0.1</b>	<b>0.0</b>		
漁網(漁具)	漁網(漁具)	2.28	1.1	0.4		
	<b>小計</b>	<b>2.28</b>	<b>1.1</b>	<b>0.4</b>		
その他の漁具(漁具)	かご漁具	0.00	0.0	0.0		
	その他の漁具	2.60	1.3	0.4		
	<b>小計</b>	<b>2.60</b>	<b>1.3</b>	<b>0.4</b>		
釣具	釣りのルアー・浮き	0.29	0.1	0.0		
	釣り糸	0.03	0.0	0.0		
	その他の釣具	0.04	0.0	0.0		
	<b>小計</b>	<b>0.36</b>	<b>0.2</b>	<b>0.1</b>		
たばこ吸殻(フィルター)	たばこ吸殻(フィルター)	0.00	0.0	0.0		
	<b>小計</b>	<b>0.00</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>		
生活雑貨(歯ブラシ等)	生活雑貨(歯ブラシ等)	1.86	0.9	0.3		
	<b>小計</b>	<b>1.86</b>	<b>0.9</b>	<b>0.3</b>		
苗木ポット	苗木ポット	0.03	0.0	0.0		
	<b>小計</b>	<b>0.03</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>		
その他	花火	0.00	0.0	0.0		
	玩具	0.16	0.1	0.0		
	プラスチック梱包材	0.16	0.1	0.0		
	シリンジ、注射器	0.04	0.0	0.0		
	分類に無いもので多数見つかった場合(メッシュコンテナ)	19.88	9.6	3.3		
	分類に無いもので多数見つかった場合(釣りのえさ入れ)	0.20	0.1	0.0		
	分類に無いもので多数見つかった場合(ふた)	1.98	1.0	0.3		
	分類に無いもので多数見つかった場合(漁具でないプラ製ロープ、ひも)	0.10	0.0	0.0		
	分類に無いもので多数見つかった場合(コーキング剤)	0.79	0.4	0.1		
	その他	23.54	11.4	3.8		
		<b>小計</b>	<b>46.84</b>	<b>22.6</b>	<b>7.7</b>	
<b>プラスチック 合計</b>			<b>206.90</b>	<b>100.0</b>	<b>33.8</b>	
(発泡スチロール)	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)	0.02	0.1	0.0	
		コップ、食器(発泡スチロール)	0.00	0.0	0.0	
		<b>小計</b>	<b>0.02</b>	<b>0.1</b>	<b>0.0</b>	
	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	発泡スチロール製フロート・浮子(ブイ)	14.81	97.6	2.4	
		<b>小計</b>	<b>14.81</b>	<b>97.6</b>	<b>2.4</b>	
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片	0.35	2.3	0.1	
		<b>小計</b>	<b>0.35</b>	<b>2.3</b>	<b>0.1</b>	
発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材	0.00	0.0	0.0		
	<b>小計</b>	<b>0.00</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>		
その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載	0.00	0.0	0.0		
	その他	0.00	0.0	0.0		
	<b>小計</b>	<b>0.00</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>		
<b>発泡スチロール 合計</b>			<b>15.18</b>	<b>100.0</b>	<b>2.5</b>	

表-9(2) 水晶浜海水浴場における海岸漂着物の調査結果(重量)(2/2)

大分類	必須項目	オプション項目	重量(kg)	各大分類の合計重量に占める割合(%)	
				重量の総数に占める割合(%)	
ゴム	ゴム	タイヤ	0.00	0.0	0.0
		玩具、ボール	0.00	0.0	0.0
		風船	0.00	0.0	0.0
		靴(サンダル、靴底含む)	2.35	87.7	0.4
		ゴムの破片	0.00	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合(ゴム手袋)	0.30	11.2	0.0
		その他	0.03	1.1	0.0
		<b>小計</b>	<b>2.68</b>	<b>100.0</b>	<b>0.4</b>
	<b>ゴム 合計</b>	<b>2.68</b>	<b>100.0</b>	<b>0.4</b>	
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材	0.00	0.0	0.0
		食品容器	1.56	84.1	0.3
		ガラス、陶器の破片	0.00	0.0	0.0
		食品以外容器	0.10	5.1	0.0
		コップ、食器	0.00	0.0	0.0
		電球	0.09	4.6	0.0
		蛍光管	0.12	6.2	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	0.00	0.0	0.0
		その他	0.00	0.0	0.0
		<b>小計</b>	<b>1.85</b>	<b>100.0</b>	<b>0.3</b>
	<b>ガラス、陶器 合計</b>	<b>1.85</b>	<b>100.0</b>	<b>0.3</b>	
金属	金属	ビンのふた、キャップ、ブルタブ	0.00	0.0	0.0
		アルミの飲料缶	0.16	15.6	0.0
		スチール製飲料用缶	0.00	0.0	0.0
		金属製コップ、食器	0.00	0.0	0.0
		フォーク・ナイフ・スプーン等	0.00	0.0	0.0
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、パケツ等)	0.75	75.4	0.1
		金属片	0.04	3.5	0.0
		ワイヤー、針金	0.00	0.0	0.0
		金属製漁具	0.00	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	0.00	0.0	0.0
		その他	0.06	5.5	0.0
		<b>小計</b>	<b>1.00</b>	<b>100.0</b>	<b>0.2</b>
	<b>金属 合計</b>	<b>1.00</b>	<b>100.0</b>	<b>0.2</b>	
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器	0.00	-	0.0
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)	0.00	-	0.0
		花火	0.00	-	0.0
		紙袋	0.00	-	0.0
		食品包装材	0.00	-	0.0
		紙製容器(飲料用紙パック等)	0.00	-	0.0
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)	0.00	-	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	0.00	-	0.0
		その他	0.00	-	0.0
		<b>小計</b>	<b>0.00</b>	<b>-</b>	<b>0.0</b>
	<b>紙、段ボール 合計</b>	<b>0.00</b>	<b>-</b>	<b>0.0</b>	
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも	0.00	-	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	0.00	-	0.0
		その他	0.00	-	0.0
<b>小計</b>	<b>0.00</b>	<b>-</b>	<b>0.0</b>		
	<b>天然繊維、革 合計</b>	<b>0.00</b>	<b>-</b>	<b>0.0</b>	
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)	97.46	99.7	15.9
		分類に無いもので多数見つかった場合(白樺浮き)	0.29	0.3	0.0
		その他	0.00	0.0	0.0
		<b>小計</b>	<b>97.75</b>	<b>100.0</b>	<b>16.0</b>
	<b>木(木材等) 合計</b>	<b>97.75</b>	<b>100.0</b>	<b>16.0</b>	
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	0.82	100.0	0.1
		<b>小計</b>	<b>0.82</b>	<b>100.0</b>	<b>0.1</b>
	<b>電化製品、電子機器 合計</b>	<b>0.82</b>	<b>100.0</b>	<b>0.1</b>	
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)	113.40	41.6	18.5
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)	159.20	58.4	26.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	0.00	0.0	0.0
		その他	0.00	0.0	0.0
<b>小計</b>	<b>272.60</b>	<b>100.0</b>	<b>44.6</b>		
	<b>自然物 合計</b>	<b>272.60</b>	<b>100.0</b>	<b>44.6</b>	
その他	その他	その他1(筒、帽子、リュック)※いずれも素材不明	12.72	100.0	2.1
		その他2	0.00	0	0.0
		その他3	0.00	0	0.0
		<b>小計</b>	<b>12.72</b>	<b>100.0</b>	<b>2.1</b>
	<b>その他 合計</b>	<b>12.72</b>	<b>100.0</b>	<b>2.1</b>	
<b>総合計</b>			<b>611.49</b>		<b>100.0</b>

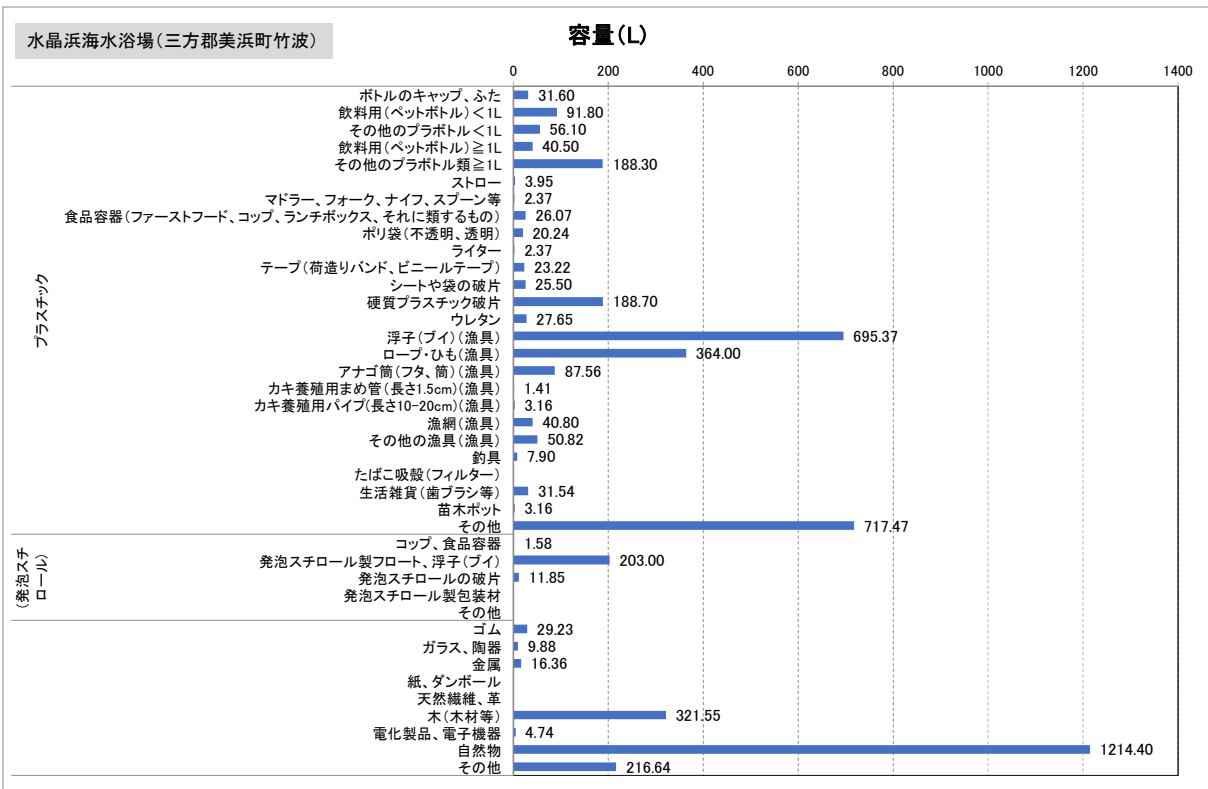
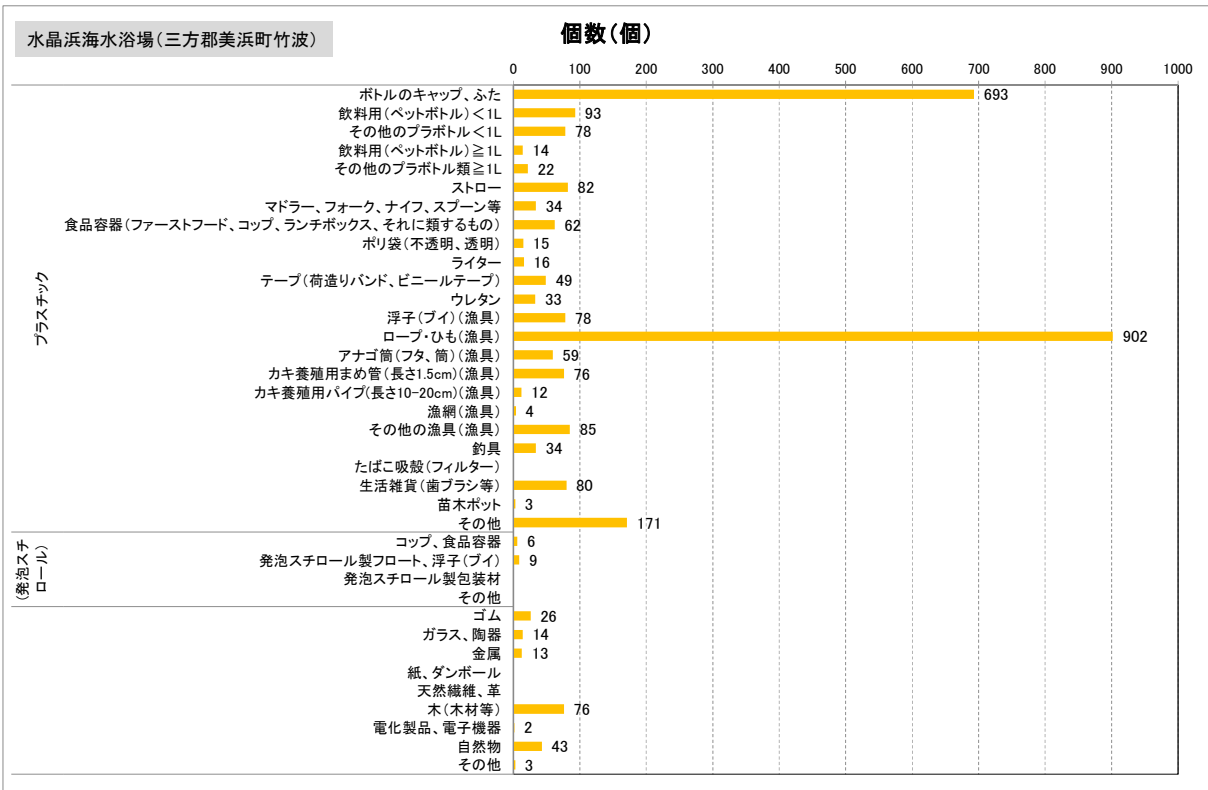


図-9(1) 水晶浜海水浴場における海岸漂着物の調査結果(個数、容量)

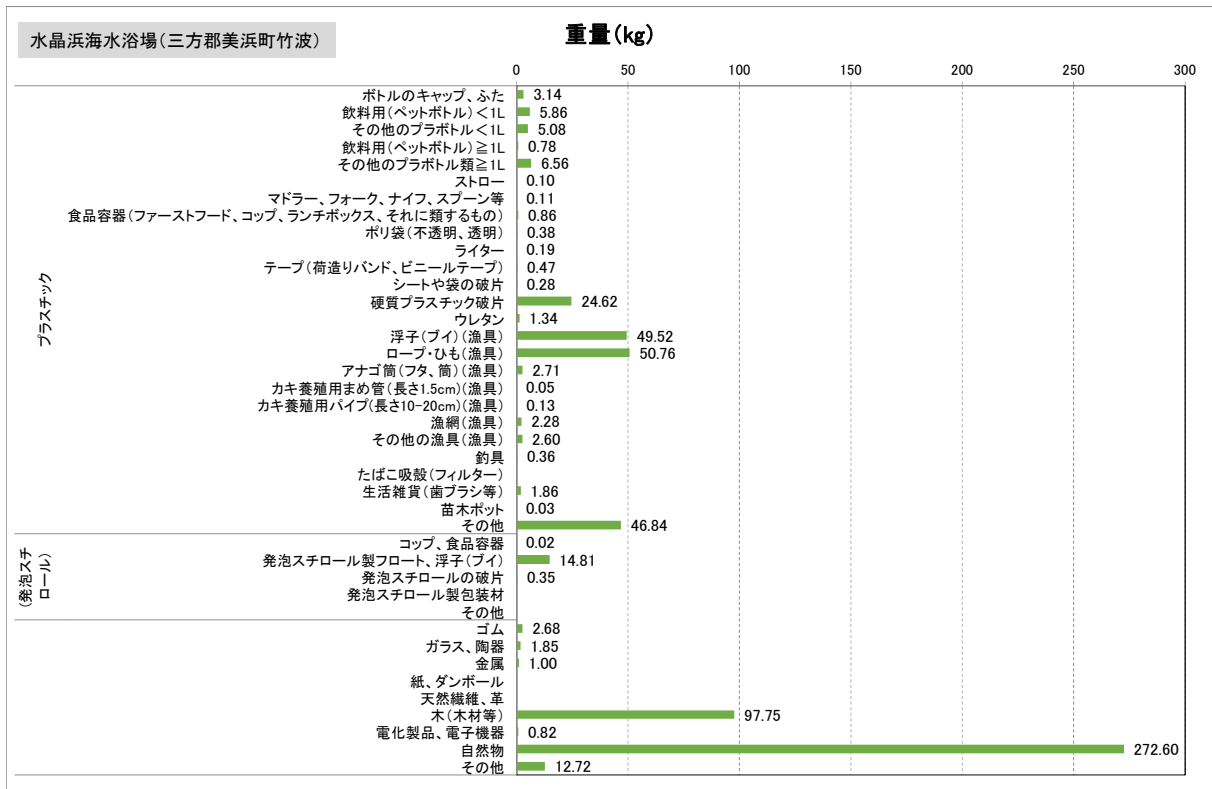


図-9(2) 水晶浜海水浴場における海岸漂着物の調査結果(重量)

### 5-3 大分類別の組成

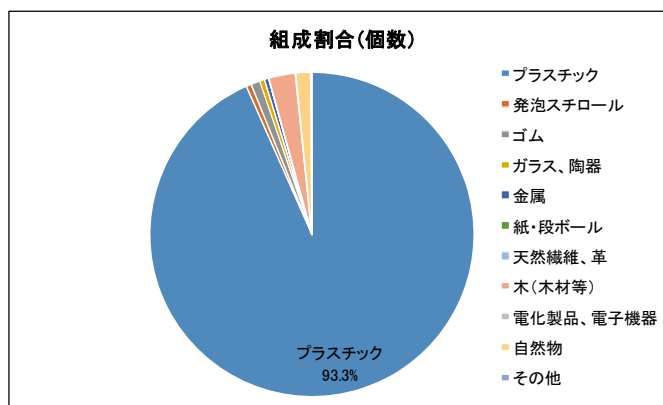
大分類別の組成（個数・容量・重量）について集計した結果を図-10に示す。

個数についてみると、全個数のうちプラスチックの割合が最も高く93.3%を占めている。

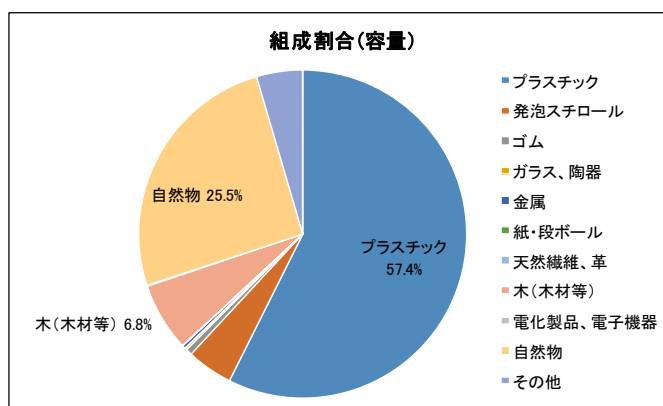
容量についてみると、全容量のうちプラスチックの割合が最も高く57.4%を占め、次いで自然物が25.5%となっている。

重量についてみると、全重量のうち自然物の割合が最も高く44.6%を占め、次いでプラスチックが33.8%となっている。

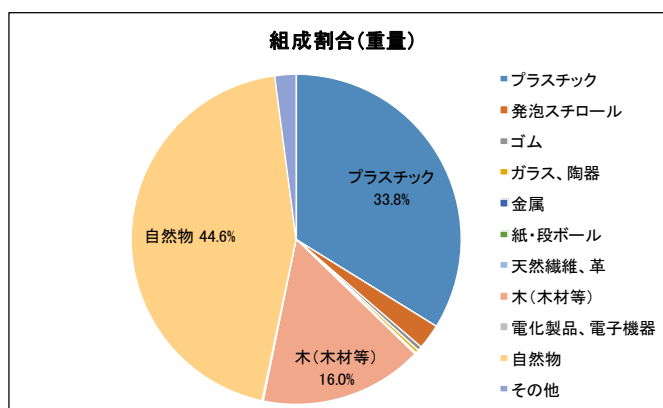
大分類	個数	割合
プラスチック	2,695	93.3%
発泡スチロール	15	0.5%
ゴム	26	0.9%
ガラス、陶器	14	0.5%
金属	13	0.5%
紙・段ボール	0	0%
天然繊維、革	0	0%
木(木材等)	76	2.6%
電化製品、電子機器	2	0.1%
自然物	43	1.5%
その他	3	0.1%
総計	2,887	100.0%



大分類	容量(L)	割合
プラスチック	2731.56	57.4%
発泡スチロール	216.43	4.5%
ゴム	29.23	0.6%
ガラス、陶器	9.88	0.2%
金属	16.36	0.3%
紙・段ボール	0	0%
天然繊維、革	0	0%
木(木材等)	321.55	6.8%
電化製品、電子機器	4.74	0.1%
自然物	1214.40	25.5%
その他	216.64	4.6%
総計	4760.79	100.0%



大分類	重量(kg)	割合
プラスチック	206.90	33.8%
発泡スチロール	15.18	2.5%
ゴム	2.68	0.4%
ガラス、陶器	1.85	0.3%
金属	1.00	0.2%
紙・段ボール	0	0%
天然繊維、革	0	0%
木(木材等)	97.75	16.0%
電化製品、電子機器	0.82	0.1%
自然物	272.60	44.6%
その他	12.72	2.1%
総計	611.49	100.0%



※割合の「0.0%」は0.1%未満、「0%」は未回収を示す。

※ゴム、ガラス、陶器、金属、紙、ダンボール、自然物の個数については、破片類や灌木を除く。

※グラフ内は5%以上の値のみ表示

図-10 大分類別の集計結果

#### 5-4 人工物別の組成

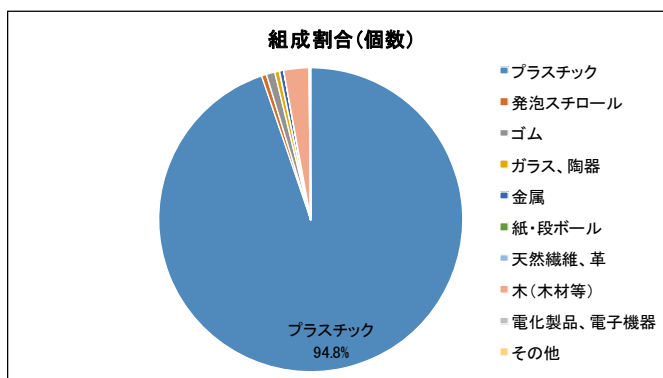
人工物別の組成（個数・容量・重量）について集計した結果を図-11に示す。

個数についてみると、全個数のうちプラスチックの割合が最も高く 94.8%を占めている。

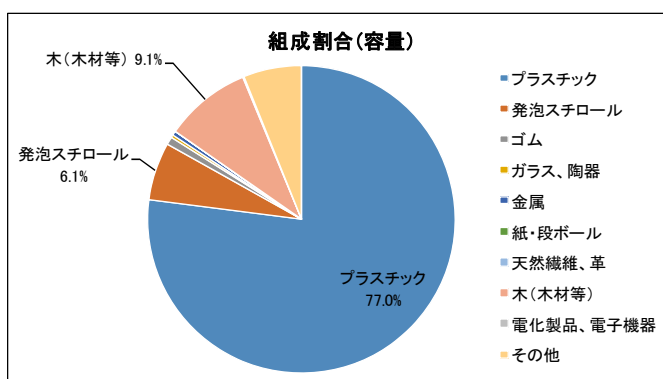
容量についてみると、全容量のうちプラスチックの割合が最も高く 77.0%を占め、次いで木（木材等）が 9.1%となっている。

重量についてみると、全重量のうちプラスチックの割合が最も高く 61.1%を占め、次いで木（木材等）が 28.8%となっている。

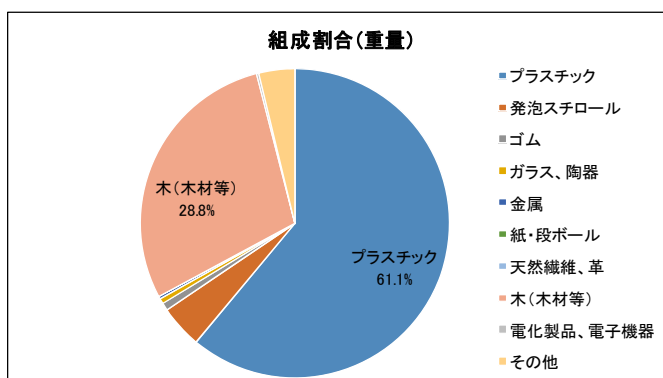
大分類	個数	割合
プラスチック	2,695	94.8%
発泡スチロール	15	0.5%
ゴム	26	0.9%
ガラス、陶器	14	0.5%
金属	13	0.5%
紙・段ボール	0	0%
天然繊維、革	0	0%
木（木材等）	76	2.7%
電化製品、電子機器	2	0.1%
その他	3	0.1%
総計	2,844	100.0%



大分類	容量(L)	割合
プラスチック	2,731.56	77.0%
発泡スチロール	216.43	6.1%
ゴム	29.23	0.8%
ガラス、陶器	9.88	0.3%
金属	16.36	0.5%
紙・段ボール	0	0%
天然繊維、革	0	0%
木（木材等）	321.55	9.1%
電化製品、電子機器	4.74	0.1%
その他	216.64	6.1%
総計	3,546.39	100.0%



大分類	重量(kg)	割合
プラスチック	206.90	61.1%
発泡スチロール	15.18	4.5%
ゴム	2.68	0.8%
ガラス、陶器	1.85	0.5%
金属	1.00	0.3%
紙・段ボール	0	0%
天然繊維、革	0	0%
木（木材等）	97.75	28.8%
電化製品、電子機器	0.82	0.2%
その他	12.72	3.8%
総計	338.89	100.0%



※割合の「0.0%」は 0.1%未満、「0%」は未回収を示す。

※ゴム、ガラス、陶器、金属、紙、ダンボールの個数については、破片類を除く。

※グラフ内は5%以上の値のみ表示

図-11 人工物別の集計結果



### 5-5 3分類別の組成

3分類別の組成（人工物、海域由来、自然物）について集計した結果を図-12 に示す。なお、海域由来とは、ごみの発生場所が陸域ではなく主に海域と想定されるもので、ガイドラインの分類表に記載のプラ分類の項目をもとに集計した。

個数についてみると、全個数のうち人工物が54.9%、次いで海域由来が43.6%となっている。

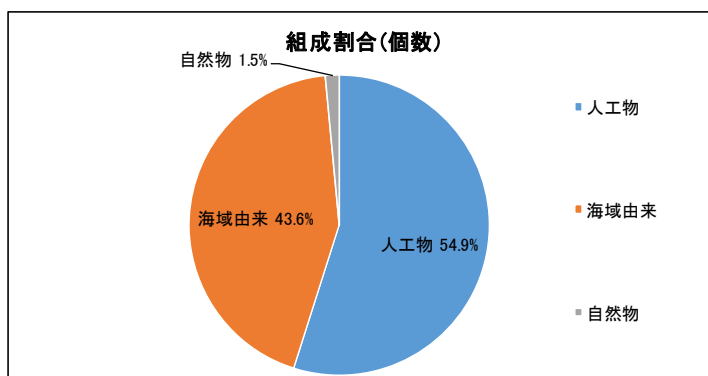
容量についてみると、全容量のうち人工物が44.0%、次いで海域由来が30.5%、自然物が25.5%となっている。

重量についてみると、全重量のうち自然物が44.6%、次いで人工物が35.3%、海域由来が20.1%となっている。

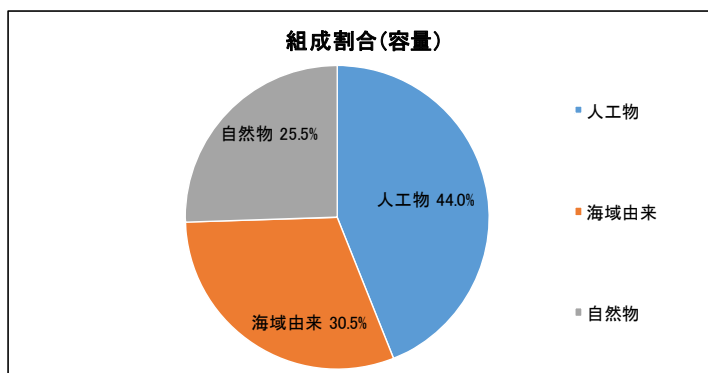
	個数	割合
人工物	1,585	54.9%
海域由来	1,259	43.6%
自然物	43	1.5%
総計	2,887	100.0%

※人工物の個数のうち、ゴム、ガラス、陶器、金属、紙、ダンボールについては、破片類を除く。

※自然物の個数については灌木を除く。



	容量(L)	割合
人工物	2,092.37	44.0%
海域由来	1,454.02	30.5%
自然物	1,214.40	25.5%
総計	4,760.79	100.0%



	重量(kg)	割合
人工物	215.68	35.3%
海域由来	123.22	20.1%
自然物	272.60	44.6%
総計	611.49	100.0%

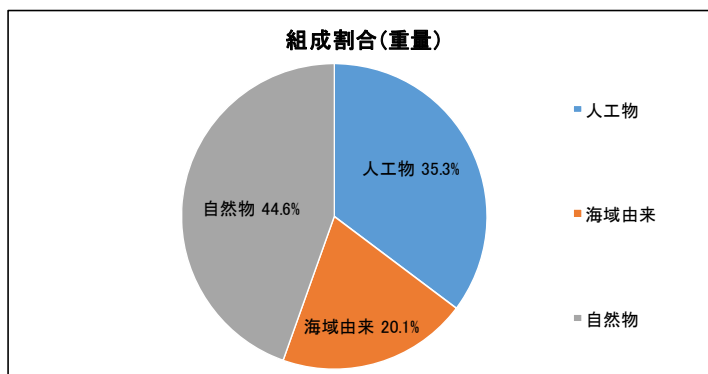


図-12 3分類別の集計結果

## 5-6 国別の組成

### (1) ペットボトル及びペットボトルキャップの国別組成

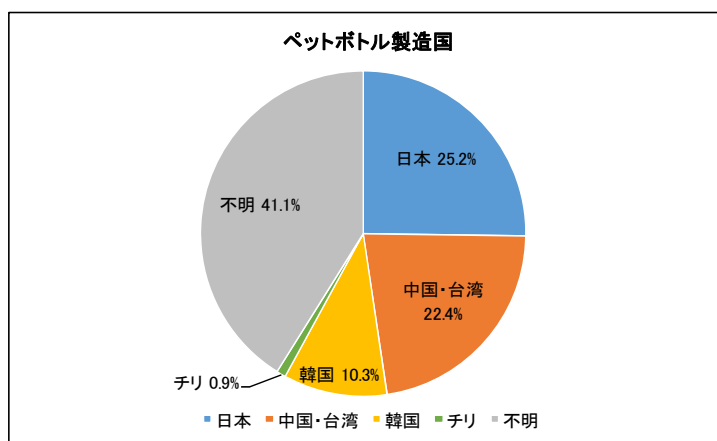
言語表記等の調査により、ペットボトル（バーコードもしくは言語表記があるもの）及びペットボトルキャップ（言語表記があるもの）を対象に、それらの国別の割合を調査した。なお、ここで扱うペットボトルのキャップとは、ガイドラインの漂着ごみデータシート②の分類項目「ボトルのキャップ・ふた」に分類されたものからペットボトルのキャップのみを選別したものである。ペットボトル及びペットボトルキャップの国別の調査結果を図-13に示す。

ペットボトルの個数の国別組成比では不明（44個、41.1%）が最も多く、次いで日本（27個、25.2%）、中国・台湾（24個、22.4%）、韓国（11個、10.3%）となっている。

また、ペットボトルのキャップの個数の国別組成比では不明（212個、62.5%）が最も多く、次いで同数で中国・台湾及び韓国（43個、12.7%）、日本（39個、11.5%）となっている。

#### ・ペットボトル

表記言語等	個数	割合
日本	27	25.2%
中国・台湾	24	22.4%
韓国	11	10.3%
チリ	1	0.9%
不明	44	41.1%
総計	107	100.0%



#### ・ペットボトルのキャップ

表記言語	個数	割合
日本	39	11.5%
中国・台湾	43	12.7%
韓国	43	12.7%
ベトナム	1	0.3%
タイ	1	0.3%
不明	212	62.5%
総計	339	100.0%

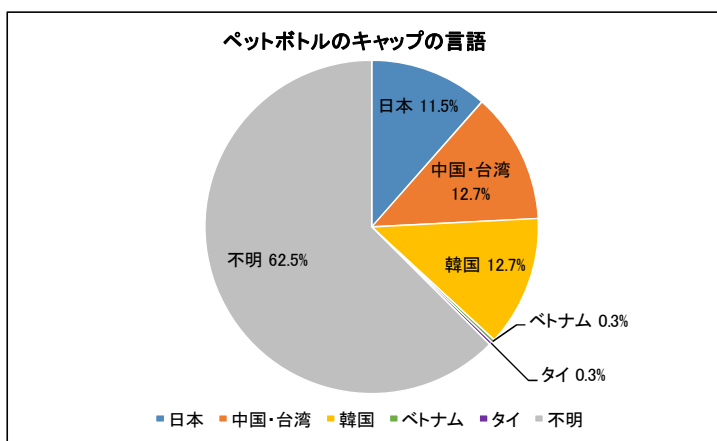


図-13 ペットボトル及びペットボトルのキャップの国別の集計結果



図-14 ペットボトル<1Lの国別分類



図-15 ペットボトル≥1Lの国別分類

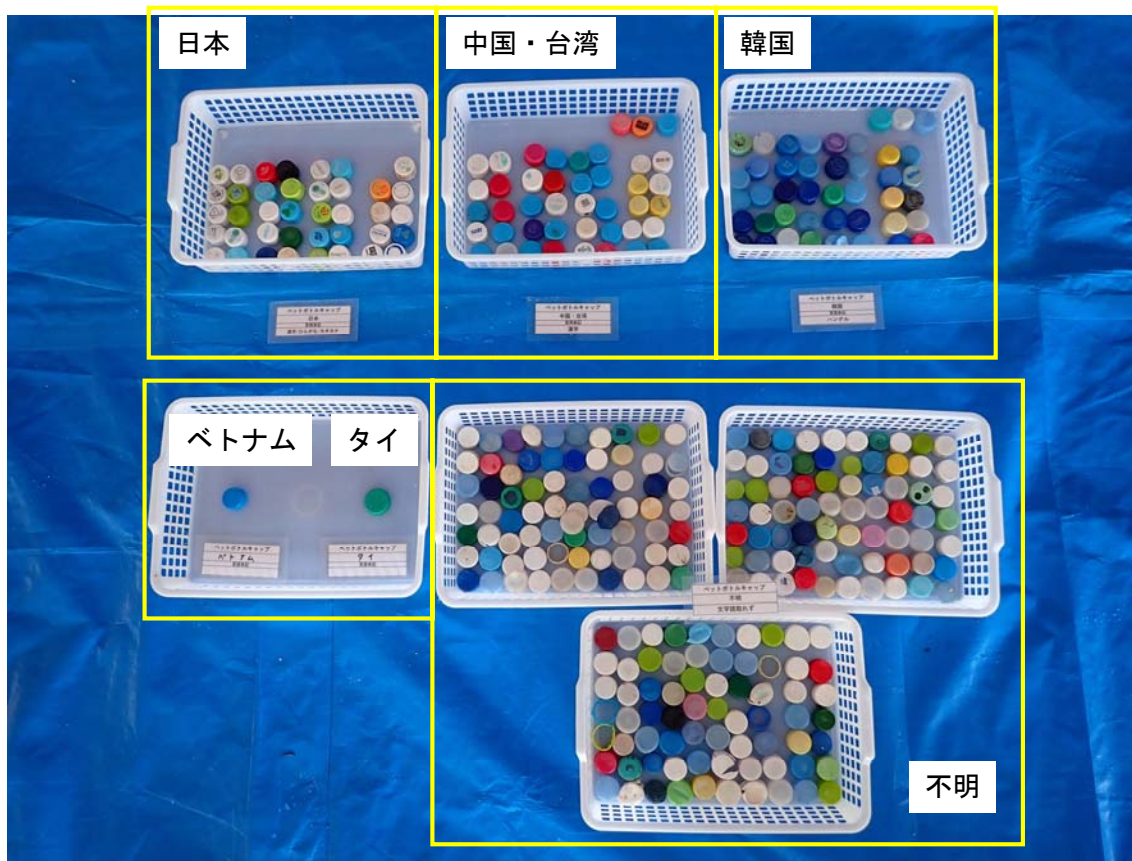


図-16 ペットボトルのキャップの国別分類

## (2) 浮子（ブイ）の国別組成

言語表記等の調査により、浮子（言語表記があるもの）を対象に、国別の割合を調査した。浮子（ブイ）の国別の調査結果を図-17に示す。

素材別では、硬質プラスチック製が約9割、発泡スチロール製が約1割という結果になり、そのうち言語分類可能なものはすべて硬質プラスチック製であった。

浮子の個数について国別組成比を見ると、不明（63個、72.4%）が最も多く、次いで中国・台湾（17個、19.5%）、韓国（7個、8.0%）となっており、日本語表記のものは確認されなかった。

表-10 浮子（ブイ）の素材別集計結果

	個数(個)	割合(%)	容量(L)	割合(%)	重量(kg)	割合(%)
硬質プラスチック製	78	89.7	695.37	77.4	49.52	77.0
発泡スチロール製フロート	9	10.3	203.00	22.6	14.81	23.0
総計	87	100.0	898.37	100.0	64.33	100.0

### ・漁業用の浮子

表記言語	個数	割合
日本	0	0.0%
中国・台湾	17	19.5%
韓国	7	8.0%
不明	63	72.4%
総計	87	100.0%

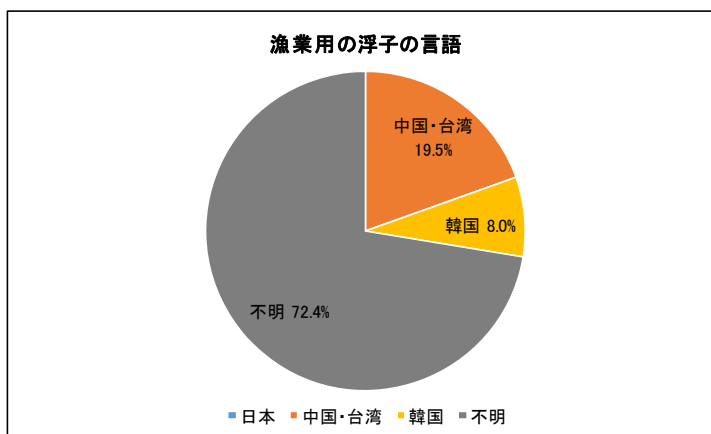


図-17 浮子（ブイ）の国別の集計結果



図-18 浮子（ブイ）の国別分類（硬質プラスチック製）



図-19 浮子（ブイ）の国別分類（発泡スチロール製）

## 5-7 水晶浜海水浴場におけるごみの傾向

水晶浜海水浴場において、大分類のうちプラスチック類ごみ（プラスチックと発泡スチロールの合計）の組成比は個数が 93.9%、容量が 61.9%、重量が 36.3%と、プラスチック類ごみが多くなっている。

プラスチック類ごみの内訳について分析を行い傾向について検討するため、プラスチック類の個数及び重量について、項目毎に降順に並び替え、プラ分類別に色分けを行い図-20、21 に示す。なお、プラ分類とはプラスチック類を用途別に分類したもので、ガイドラインの分類表に記載のプラ分類の項目をもとにしている。

プラスチック類の全個数は 2,710 個であり、そのうち最も個数が多いものは「ロープ・ひも（漁具）」（902 個）、次いで「ボトルのキャップ、ふた」（693 個）となっている。

プラスチック類の全重量は 222.08kg であり、そのうち最も重量が重いものは「ロープ、ひも（漁具）」（50.76kg）、次いで「浮子（ブイ）（漁具）」（49.52kg）となっている。

プラスチック類のうち個数、重量ともに「ロープ・ひも（漁具）」が 1 位となっている。その他に個数では、「ボトルのキャップ、ふた」「その他の漁具」が上位 5 項目に含まれており、重量では、「硬質プラスチック破片」「分類に無いもの（メッシュコンテナ）」が上位 5 項目に含まれている。

プラ分類でみると、個数、重量ともに上位 5 位のうち 2 品目が海域由来であり、個数では 4 割以上、重量では 5 割以上を占めている。

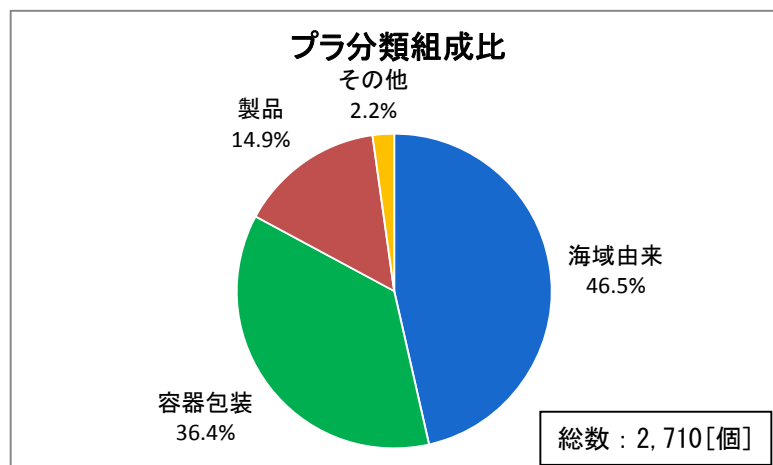
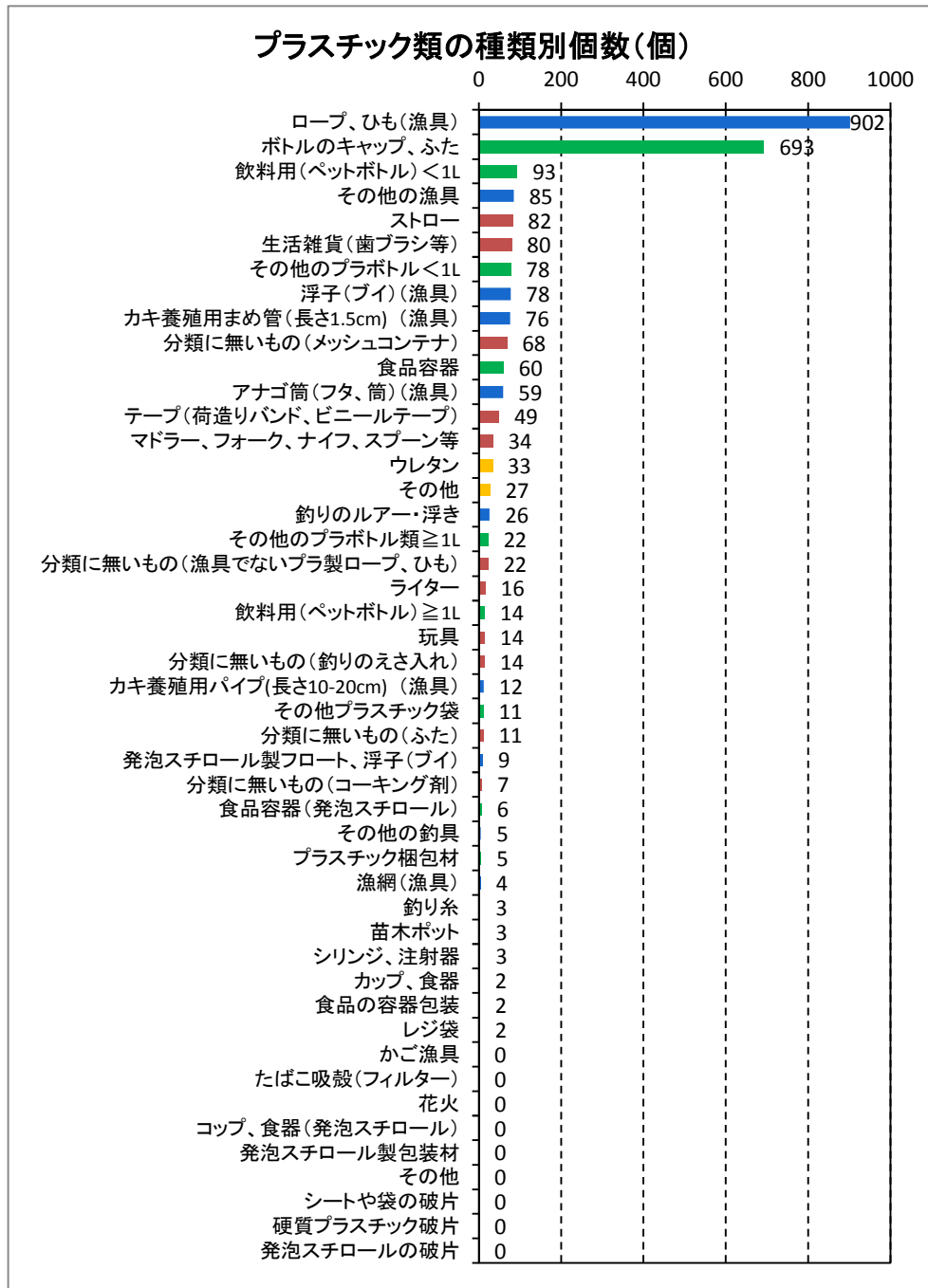


図-20 上段：プラスチック類の種類別個数、下段：個数におけるプラ分類組成比



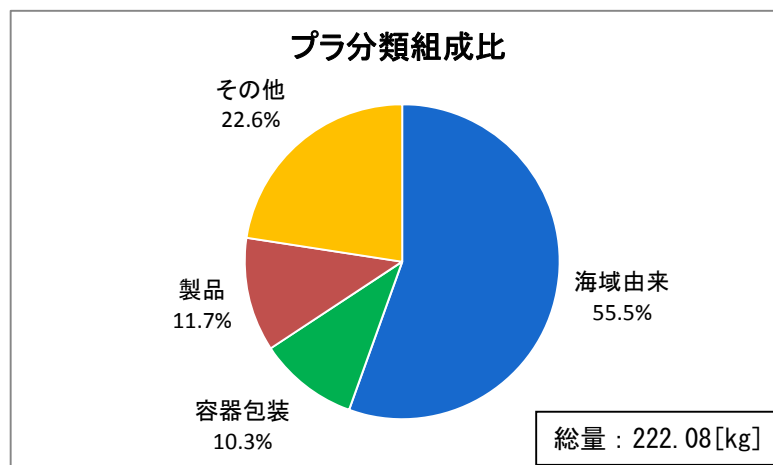
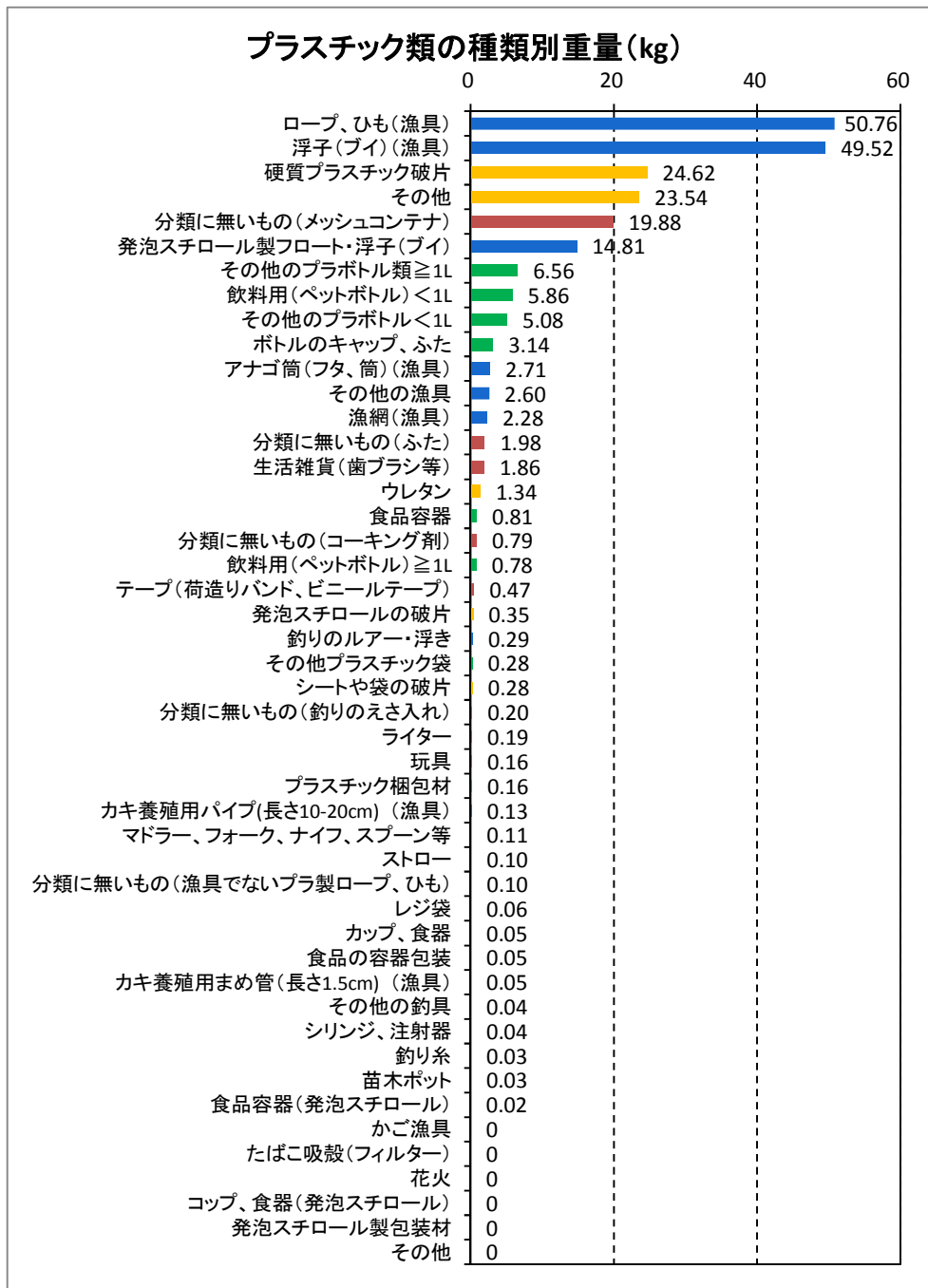


図-21 上段：プラスチック類の種類別重量、下段：重量におけるプラ分類組成比

## 6. 過年度調査結果との比較

### 6-1 比較概要

令和2年度から令和6年度の調査結果をもとに比較を行った。

比較のため同様の場所にて撮影した令和2年度から令和6年度の5か年の水晶浜海水浴場における海岸漂着物等調査実施前の状況を以下の図-22に示す。

	北東から海側	南東から海側
令和2年度		
令和3年度	※福井県撮影資料 	※福井県撮影資料 
令和4年度	※福井県撮影資料 	※福井県撮影資料 
令和5年度	※福井県撮影資料 	※福井県撮影資料 
令和6年度		

図-22 海岸漂着物等の回収前の状況

## 6-2 大分類別調査結果の比較

令和2年度から令和6年度の調査結果を大分類別に個数、容量、重量について比較した結果を以降に示す。過年度結果は各年度の報告書を参照した。5か年において個数、容量、重量を比較すると、いずれも令和3年度が最も多くなっており、以降、個数は年々減少しているが、容量及び重量は令和5年度から今年度にかけて増加している。特に今年度はプラスチックの割合が減少し、自然物及び木（木材等）の割合が増加している。

表-11 大分類別集計結果（個数／個）

	R2		R3		R4		R5		R6	
	個数	割合(%)	個数	割合(%)	個数	割合(%)	個数	割合(%)	個数	割合(%)
プラスチック	1,703	89.8	9,572	96.1	5,445	94.3	3,458	95.8	2,695	93.3
発泡スチロール	24	1.3	28	0.3	53	0.9	67	1.8	15	0.5
ゴム	37	2.0	92	0.9	120	2.1	20	0.5	26	0.9
ガラス、陶器	36	1.9	80	0.8	25	0.4	17	0.5	14	0.5
金属	20	1.1	38	0.4	11	0.2	6	0.2	13	0.5
紙・段ボール	4	0.2	22	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
天然繊維、革	0	0.0	50	0.5	5	0.1	0	0.0	0	0.0
木(木材等)	32	1.7	70	0.7	109	1.9	31	0.9	76	2.6
電化製品、電子機器	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.1
自然物	40	2.1	5	0.1	4	0.1	10	0.3	43	1.5
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	0.1
総計	1,896	100.0	9,957	100.0	5,772	100.0	3,609	100.0	2,887	100.0

表-12 大分類別集計結果（容量／L）

	R2		R3		R4		R5		R6	
	容量	割合(%)	容量	割合(%)	容量	割合(%)	容量	割合(%)	容量	割合(%)
プラスチック	2,528.1	82.5	8,760.3	76.9	5,121.6	66.2	2,330.1	71.6	2,731.6	57.4
発泡スチロール	80.0	2.6	55.2	0.5	56.3	0.7	96.1	3.0	216.4	4.5
ゴム	30.4	1.0	169.0	1.5	16.1	0.2	31.5	1.0	29.2	0.6
ガラス、陶器	45.1	1.5	60.0	0.5	19.3	0.2	6.0	0.2	9.9	0.2
金属	5.8	0.2	9.0	0.1	1.2	0.0	2.8	0.1	16.4	0.3
紙・段ボール	0.2	0.0	4.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
天然繊維、革	0.0	0.0	10.0	0.1	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
木(木材等)	139.2	4.5	90.0	0.8	804.9	10.4	160.0	4.9	321.6	6.8
電化製品、電子機器	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	0.1
自然物	234.6	7.7	2,238.9	19.6	1,714.6	22.2	630.0	19.3	1,214.4	25.5
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	216.6	4.6
総計	3,063.4	100.0	11,397.0	100.0	7,734.9	100.0	3,256.5	100.0	4,760.8	100.0

表-13 大分類別集計結果（重量／kg）

	R2		R3		R4		R5		R6	
	重量	割合(%)	重量	割合(%)	重量	割合(%)	重量	割合(%)	重量	割合(%)
プラスチック	230.6	75.2	965.2	69.9	685.4	62.3	298.2	56.4	206.9	33.8
発泡スチロール	1.3	0.4	0.6	0.0	3.1	0.3	2.3	0.4	15.2	2.5
ゴム	6.9	2.2	18.6	1.3	6.3	0.6	6.3	1.2	2.7	0.4
ガラス、陶器	4.9	1.6	18.7	1.4	5.7	0.5	3.7	0.7	1.9	0.3
金属	1.6	0.5	4.1	0.3	0.2	0.0	0.5	0.1	1.0	0.2
紙・段ボール	0.0	0.0	1.7	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
天然繊維、革	0.0	0.0	3.7	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
木(木材等)	27.0	8.8	28.9	2.1	152.4	13.8	32.2	6.1	97.8	16.0
電化製品、電子機器	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.1
自然物	34.4	11.2	339.6	24.6	246.8	22.4	186.0	35.2	272.6	44.6
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.7	2.1
総計	306.7	100.0	1,381.1	100.0	1,100.1	100.0	529.1	100.0	611.5	100.0

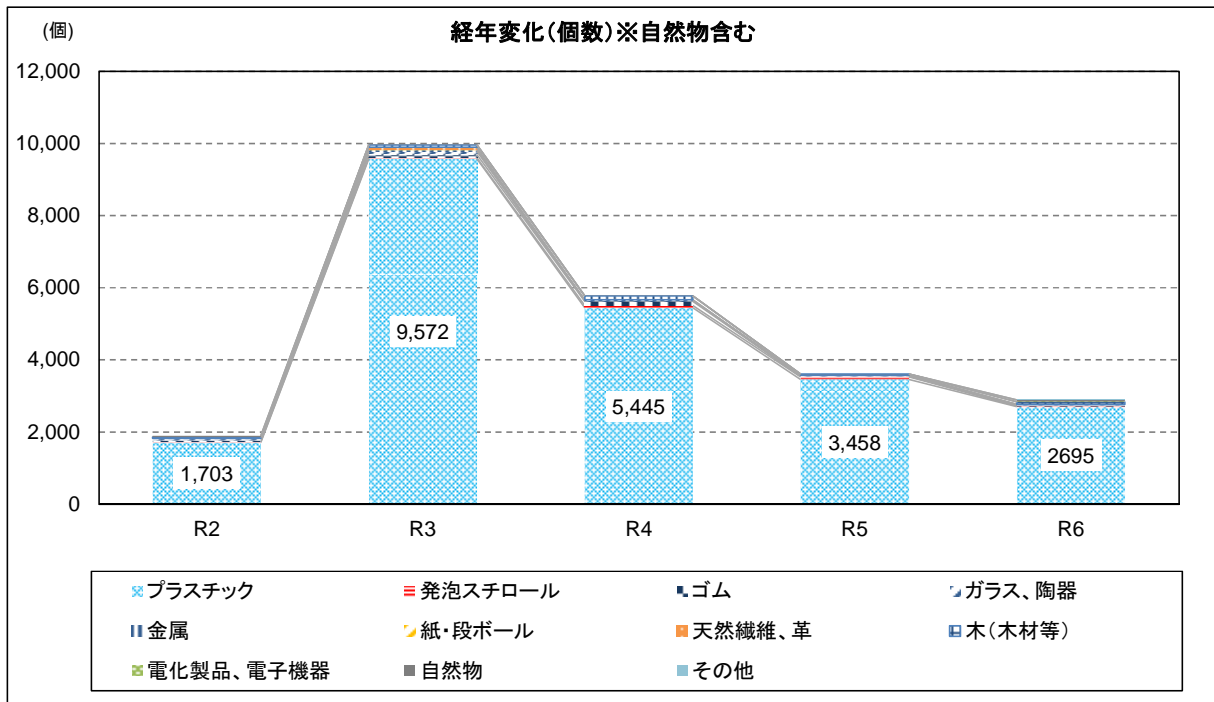


図-23 大分類別の個数比較 (個)

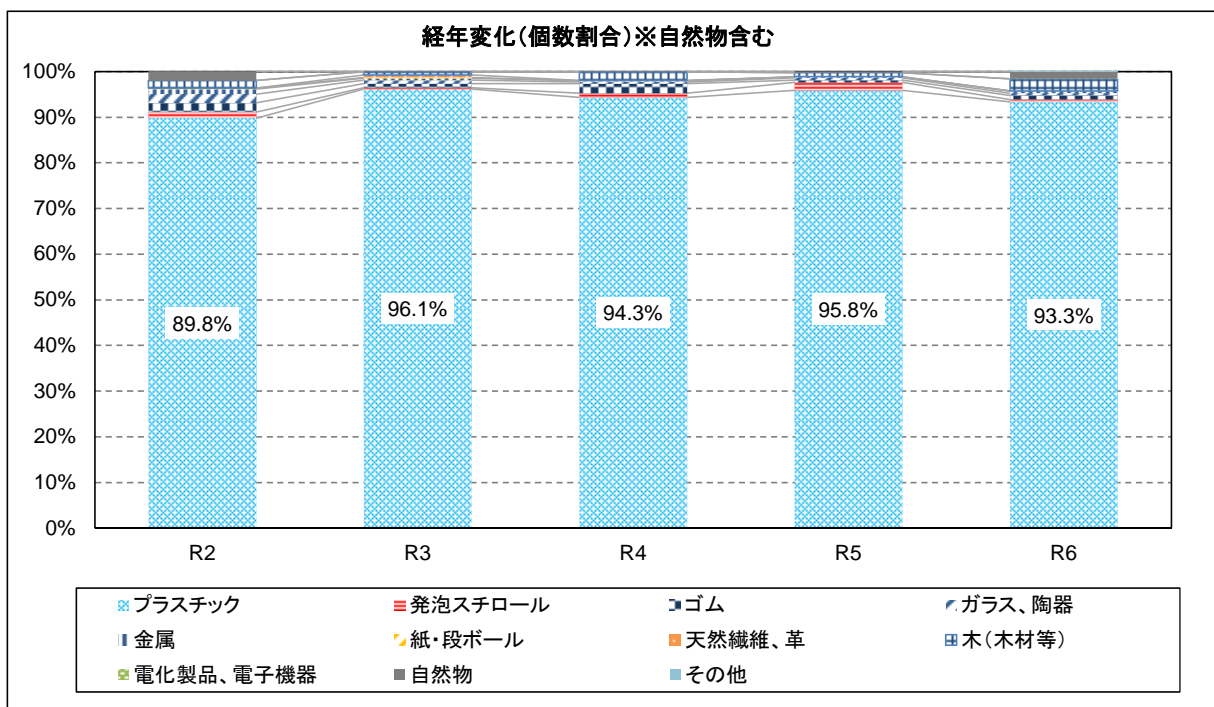
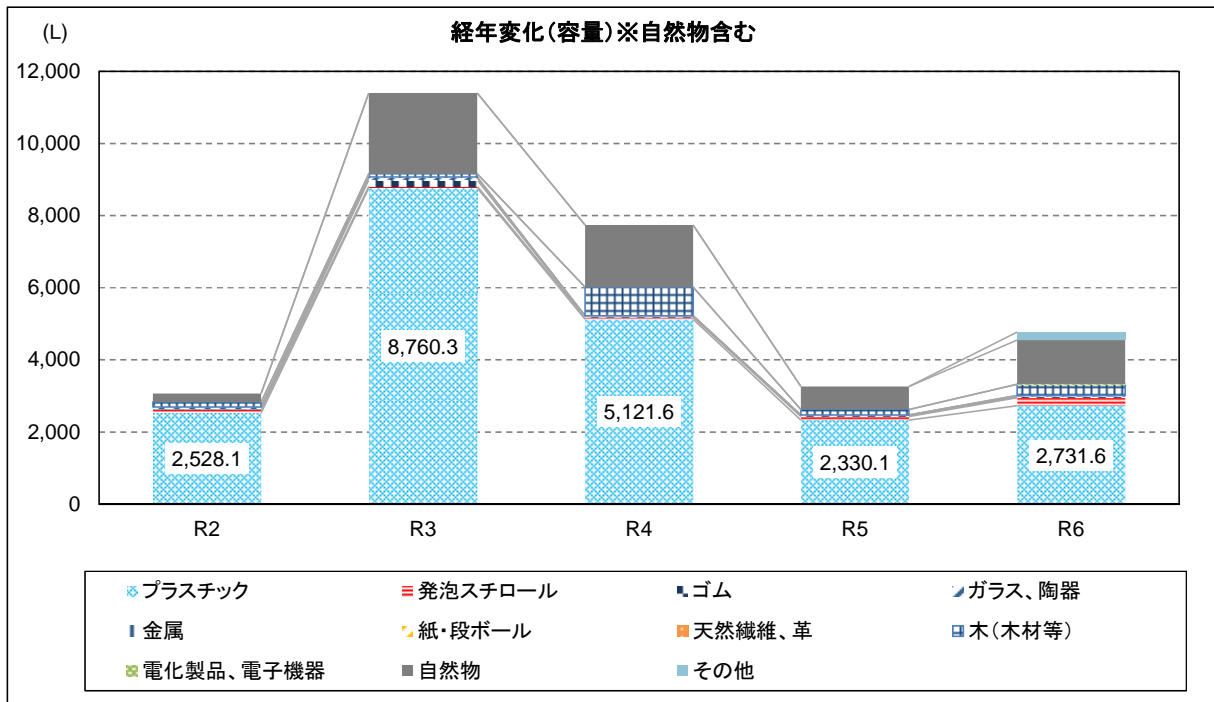
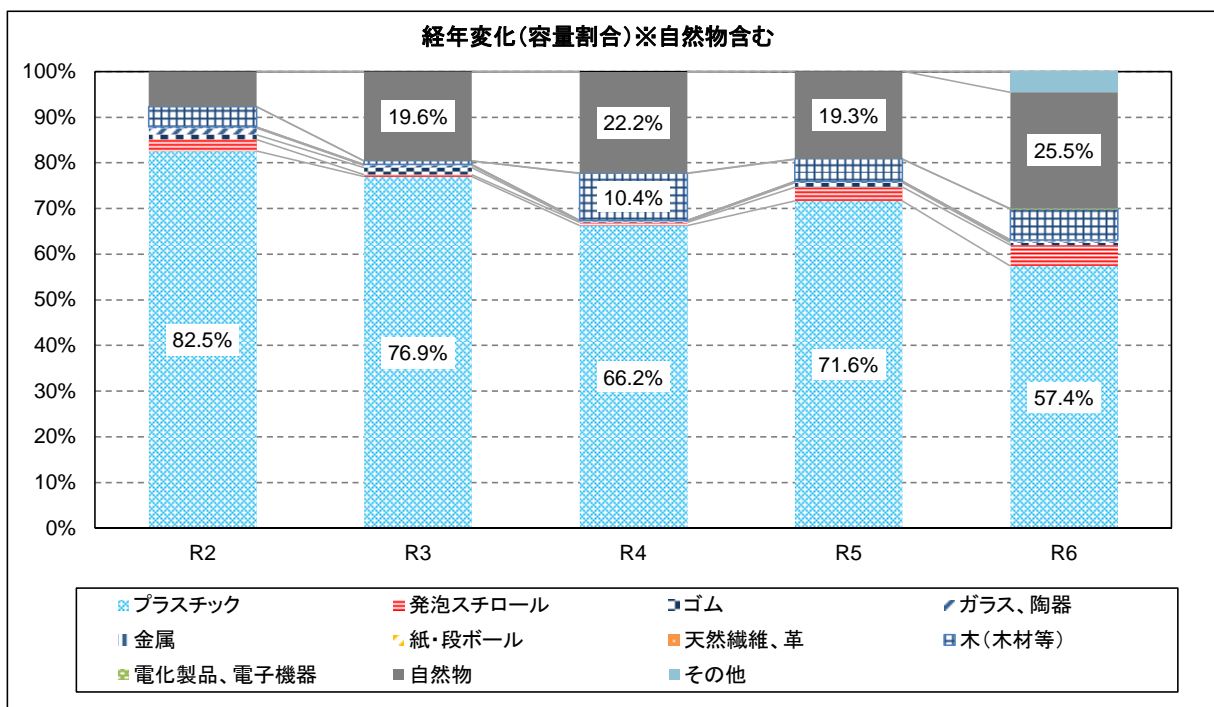


図-24 大分類別の個数割合比較 (%)



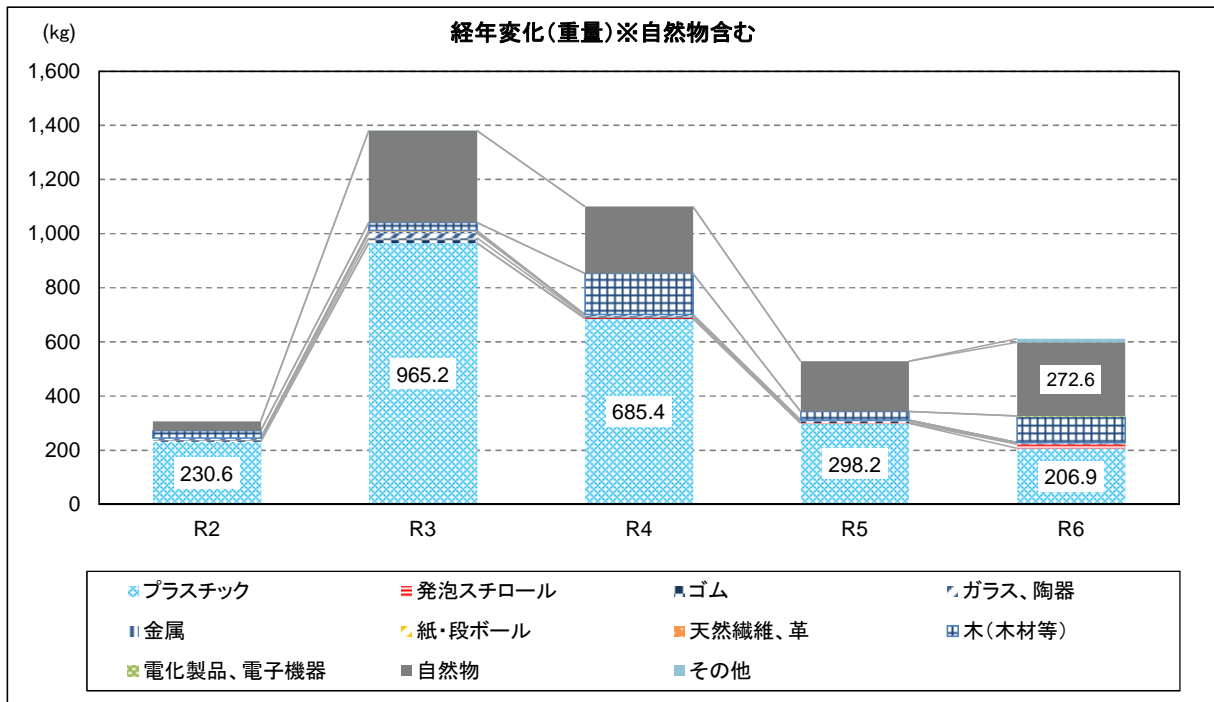
※グラフ内はプラスチック及び各年度で最大の値を表示

図-25 大分類別の容量比較 (L)



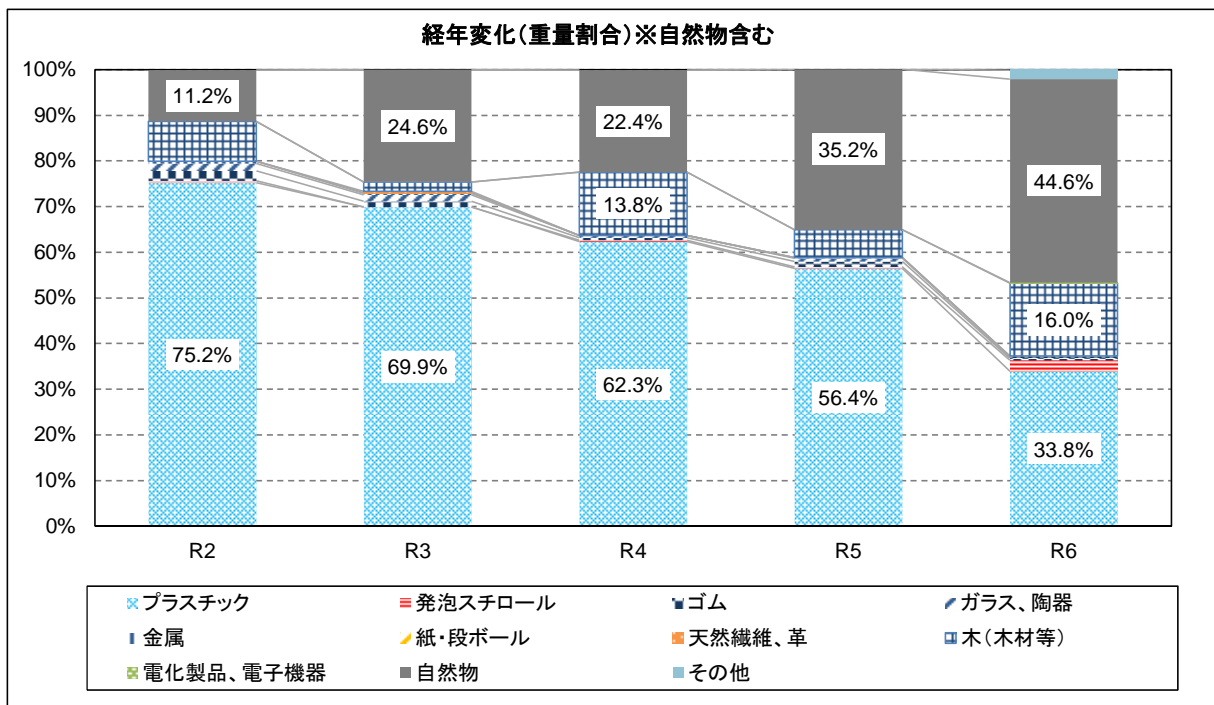
※グラフ内は10%以上の値のみ表示

図-26 大分類別の容量割合比較 (%)



※グラフ内はプラスチック及び各年度で最大の値を表示

図-27 大分類別の重量比較 (kg)



※グラフ内は10%以上の値のみ表示

図-28 大分類別の重量割合比較 (%)

### 6-3 人工物別調査結果の比較

各年度の調査結果を人工物別に個数、容量、重量について比較した結果を以降に示す。5 か年において個数、容量、重量を比較すると、いずれもプラスチックの割合が最も高くなっているが、特に容量及び重量に着目すると今年度はプラスチックの割合が減少し、木（木材等）及びその他（名称不明）の割合が増加している。

表-14 人工物別集計結果（個数／個）

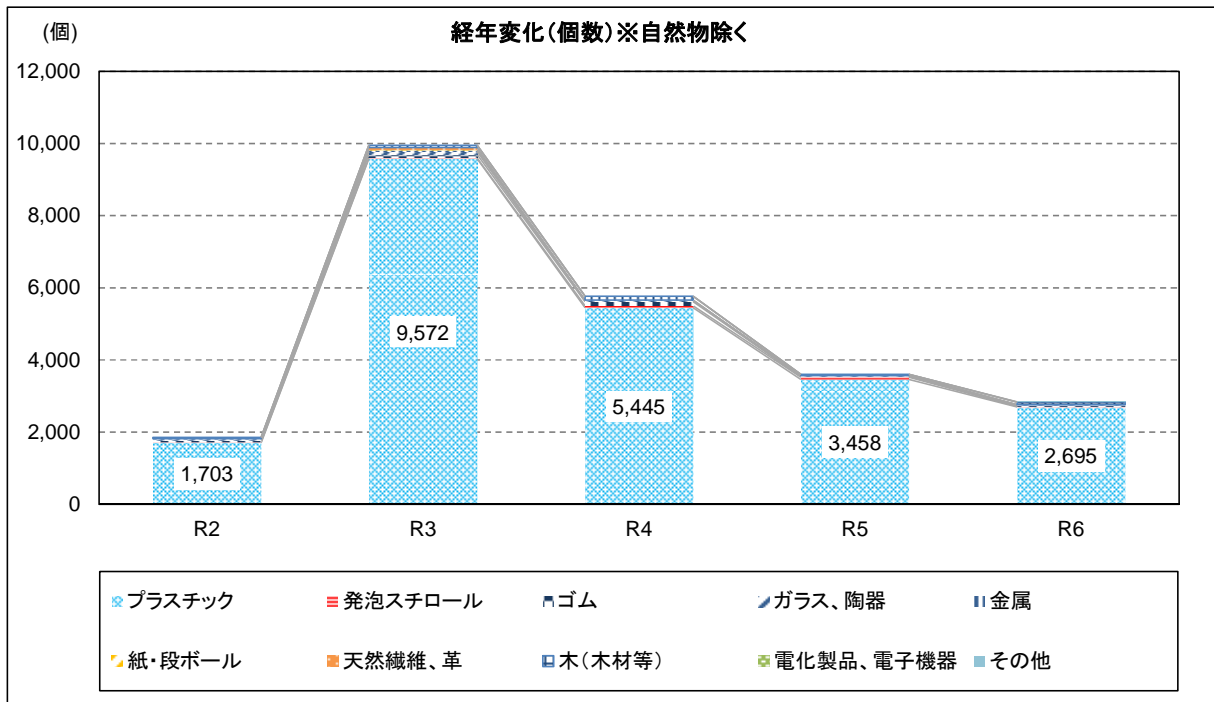
	R2		R3		R4		R5		R6	
	個数	割合(%)	個数	割合(%)	個数	割合(%)	個数	割合(%)	個数	割合(%)
プラスチック	1,703	91.8	9,572	96.2	5,445	94.4	3,458	96.1	2,695	94.8
発泡スチロール	24	1.3	28	0.3	53	0.9	67	1.9	15	0.5
ゴム	37	2.0	92	0.9	120	2.1	20	0.5	26	0.9
ガラス、陶器	36	1.9	80	0.8	25	0.4	17	0.5	14	0.5
金属	20	1.1	38	0.4	11	0.2	6	0.2	13	0.5
紙・段ボール	4	0.2	22	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
天然繊維、革	0	0.0	50	0.5	5	0.1	0	0.0	0	0.0
木(木材等)	32	1.7	70	0.7	109	1.9	31	0.9	76	2.7
電化製品、電子機器	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.1
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	0.1
総計	1,856	100.0	9,952	100.0	5,768	100.0	3,599	100.0	2,844	100.0

表-15 人工物別集計結果（容量／L）

	R2		R3		R4		R5		R6	
	容量	割合(%)	容量	割合(%)	容量	割合(%)	容量	割合(%)	容量	割合(%)
プラスチック	2,528.1	89.4	8,760.3	95.7	5,121.6	85.1	2,330.1	88.7	2,731.6	77.0
発泡スチロール	80.0	2.8	55.2	0.6	56.3	0.9	96.1	3.7	216.4	6.1
ゴム	30.4	1.1	169.0	1.8	16.1	0.3	31.5	1.2	29.2	0.8
ガラス、陶器	45.1	1.6	60.0	0.7	19.3	0.3	6.0	0.2	9.9	0.3
金属	5.8	0.2	9.0	0.1	1.2	0.0	2.8	0.1	16.4	0.5
紙・段ボール	0.2	0.0	4.6	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
天然繊維、革	0.0	0.0	10.0	0.1	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
木(木材等)	139.2	4.9	90.0	1.0	804.9	13.4	160.0	6.1	321.6	9.1
電化製品、電子機器	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	0.1
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	216.6	6.1
総計	2,828.8	100.0	9,158.1	100.0	6,020.3	100.0	2,626.5	100.0	3,546.4	100.0

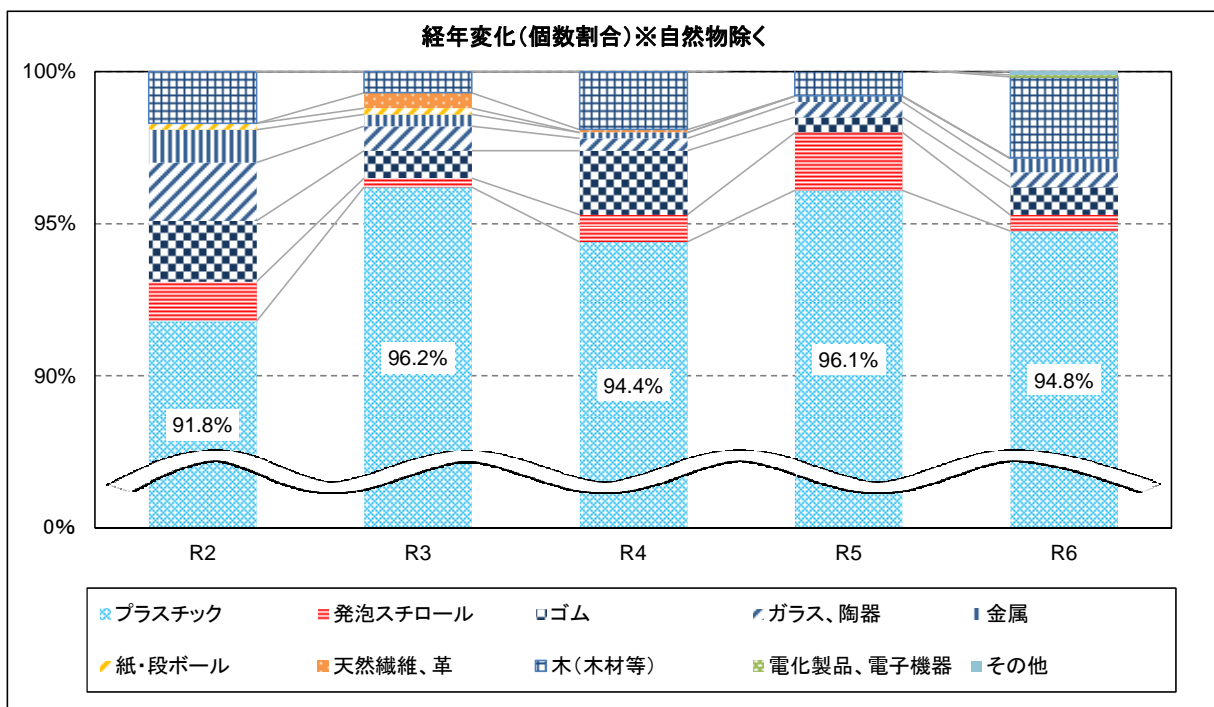
表-16 人工物別集計結果（重量／kg）

	R2		R3		R4		R5		R6	
	重量	割合(%)	重量	割合(%)	重量	割合(%)	重量	割合(%)	重量	割合(%)
プラスチック	230.6	84.7	965.2	92.7	685.4	80.3	298.2	86.9	206.9	61.1
発泡スチロール	1.3	0.5	0.6	0.1	3.1	0.4	2.3	0.7	15.2	4.5
ゴム	6.9	2.5	18.6	1.8	6.3	0.7	6.3	1.8	2.7	0.8
ガラス、陶器	4.9	1.8	18.7	1.8	5.7	0.7	3.7	1.1	1.9	0.5
金属	1.6	0.6	4.1	0.4	0.2	0.0	0.5	0.1	1.0	0.3
紙・段ボール	0.0	0.0	1.7	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
天然繊維、革	0.0	0.0	3.7	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
木(木材等)	27.0	9.9	28.9	2.8	152.4	17.9	32.2	9.4	97.8	28.8
電化製品、電子機器	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.2
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.7	3.8
総計	272.3	100.0	1,041.5	100.0	853.3	100.0	343.1	100.0	338.9	100.0



※グラフ内はプラスチック及び各年度で最大の値を表示

図-29 人工物別の個数比較 (個)



※プラスチック以外の組成比に着目するため、0~90%の範囲を一部省略して図化した。

※グラフ内は5%以上の値のみ表示

図-30 人工物別の個数割合比較 (%)



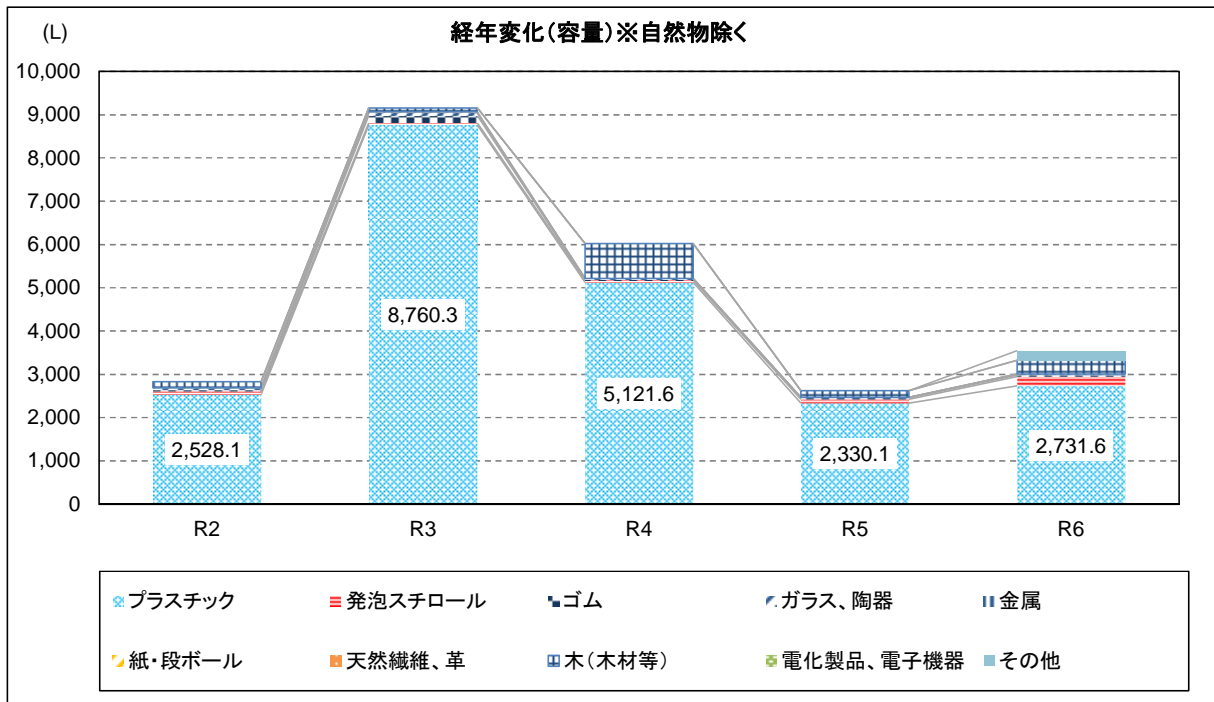


図-31 人工物別の容量比較 (L)

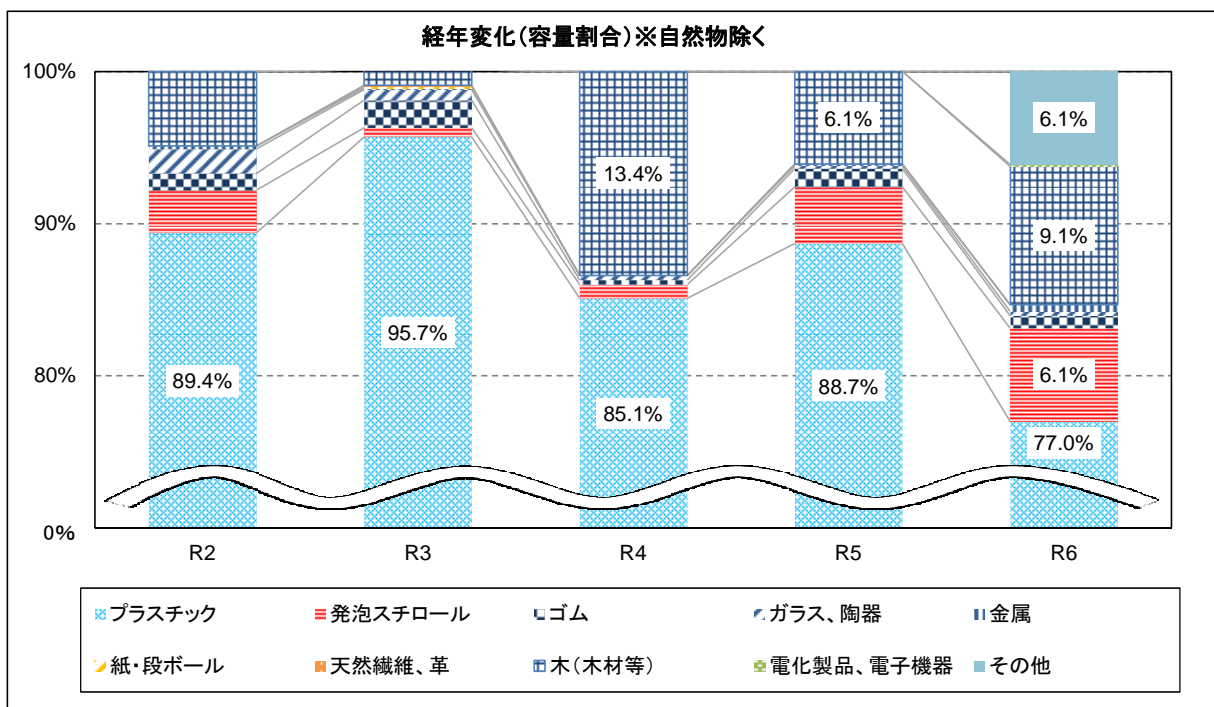


図-32 人工物別の容量割合比較 (%)

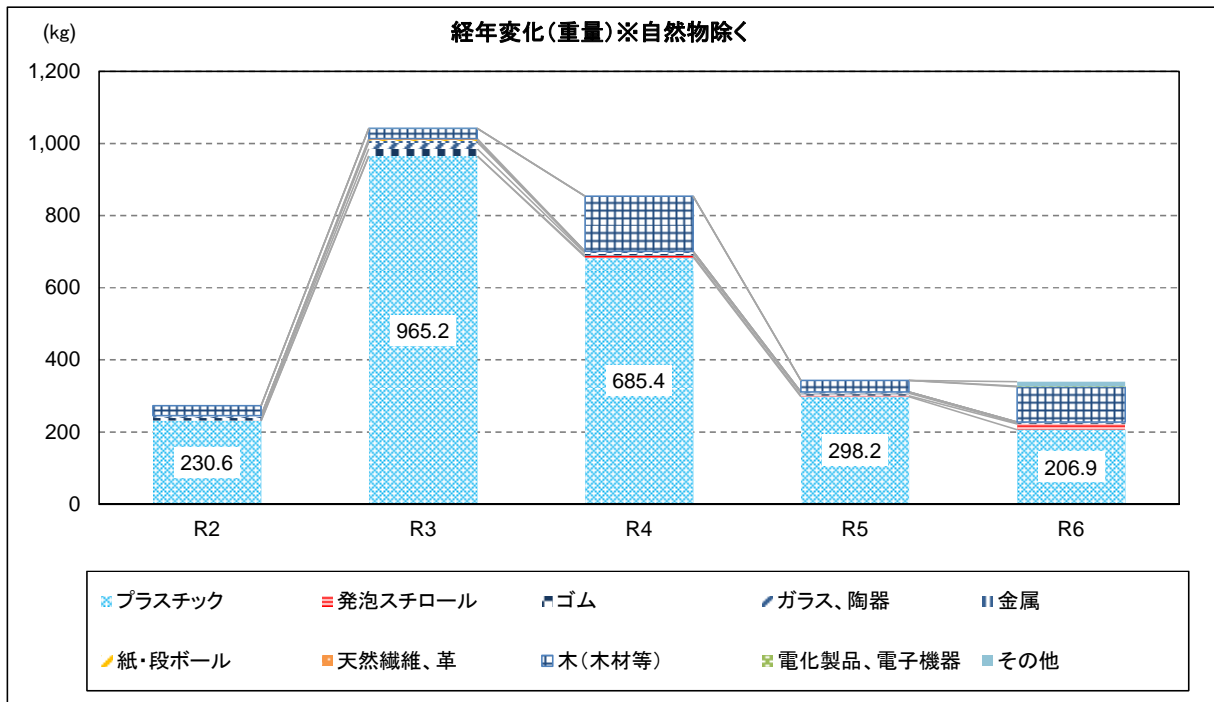


図-33 人工物別の重量比較 (kg)

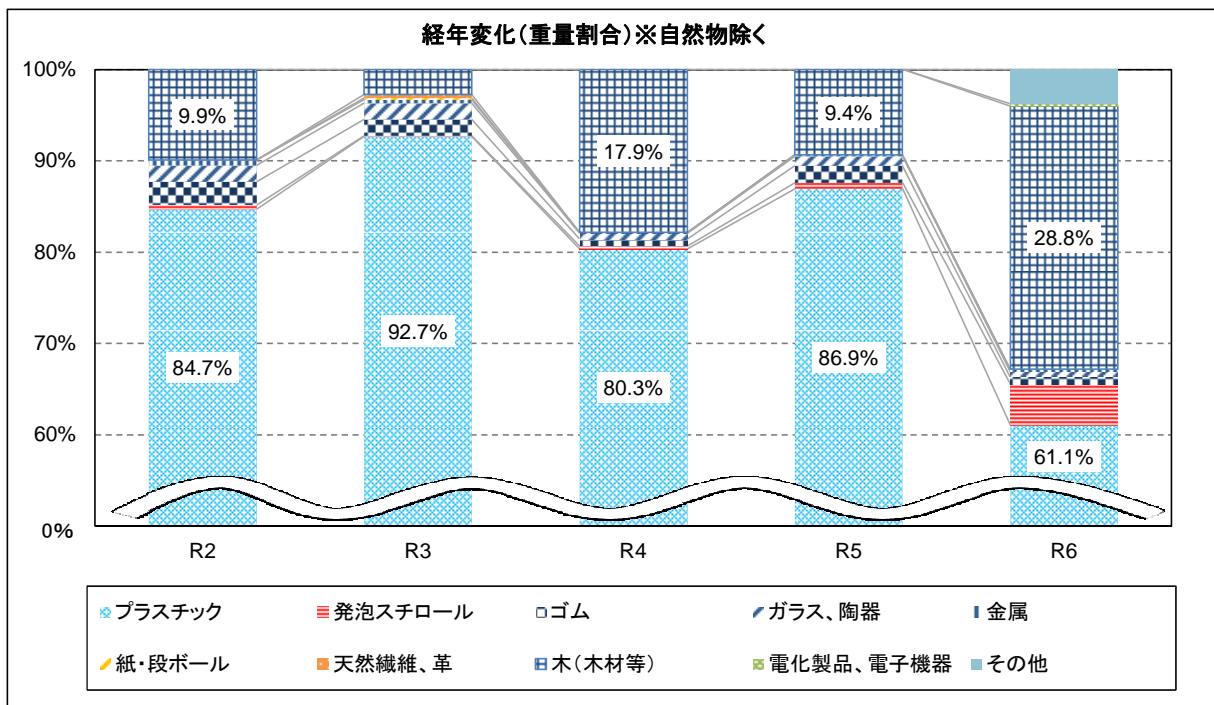


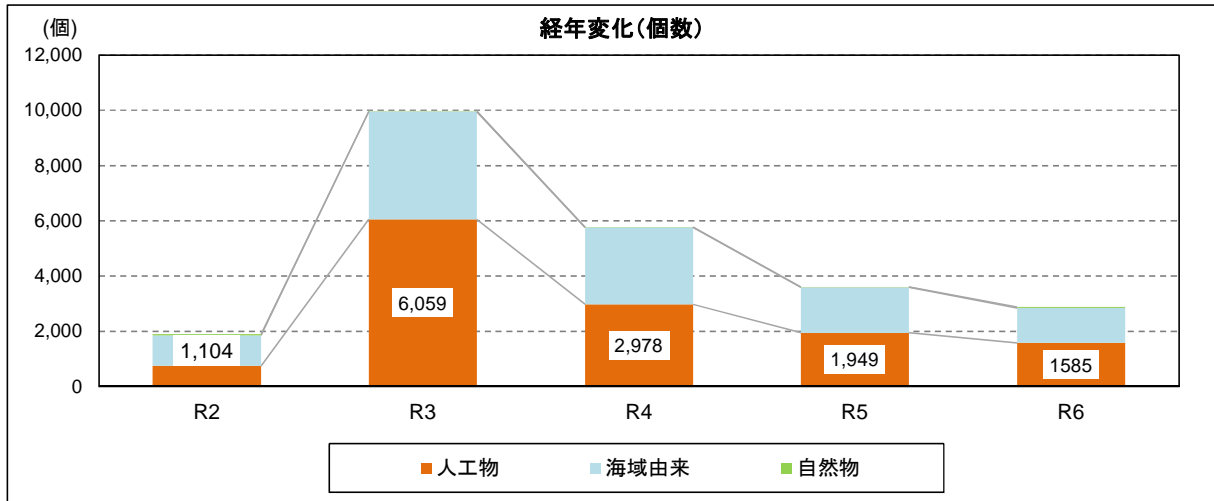
図-34 人工物別の重量割合比較 (%)

### 6-4 3分類別調査結果の比較

各年度の調査結果を3分類別に個数、容量、重量について比較した結果を以降に示す。5か年において個数、容量、重量を比較すると、いずれも令和3年度が最も多く、以降は概ね減少傾向であった。個数については年々減少、容量及び重量については令和5年度より増加したが、組成比に大きな変化は見られなかった。

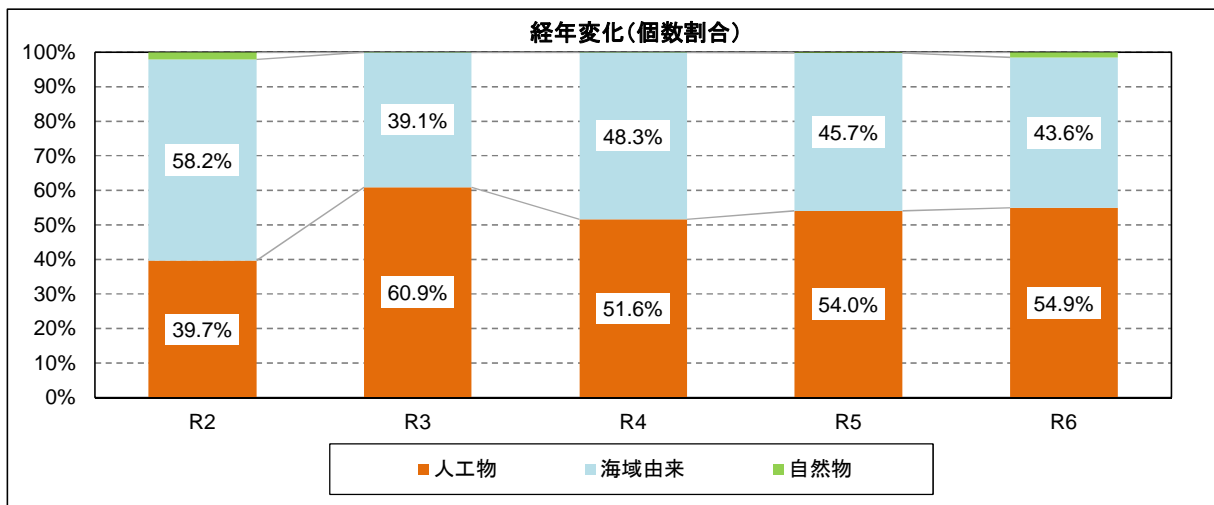
表-17 3分類別集計結果（個数/個）

	R2		R3		R4		R5		R6	
	個数	割合(%)	個数	割合(%)	個数	割合(%)	個数	割合(%)	個数	割合(%)
人工物	752	39.7	6,059	60.9	2,978	51.6	1,949	54.0	1,585	54.9
海域由来	1,104	58.2	3,893	39.1	2,790	48.3	1,649	45.7	1,259	43.6
自然物	40	2.1	5	0.1	4	0.1	10	0.3	43	1.5
総計	1,896	100.0	9,957	100.0	5,772	100.0	3,608	100.0	2,887	100.0



※グラフ内は各年度で最大の値を表示

図-35 3分類別の個数比較 (個)

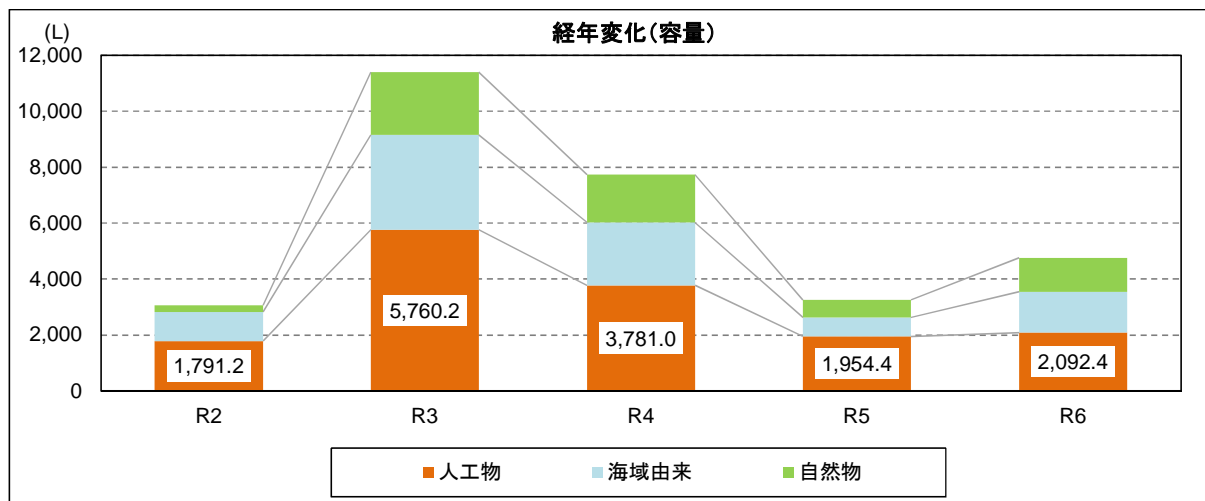


※グラフ内は10%以上の値のみ表示

図-36 3分類別の個数割合比較 (%)

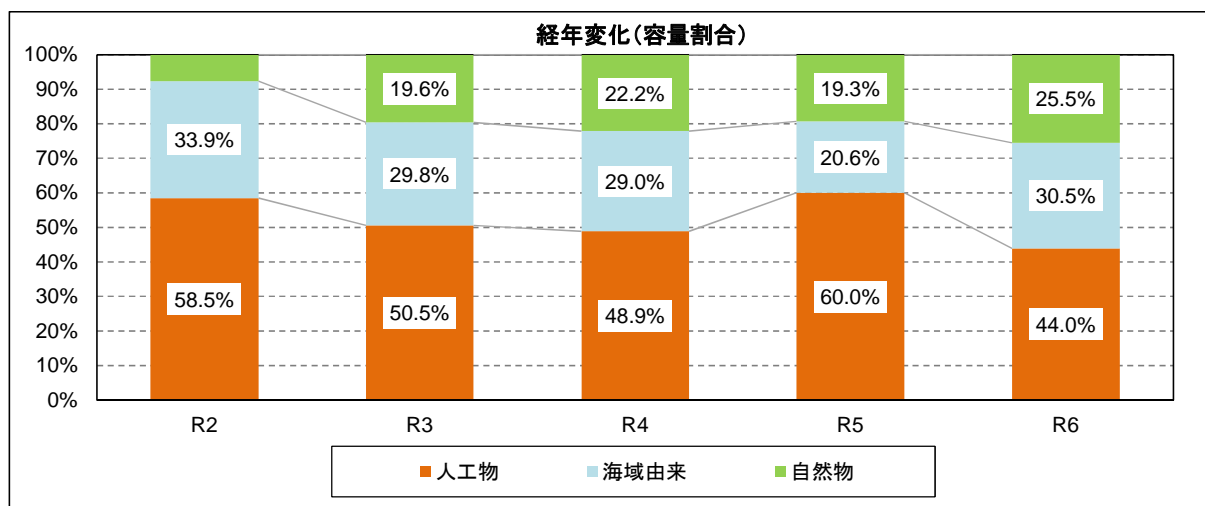
表-18 3分類別集計結果（容量/L）

	R2		R3		R4		R5		R6	
	容量	割合(%)	容量	割合(%)	容量	割合(%)	容量	割合(%)	容量	割合(%)
人工物	1,791.2	58.5	5,760.2	50.5	3,781.0	48.9	1,954.4	60.0	2,092.4	44.0
海域由来	1,037.6	33.9	3,398.0	29.8	2,239.3	29.0	672.0	20.6	1,454.0	30.5
自然物	234.6	7.7	2,238.9	19.6	1,714.6	22.2	630.0	19.3	1,214.4	25.5
総計	3,063.4	100.0	11,397.1	100.0	7,734.9	100.0	3,256.4	100.0	4,760.8	100.0



※グラフ内は各年度で最大の値を表示

図-37 3分類別の容量比較 (L)

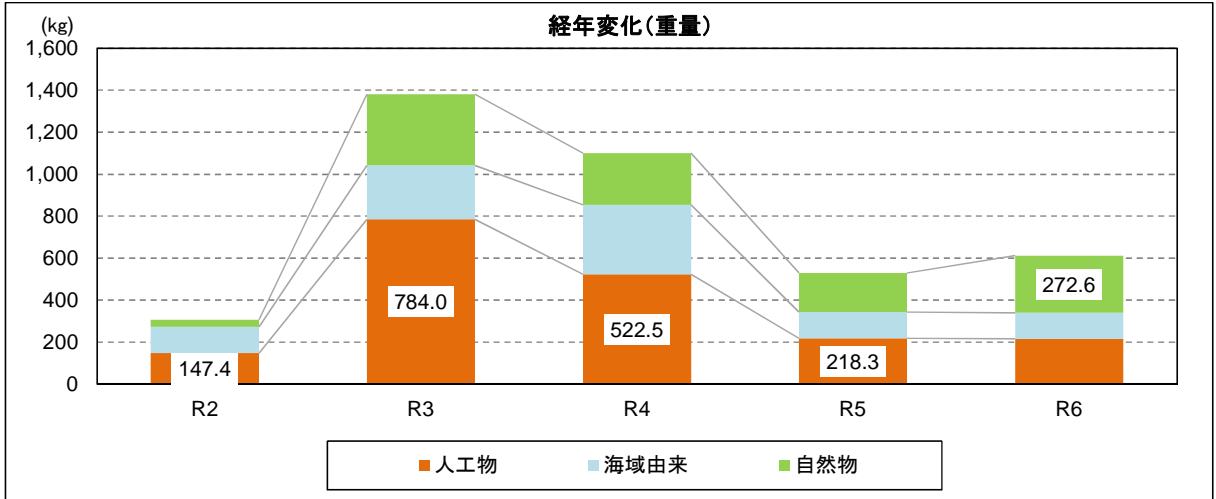


※グラフ内は10%以上の値のみ表示

図-38 3分類別の容量割合比較 (%)

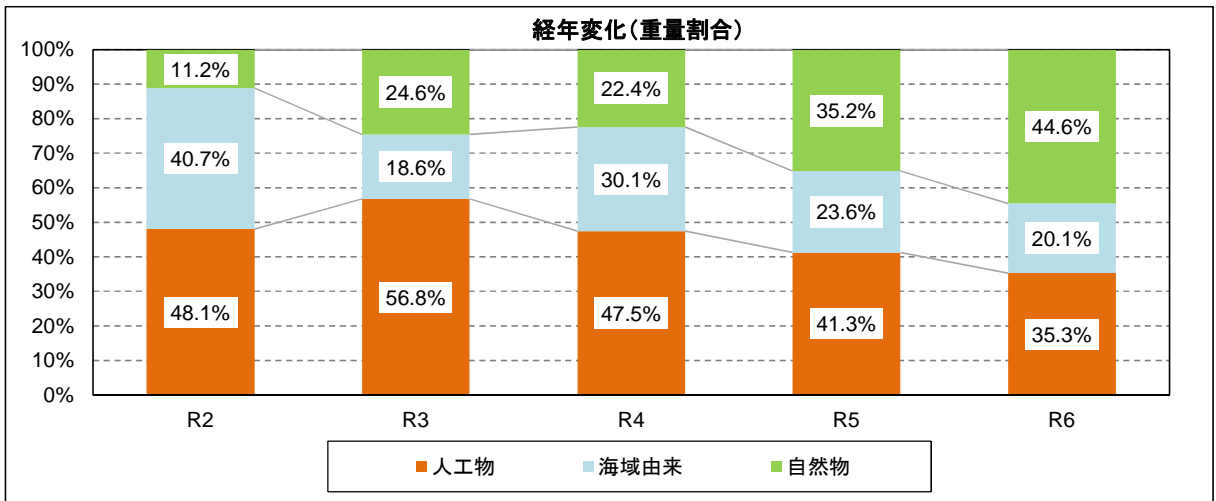
表-19 3分類別集計結果（重量/kg）

	R2		R3		R4		R5		R6	
	重量	割合(%)	重量	割合(%)	重量	割合(%)	重量	割合(%)	重量	割合(%)
人工物	147.4	48.1	784.0	56.8	522.5	47.5	218.3	41.3	215.7	35.3
海域由来	124.9	40.7	257.5	18.6	330.8	30.1	124.8	23.6	123.2	20.1
自然物	34.4	11.2	339.6	24.6	246.8	22.4	186.0	35.2	272.6	44.6
総計	306.7	100.0	1,381.0	100.0	1,100.1	100.0	529.1	100.0	611.5	100.0



※グラフ内は各年度で最大の値を表示

図-39 3分類別の重量比較 (kg)



※グラフ内は10%以上の値のみ表示

図-40 3分類別の重量割合比較 (%)

## 6-5 国別調査結果の比較

### (1) ペットボトル及びペットボトルキャップの国別組成

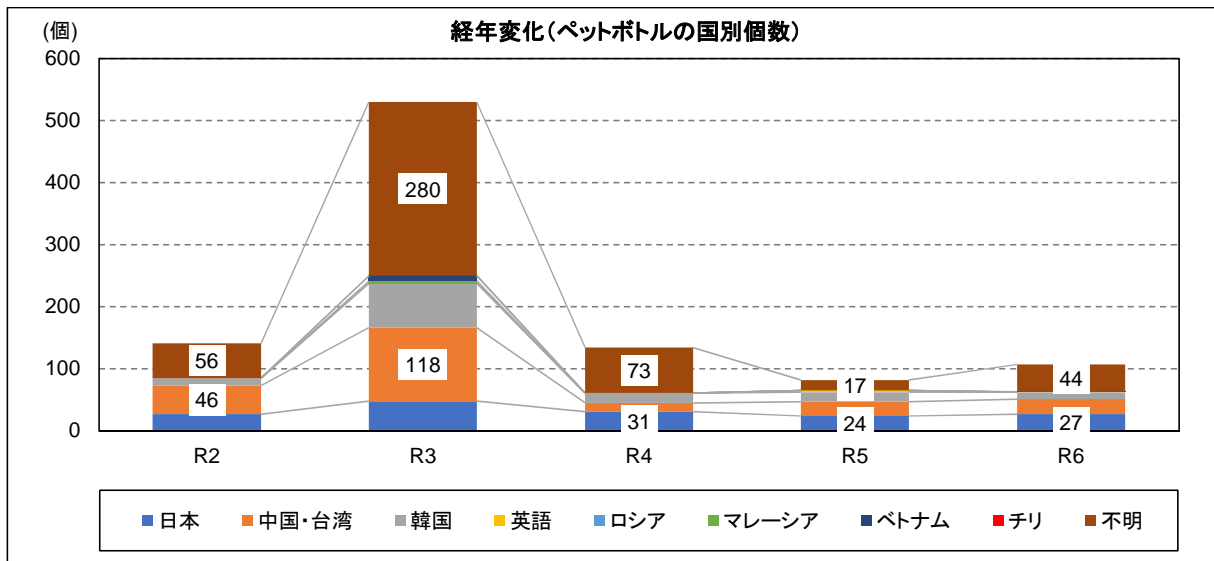
各年度の調査結果をペットボトル及びペットボトルキャップの国別の個数について比較した結果を以降に示す。いずれも令和3年度が最も多くみられたが、組成比に大きな変化は見られなかった。

表-20 ペットボトルの国別集計結果

	R2		R3		R4		R5		R6	
	個数	割合(%)	個数	割合(%)	個数	割合(%)	個数	割合(%)	個数	割合(%)
日本	27	19.1	48	9.1	31	23.1	24	29.3	27	25.2
中国・台湾	46	32.6	118	22.3	14	10.4	23	28.0	24	22.4
韓国	12	8.5	72	13.6	16	11.9	15	18.3	11	10.3
英語	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	3.7	0	0.0
ロシア	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
マレーシア	0	0.0	4	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0
ベトナム	0	0.0	8	1.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
チリ	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.9
不明	56	39.7	280	52.8	73	54.5	17	20.7	44	41.1
総計	141	100.0	530	100.0	134	100.0	82	100.0	107	100.0

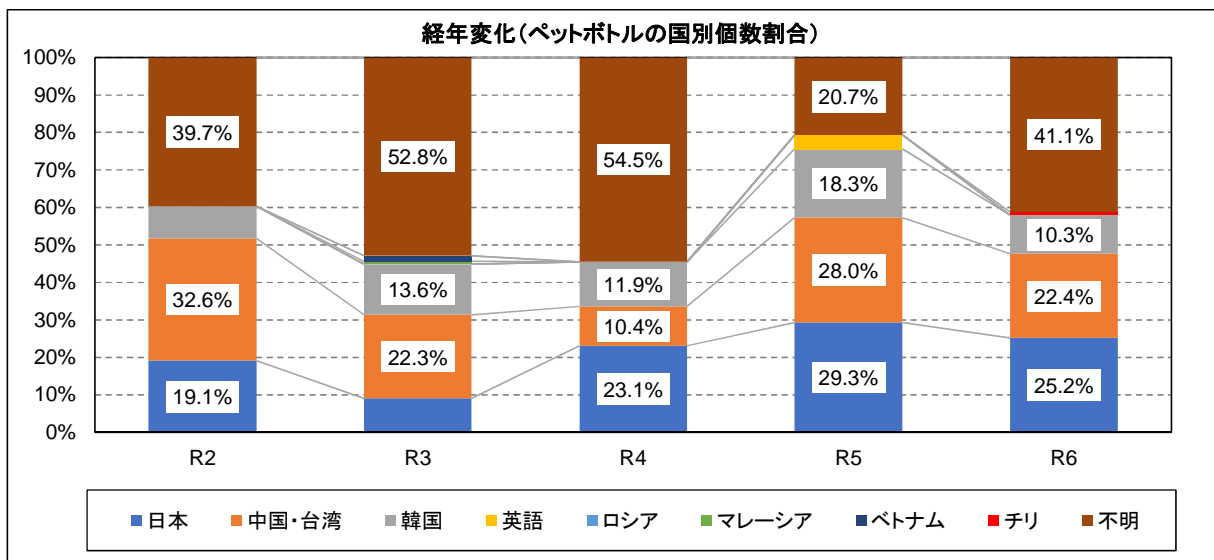
表-21 ペットボトルキャップの国別集計結果

	R2		R3		R4		R5		R6	
	個数	割合(%)	個数	割合(%)	個数	割合(%)	個数	割合(%)	個数	割合(%)
日本	9	9.0	76	7.2	33	7.3	53	8.8	39	11.5
中国・台湾	16	16.0	184	17.5	51	11.3	57	9.5	43	12.7
韓国	7	7.0	112	10.6	38	8.4	63	10.5	43	12.7
英語	8	8.0	0	0.0	0	0.0	48	8.0	0	0.0
ロシア	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
マレーシア	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
ベトナム	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.3
タイ	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.3
不明	60	60.0	680	64.6	328	72.9	378	63.1	212	62.5
総計	100	100.0	1,052	100.0	450	100.0	599	100.0	339	100.0



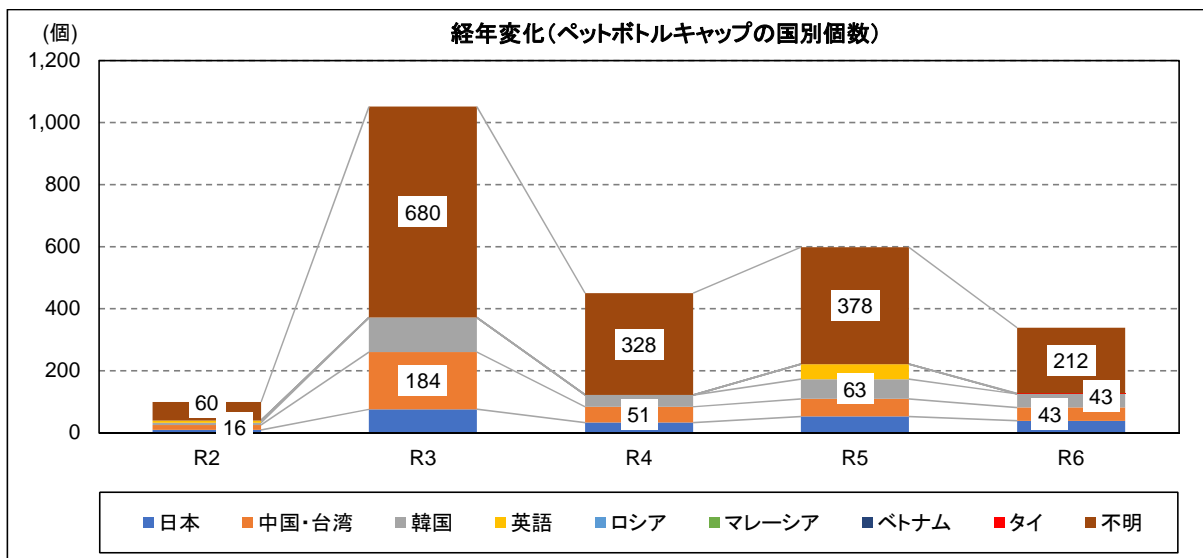
※グラフ内は不明及び各年度で最大の国名の値を表示

図-41 ペットボトルの国別の個数比較 (個)



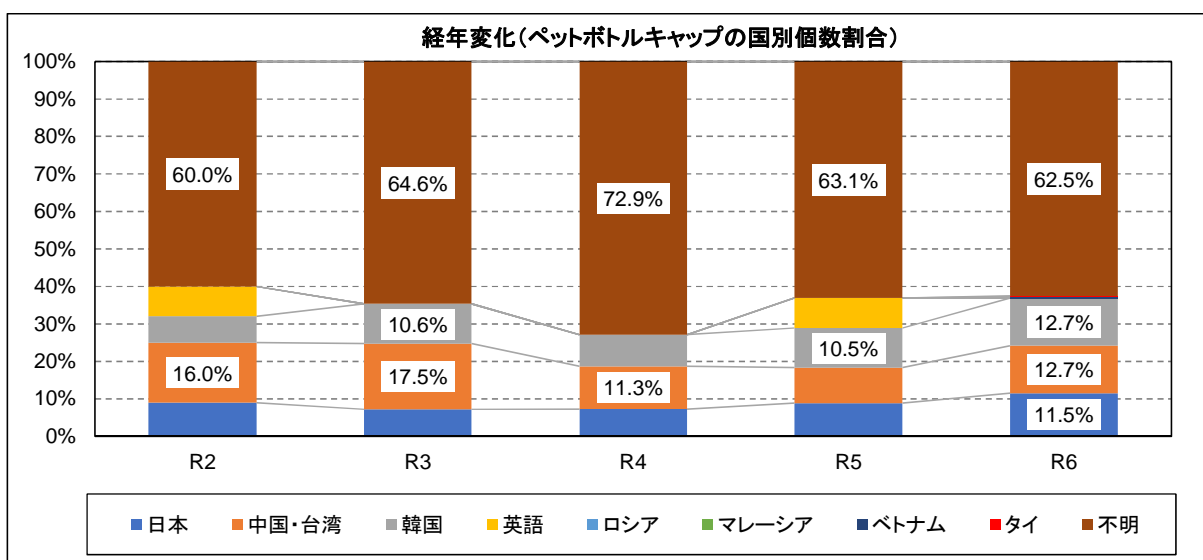
※グラフ内は10%以上の値のみ表示

図-42 ペットボトルの国別の個数割合比較 (%)



※グラフ内は不明及び各年度で最大の国名の値を表示

図-43 ペットボトルキャップの国別の個数比較 (個)



※グラフ内は10%以上の値のみ表示

図-44 ペットボトルキャップの国別の個数割合比較 (%)

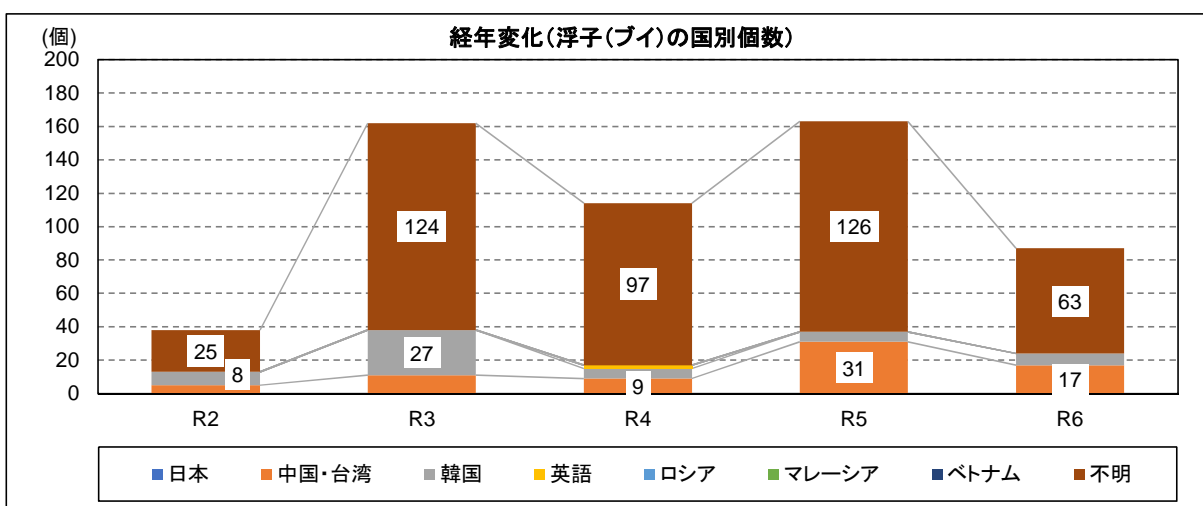


## (2) 浮子（ブイ）の国別組成

各年度の調査結果を浮子（ブイ）の国別の個数について比較した結果を以降に示す。令和5年度が最も多くみられたが、組成比は概ね同様の傾向であった。

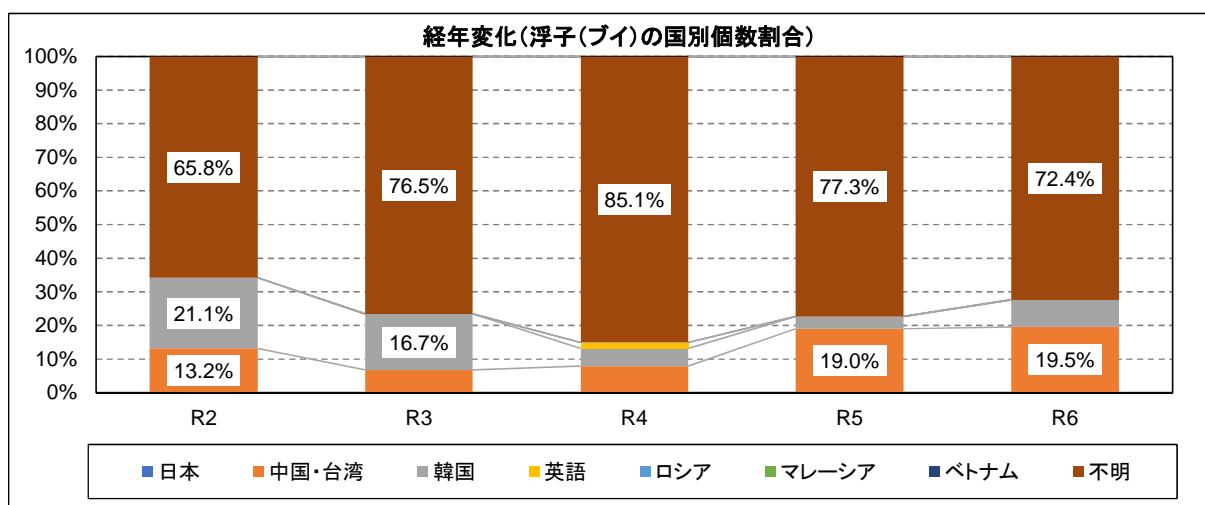
表-22 浮子（ブイ）の国別集計結果

	R2		R3		R4		R5		R6	
	個数	割合(%)	個数	割合(%)	個数	割合(%)	個数	割合(%)	個数	割合(%)
日本	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
中国・台湾	5	13.2	11	6.8	9	7.9	31	19.0	17	19.5
韓国	8	21.1	27	16.7	6	5.3	6	3.7	7	8.0
英語	0	0.0	0	0.0	2	1.8	0	0.0	0	0.0
ロシア	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
マレーシア	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
ベトナム	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明	25	65.8	124	76.5	97	85.1	126	77.3	63	72.4
総計	38	100.0	162	100.0	114	100.0	163	100.0	87	100.0



※グラフ内は不明及び各年度で最大の国名の値を表示

図-45 浮子（ブイ）の国別の個数比較（個）



※グラフ内は10%以上の値のみ表示

図-46 浮子（ブイ）の国別の個数割合比較（%）

## 6-6 プラ分類別調査結果の比較

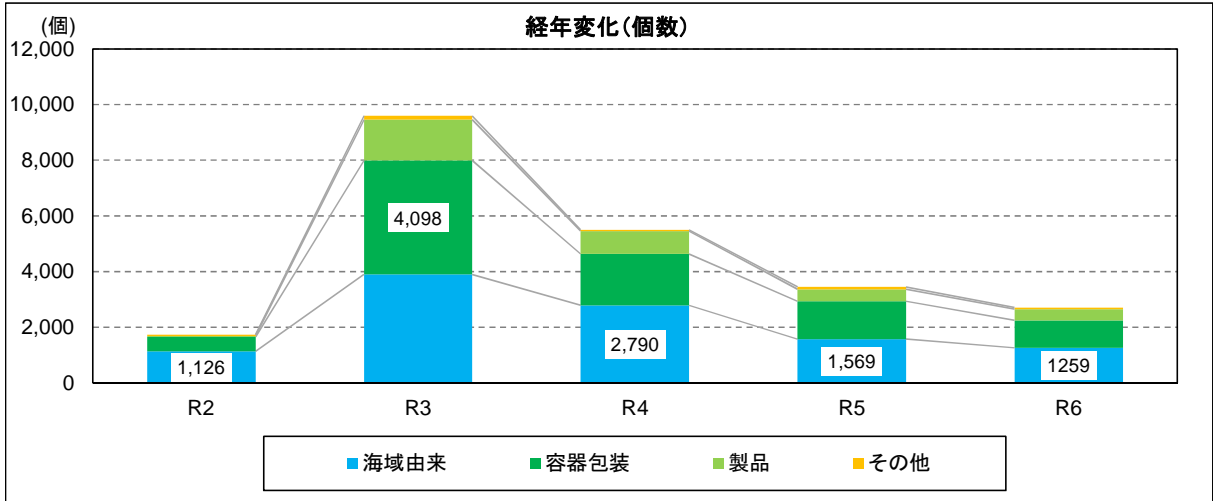
各年度の調査結果をプラ分類別に個数、重量について比較した結果を以降に示す。なお、プラ分類とは、プラスチック類の用途別に分類したもので、環境省「漂着ごみ組成調査データシート（令和5年6月 第3版）」漂着ごみの分類表（表-2参照）に従って分類を行った。

以降に示した個数、重量によるプラ分類の結果をみると、令和3年度をピークに以降は減少傾向となっているが、組成比については大きな変化は見られなかった。

次に、令和5年度と令和6年度のプラスチック類の組成比の変化を比較するため、組成比における比率の増減を個数、重量について求め、表-25、表-26に示した。個数では「カキ養殖用まめ管（長さ1.5cm）」、「ボトルのキャップ、ふた」、「ライター」などの割合が減少し、「ロープ、ひも（漁具）」、「飲料用（ペットボトル）＜1L」、「生活雑貨（歯ブラシ等）」などの割合の増加が見られた。重量では「硬質プラスチック破片」、「ロープ、ひも（漁具）」、「シートや袋の破片」などの割合が減少し、「浮子（ブイ）（漁具）」、「発泡スチロール製フロート・浮子（ブイ）」、「飲料用（ペットボトル）＜1L」などの割合の増加が見られた。

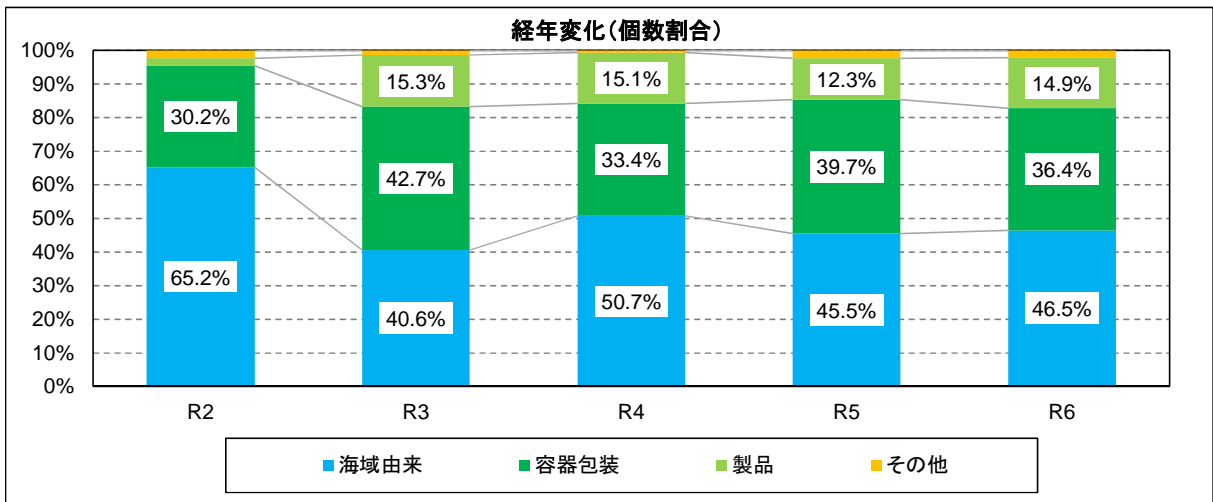
表-23 プラ分類別集計結果（個数／個）

	R2		R3		R4		R5		R6	
	個数	割合(%)	個数	割合(%)	個数	割合(%)	個数	割合(%)	個数	割合(%)
海域由来	1,126	65.2	3,893	40.6	2,790	50.7	1,569	45.5	1,259	46.5
容器包装	522	30.2	4,098	42.7	1,837	33.4	1,369	39.7	986	36.4
製品	38	2.2	1,473	15.3	832	15.1	424	12.3	405	14.9
その他	41	2.4	136	1.4	39	0.7	83	2.4	60	2.2
総計	1,727	100.0	9,600	100.0	5,498	100.0	3,445	100.0	2,710	100.0



※グラフ内は各年度で最大の値を表示

図-47 プラ分類別の個数比較（個）

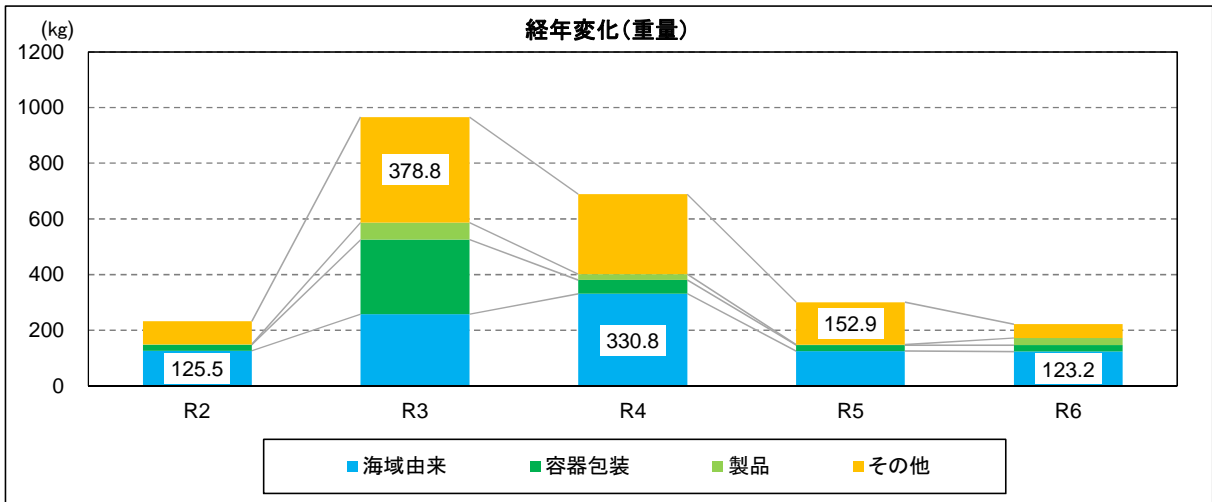


※グラフ内は10%以上の値のみ表示

図-48 プラ分類別の個数割合比較（%）

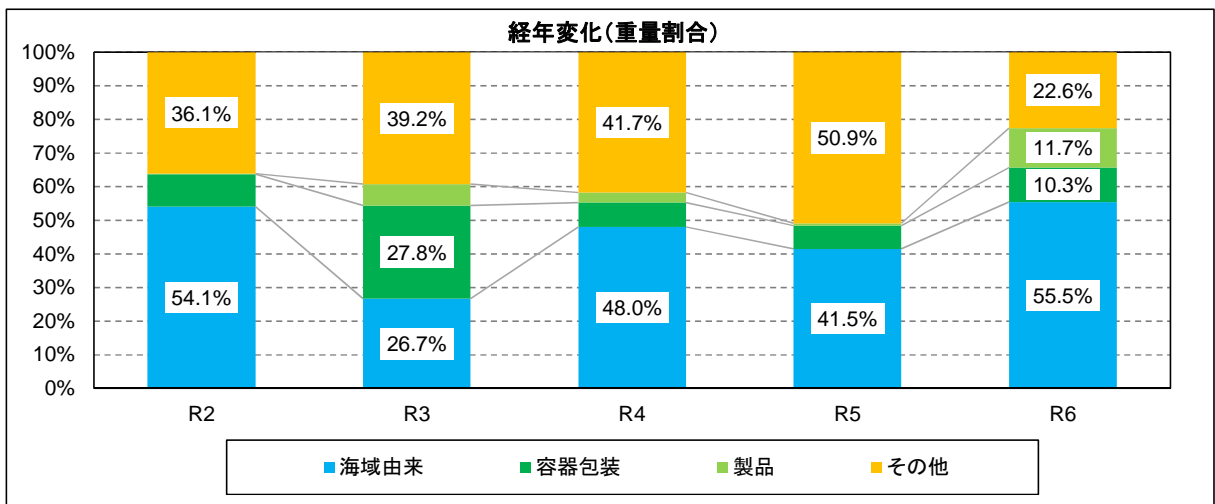
表-24 プラ分類別集計結果（重量/kg）

	R2		R3		R4		R5		R6	
	重量	割合(%)	重量	割合(%)	重量	割合(%)	重量	割合(%)	重量	割合(%)
海域由来	125.5	54.1	257.5	26.7	330.8	48.0	124.8	41.5	123.2	55.5
容器包装	22.3	9.6	268.2	27.8	50.2	7.3	20.7	6.9	22.8	10.3
製品	0.4	0.2	61.3	6.3	20.3	2.9	2.2	0.7	25.9	11.7
その他	83.7	36.1	378.8	39.2	287.3	41.7	152.9	50.9	50.1	22.6
総計	231.9	100.0	965.7	100.0	688.5	100.0	300.5	100.0	222.1	100.0



※グラフ内は各年度で最大の値を表示

図-49 プラ分類別の重量比較 (kg)



※グラフ内は10%以上の値のみ表示

図-50 プラ分類別の重量割合比較 (%)

表-25 令和5年度・令和6年度のプラスチック類の組成比（個数）

（差分（％）の降順）

分類項目（プラスチック類）	個数（個）					
	R5 （個）	R6 （個）	差分 （個）	R5 （％）	R6 （％）	差分 （％）
ロープ、ひも（漁具）	1,044	902	-142	29.6	33.3	3.7
その他の漁具	1	85	84	0.0	3.1	3.1
分類に無いもの（メッシュコンテナ）	0	68	68	0.0	2.5	2.5
飲料用（ペットボトル）＜1L	73	93	20	2.1	3.4	1.4
生活雑貨（歯ブラシ等）	60	80	20	1.7	3.0	1.3
食品容器	44	60	16	1.2	2.2	1.0
その他2（名称不明）	0	26	26	0.0	1.0	1.0
分類に無いもの（漁具でないプラ製ロープ、ひも）	0	22	22	0.0	0.8	0.8
分類に無いもの（釣りのえさ入れ）	0	14	14	0.0	0.5	0.5
分類に無いもの（ふた）	0	11	11	0.0	0.4	0.4
玩具	7	14	7	0.2	0.5	0.3
アナゴ筒（フタ、筒）（漁具）	67	59	-8	1.9	2.2	0.3
飲料用（ペットボトル）≥1L	9	14	5	0.3	0.5	0.3
分類に無いもの（コーキング剤）	0	7	7	0.0	0.3	0.3
その他の釣具	0	5	5	0.0	0.2	0.2
漁網（漁具）	0	4	4	0.0	0.1	0.1
その他のプラボトル類≥1L	24	22	-2	0.7	0.8	0.1
釣り糸	0	3	3	0.0	0.1	0.1
カキ養殖用パイプ（長さ10-20cm）（漁具）	12	12	0	0.3	0.4	0.1
その他プラスチック袋	11	11	0	0.3	0.4	0.1
カップ、食器	1	2	1	0.0	0.1	0.0
テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）	63	49	-14	1.8	1.8	0.0
その他1（マスク）	1	1	0	0.0	0.0	0.0
たばこ吸殻（フィルター）	0	0	0	0.0	0.0	0.0
花火	0	0	0	0.0	0.0	0.0
コップ、食器（発泡スチロール）	0	0	0	0.0	0.0	0.0
発泡スチロール製包装材	0	0	0	0.0	0.0	0.0
その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
苗木ポット	4	3	-1	0.1	0.1	-0.0
レジ袋	4	2	-2	0.1	0.1	-0.0
シリンジ、注射器	7	3	-4	0.2	0.1	-0.1
ストロー	116	82	-34	3.3	3.0	-0.3
発泡スチロール製フロート・浮子（ブイ）	28	9	-19	0.8	0.3	-0.5
釣りのルアー・浮き	63	26	-37	1.8	1.0	-0.8
プラスチック梱包材	36	5	-31	1.0	0.2	-0.8
食品の容器包装	33	2	-31	0.9	0.1	-0.9
その他のプラボトル＜1L	132	78	-54	3.7	2.9	-0.9
食品容器（発泡スチロール）	39	6	-33	1.1	0.2	-0.9
浮子（ブイ）（漁具）	135	78	-57	3.8	2.9	-1.0
ウレタン	83	33	-50	2.4	1.2	-1.1
マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	88	34	-54	2.5	1.3	-1.2
ライター	77	16	-61	2.2	0.6	-1.6
ボトルのキャップ、ふた	964	693	-271	27.3	25.6	-1.8
かご漁具	80	0	-80	2.3	0.0	-2.3
カキ養殖用まめ管（長さ1.5cm）（漁具）	220	76	-144	6.2	2.8	-3.4
合計	3,526	2,710	-816	100.0	100.0	0.0

表-26 令和5年度・令和6年度のプラスチック類の組成比（重量）

（差分（％）の降順）

分類項目（プラスチック類）	重量(kg)					
	R5 (kg)	R6 (kg)	差分 (kg)	R5 (%)	R6 (%)	差分 (%)
浮子(ブイ)(漁具)	28.22	49.52	21.30	9.4	22.3	12.9
その他2(名称不明)	0.00	23.54	23.54	0.0	10.6	10.6
分類に無いもの(メッシュコンテナ)	0.00	19.88	19.88	0.0	9.0	9.0
発泡スチロール製フロート・浮子(ブイ)	1.32	14.81	13.49	0.4	6.7	6.2
飲料用(ペットボトル)<1L	3.26	5.86	2.60	1.1	2.6	1.6
その他の漁具	0.37	2.60	2.23	0.1	1.2	1.0
漁網(漁具)	0.00	2.28	2.28	0.0	1.0	1.0
分類に無いもの(ふた)	0.00	1.98	1.98	0.0	0.9	0.9
その他のプラボトル<1L	4.35	5.08	0.73	1.4	2.3	0.8
その他のプラボトル類≥1L	6.36	6.56	0.20	2.1	3.0	0.8
生活雑貨(歯ブラシ等)	0.57	1.86	1.29	0.2	0.8	0.6
アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	2.20	2.71	0.51	0.7	1.2	0.5
ボトルのキャップ、ふた	2.83	3.14	0.31	0.9	1.4	0.5
分類に無いもの(コーキング剤)	0.00	0.79	0.79	0.0	0.4	0.4
ウレタン	1.00	1.34	0.34	0.3	0.6	0.3
食品容器	0.36	0.81	0.45	0.1	0.4	0.2
テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	0.04	0.47	0.43	0.0	0.2	0.2
分類に無いもの(釣りのえさ入れ)	0.00	0.20	0.20	0.0	0.1	0.1
分類に無いもの(漁具でないプラ製ロープ、ひも)	0.00	0.10	0.10	0.0	0.0	0.0
玩具	0.10	0.16	0.06	0.0	0.1	0.0
カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	0.11	0.13	0.02	0.0	0.1	0.0
その他の釣具	0.00	0.04	0.04	0.0	0.0	0.0
釣り糸	0.00	0.03	0.03	0.0	0.0	0.0
レジ袋	0.05	0.06	0.01	0.0	0.0	0.0
シリンジ、注射器	0.04	0.04	-0.01	0.0	0.0	0.0
ストロー	0.13	0.10	-0.03	0.0	0.0	0.0
たばこ吸殻(フィルター)	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0	0.0
花火	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0	0.0
その他1(マスク)	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0	0.0
コップ、食器(発泡スチロール)	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0	0.0
発泡スチロール製包装材	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0	0.0
その他	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0	0.0
カップ、食器	0.07	0.05	-0.02	0.0	0.0	-0.0
苗木ポット	0.11	0.03	-0.08	0.0	0.0	-0.0
その他プラスチック袋	0.45	0.28	-0.17	0.1	0.1	-0.0
食品容器(発泡スチロール)	0.11	0.02	-0.09	0.0	0.0	-0.0
釣りのルアー・浮き	0.49	0.29	-0.20	0.2	0.1	-0.0
マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	0.25	0.11	-0.14	0.1	0.0	-0.0
プラスチック梱包材	0.32	0.16	-0.16	0.1	0.1	-0.0
食品の容器包装	0.19	0.05	-0.15	0.1	0.0	-0.0
カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	0.24	0.05	-0.20	0.1	0.0	-0.1
発泡スチロールの破片	0.91	0.35	-0.56	0.3	0.2	-0.1
ライター	0.83	0.19	-0.64	0.3	0.1	-0.2
かご漁具	1.07	0.00	-1.07	0.4	0.0	-0.4
飲料用(ペットボトル)≥1L	2.40	0.78	-1.62	0.8	0.4	-0.4
シートや袋の破片	1.92	0.28	-1.64	0.6	0.1	-0.5
ロープ、ひも(漁具)	90.75	50.76	-39.99	30.2	22.9	-7.3
硬質プラスチック破片	149.09	24.62	-124.47	49.6	11.1	-38.5
合計	300.50	222.08	-78.43	100.0	100.0	0.0

## 6-7 ヒアリング調査

水晶浜における海岸漂着物の状況の要因についての検討のため下記の項目についてヒアリング調査を実施した。

- ・ 例年と比較した今年のごみの状況
- ・ 漂着ごみが多く溜まり始める時期
- ・ 気象海象の影響
- ・ 清掃活動

調査は美浜町役場住民環境課及び美浜町役場観光誘客課を対象に電話でのヒアリングを行った。聞き取りができた範囲で取りまとめた内容を以下の表-27 に示す。また、過年度の清掃の有無などの状況についても含めて検討するために、今回の調査に加え令和2年度、令和3年度、令和4年度、令和5年度のヒアリング結果もあわせて記載した。

表-27(1) ヒアリング調査結果(1/2)

ヒアリング項目	回答
例年と比較した今年のごみの状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 例年よりは気持ち軽い感じがする</li> <li>・ 浜に上がったものが再度海へ流されたりする</li> <li>・ 春先よりは減っている印象</li> </ul>
漂着ごみが多く溜まり始める時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冬の荒れる時期に増える</li> <li>・ R5年度はさほど荒れた日が多くなかった印象</li> <li>・ 調査区域周辺部分はゴミが溜まりやすい場所</li> </ul>
気象海象の影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水晶浜では風向き、潮の流れによって増減する [特に海が荒れた回数]</li> <li>・ R3 2、3回程度</li> <li>・ R4 1回程度</li> </ul>

表-27(2) ヒアリング調査結果(2/2)

ヒアリング項目	回答
清掃活動	<p>〈令和2年〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月 美浜町住民環境課による清掃の実施。</li> <li>・美浜町観光戦略課と関係団体による清掃の中止。</li> <li>・海水浴場の開設中止。地元の方々による清掃活動もあまり実施されていなかったと思われる。</li> </ul> <p>〈令和3年〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月頃から地元の方々により清掃活動実施。</li> <li>・5、6月頃 美浜町役場担当課、竹波区にて清掃を実施。</li> </ul> <p>〈令和4年〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年の夏は海水浴場を開設、海水浴のシーズン後は令和4年の4月まで清掃を行っていない。ただし地元住民の方々により時々清掃がされていた可能性はある。</li> <li>・4月以降 県外からのボランティアなどによる清掃活動、サーファーによる清掃活動を実施。</li> <li>・美しい浜プロジェクト ボランティアによる清掃。</li> <li>・美浜町による一斉清掃。</li> <li>・5月 美浜中学校によるふるいを使ったプラスチック採集や清掃の実施。</li> </ul> <p>〈令和5年〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年の夏は海水浴場を開設、海水浴のシーズン後は令和5年の4月まで清掃を行っていない。</li> <li>・4月 美しい浜プロジェクト ボランティアによる清掃。 (参加者：300名程度)</li> <li>・美浜町による一斉清掃。</li> <li>・6月 クリーンザシーキャンペーン 清掃イベント。 (参加者見込み：100-150名程度)</li> </ul> <p>〈令和6年〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4/7：ボランティア清掃</li> <li>・4/21：町の行事として清掃</li> </ul>



## 6-8 気象状況（降水量・風速・風向）の比較

ヒアリング調査により、冬季に漂着ごみが増加することが推測される。そのため、調査が実施された令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）の冬季、春季（12月～翌4月）の降水量と風速風向について気象庁の観測結果を用いて比較を行った。

過去4年間の12月～翌4月の降水量を表-28及び図-51に、風速風向については表-29及び図-52に示した。

降水量については、各年度とも冬季（12月～2月）はまとまった降雨が見られるが、春季（3月～4月）にかけて次第に降水量が少なくなっている。

風速・風向については、各年度とも冬季（12月～2月）は南西の風であったが、春季（3月～4月）は北北西の風へと風向が変化し、静穏の割合も高くなっている。また、降雨時期及び風速・風向については各年度とも同程度であり大きな変化は見られなかった。

※1 雨、風の強さの表現については、気象庁ホームページ「予報用語」を参照した。

([https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/yougo\\_hp/mokuji.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/yougo_hp/mokuji.html))

※2 季節区分については、気象庁ホームページ「予報用語」を参照した。

([https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/yougo\\_hp/toki.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/yougo_hp/toki.html))

表-28(1) 5か年(2020年度~2024年度)12月~4月における美浜観測所の日合計降水量

2020年度 12月~2月	降水量(mm) (日合計)	2021年度 12月~2月	降水量(mm) (日合計)	2022年度 12月~2月	降水量(mm) (日合計)	2023年度 12月~2月	降水量(mm) (日合計)	2024年度 12月~2月	降水量(mm) (日合計)
2019/12/1	0.0	2020/12/1	5.0	2021/12/1	31.0	2022/12/1	15.5	2023/12/1	13.5
2019/12/2	18.5	2020/12/2	0.0	2021/12/2	16.5	2022/12/2	33.5	2023/12/2	35.0
2019/12/3	6.0	2020/12/3	8.5	2021/12/3	0.0	2022/12/3	0.0	2023/12/3	4.0
2019/12/4	13.5	2020/12/4	1.5	2021/12/4	19.5	2022/12/4	3.0	2023/12/4	0.5
2019/12/5	39.0	2020/12/5	0.0	2021/12/5	0.0	2022/12/5	1.0	2023/12/5	0.0
2019/12/6	19.0	2020/12/6	0.0	2021/12/6	4.5	2022/12/6	3.5	2023/12/6	0.0
2019/12/7	0.5	2020/12/7	0.0	2021/12/7	20.5	2022/12/7	0.5	2023/12/7	1.0
2019/12/8	0.0	2020/12/8	8.5	2021/12/8	10.0	2022/12/8	3.0	2023/12/8	0.0
2019/12/9	0.0	2020/12/9	3.5	2021/12/9	0.0	2022/12/9	1.0	2023/12/9	0.0
2019/12/10	0.0	2020/12/10	3.0	2021/12/10	0.0	2022/12/10	0.0	2023/12/10	0.0
2019/12/11	0.0	2020/12/11	0.0	2021/12/11	0.0	2022/12/11	4.5	2023/12/11	12.5
2019/12/12	15.0	2020/12/12	9.5	2021/12/12	9.0	2022/12/12	0.0	2023/12/12	8.0
2019/12/13	1.5	2020/12/13	10.0	2021/12/13	8.0	2022/12/13	2.5	2023/12/13	1.0
2019/12/14	17.0	2020/12/14	52.5	2021/12/14	0.0	2022/12/14	5.0	2023/12/14	0.0
2019/12/15	0.5	2020/12/15	51.0	2021/12/15	0.0	2022/12/15	4.5	2023/12/15	10.5
2019/12/16	0.0	2020/12/16	86.0	2021/12/16	5.5	2022/12/16	17.0	2023/12/16	16.0
2019/12/17	6.0	2020/12/17	20.5	2021/12/17	54.5	2022/12/17	14.5	2023/12/17	18.0
2019/12/18	15.0	2020/12/18	4.5	2021/12/18	21.5	2022/12/18	4.0	2023/12/18	44.0
2019/12/19	0.0	2020/12/19	39.5	2021/12/19	6.5	2022/12/19	1.0	2023/12/19	7.0
2019/12/20	4.0	2020/12/20	9.5	2021/12/20	4.5	2022/12/20	0.5	2023/12/20	3.5
2019/12/21	0.0	2020/12/21	30.5	2021/12/21	0.0	2022/12/21	1.0	2023/12/21	0.0
2019/12/22	0.5	2020/12/22	0.0	2021/12/22	3.5	2022/12/22	11.5	2023/12/22	9.5
2019/12/23	6.5	2020/12/23	1.0	2021/12/23	0.0	2022/12/23	0.0	2023/12/23	24.0
2019/12/24	1.5	2020/12/24	0.5	2021/12/24	0.0	2022/12/24	12.0	2023/12/24	0.5
2019/12/25	0.0	2020/12/25	58.5	2021/12/25	20.5	2022/12/25	12.0	2023/12/25	0.0
2019/12/26	6.5	2020/12/26	14.5	2021/12/26	22.0	2022/12/26	2.5	2023/12/26	0.5
2019/12/27	18.0	2020/12/27	0.0	2021/12/27	35.0	2022/12/27	1.0	2023/12/27	5.5
2019/12/28	0.0	2020/12/28	4.0	2021/12/28	7.0	2022/12/28	0.0	2023/12/28	0.0
2019/12/29	0.0	2020/12/29	0.0	2021/12/29	0.0	2022/12/29	6.5	2023/12/29	1.0
2019/12/30	3.5	2020/12/30	40.0	2021/12/30	15.5	2022/12/30	16.5	2023/12/30	0.0
2019/12/31	2.5	2020/12/31	25.0	2021/12/31	23.0	2022/12/31	5.5	2023/12/31	14.0
2020/1/1	3.0	2021/1/1	21.0	2022/1/1	5.5	2023/1/1	2.0	2024/1/1	1.5
2020/1/2	23.5	2021/1/2	16.5	2022/1/2	17.0	2023/1/2	16.0	2024/1/2	0.0
2020/1/3	0.5	2021/1/3	13.0	2022/1/3	14.0	2023/1/3	34.5	2024/1/3	3.0
2020/1/4	13.0	2021/1/4	0.0	2022/1/4	10.0	2023/1/4	66.5	2024/1/4	9.0
2020/1/5	1.5	2021/1/5	3.0	2022/1/5	0.5	2023/1/5	16.0	2024/1/5	0.0
2020/1/6	0.0	2021/1/6	4.5	2022/1/6	7.0	2023/1/6	17.5	2024/1/6	0.0
2020/1/7	8.0	2021/1/7	2.0	2022/1/7	1.0	2023/1/7	11.5	2024/1/7	31.5
2020/1/8	10.5	2021/1/8	0.0	2022/1/8	0.0	2023/1/8	8.5	2024/1/8	5.0
2020/1/9	4.0	2021/1/9	0.0	2022/1/9	0.0	2023/1/9	7.5	2024/1/9	0.0
2020/1/10	2.0	2021/1/10	15.5	2022/1/10	0.0	2023/1/10	0.5	2024/1/10	0.5
2020/1/11	0.0	2021/1/11	3.0	2022/1/11	15.5	2023/1/11	0.0	2024/1/11	0.0
2020/1/12	2.0	2021/1/12	3.5	2022/1/12	2.5	2023/1/12	0.0	2024/1/12	25.0
2020/1/13	5.0	2021/1/13	0.0	2022/1/13	16.0	2023/1/13	11.0	2024/1/13	27.0
2020/1/14	0.0	2021/1/14	0.0	2022/1/14	4.5	2023/1/14	11.5	2024/1/14	0.0
2020/1/15	6.0	2021/1/15	0.0	2022/1/15	0.0	2023/1/15	0.0	2024/1/15	9.0
2020/1/16	2.0	2021/1/16	11.5	2022/1/16	2.0	2023/1/16	1.0	2024/1/16	1.0
2020/1/17	1.5	2021/1/17	23.0	2022/1/17	24.5	2023/1/17	0.0	2024/1/17	0.0
2020/1/18	0.0	2021/1/18	4.0	2022/1/18	9.0	2023/1/18	15.0	2024/1/18	17.0
2020/1/19	0.0	2021/1/19	9.5	2022/1/19	21.5	2023/1/19	4.0	2024/1/19	0.0
2020/1/20	0.5	2021/1/20	0.0	2022/1/20	5.5	2023/1/20	0.5	2024/1/20	4.5
2020/1/21	7.5	2021/1/21	0.0	2022/1/21	0.5	2023/1/21	2.5	2024/1/21	22.0
2020/1/22	1.0	2021/1/22	2.5	2022/1/22	0.0	2023/1/22	0.0	2024/1/22	5.0
2020/1/23	11.0	2021/1/23	16.0	2022/1/23	4.0	2023/1/23	1.5	2024/1/23	0.5
2020/1/24	0.0	2021/1/24	11.0	2022/1/24	0.0	2023/1/24	15.5	2024/1/24	47.5
2020/1/25	0.0	2021/1/25	0.0	2022/1/25	0.0	2023/1/25	8.0	2024/1/25	6.0
2020/1/26	0.0	2021/1/26	1.5	2022/1/26	1.5	2023/1/26	0.0	2024/1/26	5.5
2020/1/27	3.5	2021/1/27	10.5	2022/1/27	0.5	2023/1/27	1.0	2024/1/27	4.5
2020/1/28	6.5	2021/1/28	4.0	2022/1/28	0.0	2023/1/28	33.5	2024/1/28	10.5
2020/1/29	14.5	2021/1/29	11.0	2022/1/29	8.0	2023/1/29	18.5	2024/1/29	0.0
2020/1/30	46.5	2021/1/30	4.5	2022/1/30	1.0	2023/1/30	9.5	2024/1/30	0.0
2020/1/31	15.0	2021/1/31	1.5	2022/1/31	5.0	2023/1/31	0.5	2024/1/31	1.5
2020/2/1	0.5	2021/2/1	8.0	2022/2/1	3.5	2023/2/1	2.5	2024/2/1	4.5
2020/2/2	0.0	2021/2/2	24.0	2022/2/2	5.0	2023/2/2	0.5	2024/2/2	0.0
2020/2/3	3.0	2021/2/3	16.5	2022/2/3	1.5	2023/2/3	0.0	2024/2/3	0.0
2020/2/4	0.0	2021/2/4	8.0	2022/2/4	10.0	2023/2/4	3.5	2024/2/4	0.5
2020/2/5	7.0	2021/2/5	6.0	2022/2/5	32.5	2023/2/5	1.0	2024/2/5	19.5
2020/2/6	4.5	2021/2/6	0.5	2022/2/6	35.0	2023/2/6	0.0	2024/2/6	1.5
2020/2/7	0.0	2021/2/7	1.5	2022/2/7	4.0	2023/2/7	0.0	2024/2/7	9.0
2020/2/8	10.5	2021/2/8	7.5	2022/2/8	1.5	2023/2/8	5.0	2024/2/8	0.0
2020/2/9	1.0	2021/2/9	9.0	2022/2/9	0.0	2023/2/9	0.0	2024/2/9	0.0
2020/2/10	9.0	2021/2/10	1.5	2022/2/10	0.0	2023/2/10	17.0	2024/2/10	17.5
2020/2/11	0.0	2021/2/11	4.0	2022/2/11	0.0	2023/2/11	0.0	2024/2/11	14.0
2020/2/12	5.0	2021/2/12	0.0	2022/2/12	0.0	2023/2/12	0.0	2024/2/12	9.5
2020/2/13	2.5	2021/2/13	0.0	2022/2/13	0.0	2023/2/13	2.0	2024/2/13	0.0
2020/2/14	0.0	2021/2/14	0.5	2022/2/14	0.0	2023/2/14	3.0	2024/2/14	0.0
2020/2/15	0.0	2021/2/15	49.0	2022/2/15	18.0	2023/2/15	0.5	2024/2/15	9.0
2020/2/16	36.0	2021/2/16	5.0	2022/2/16	0.0	2023/2/16	0.0	2024/2/16	4.0
2020/2/17	5.5	2021/2/17	6.5	2022/2/17	14.0	2023/2/17	0.0	2024/2/17	0.0
2020/2/18	20.0	2021/2/18	23.5	2022/2/18	3.0	2023/2/18	2.0	2024/2/18	0.0
2020/2/19	0.0	2021/2/19	0.5	2022/2/19	8.5	2023/2/19	23.5	2024/2/19	8.0
2020/2/20	1.0	2021/2/20	0.0	2022/2/20	15.5	2023/2/20	9.0	2024/2/20	2.0
2020/2/21	0.0	2021/2/21	0.0	2022/2/21	9.5	2023/2/21	2.0	2024/2/21	12.0
2020/2/22	3.0	2021/2/22	0.0	2022/2/22	28.0	2023/2/22	0.0	2024/2/22	7.0
2020/2/23	2.0	2021/2/23	2.0	2022/2/23	12.5	2023/2/23	2.0	2024/2/23	0.0
2020/2/24	0.0	2021/2/24	0.0	2022/2/24	18.0	2023/2/24	3.0	2024/2/24	0.0
2020/2/25	7.5	2021/2/25	0.0	2022/2/25	0.5	2023/2/25	0.5	2024/2/25	10.0
2020/2/26	2.0	2021/2/26	0.5	2022/2/26	0.0	2023/2/26	0.5	2024/2/26	1.0
2020/2/27	3.5	2021/2/27	0.0	2022/2/27	1.5	2023/2/27	0.0	2024/2/27	3.0
2020/2/28	0.0	2021/2/28	0.0	2022/2/28	0.0	2023/2/28	0.0	2024/2/28	0.0
2020/2/29	2.5							2024/2/29	11.5

表-28(2) 5か年(2020年度~2024年度)12月~4月における美浜観測所の日合計降水量

2020年度 3月~4月	降水量(mm) (日合計)	2021年度 3月~4月	降水量(mm) (日合計)	2022年度 3月~4月	降水量(mm) (日合計)	2023年度 3月~4月	降水量(mm) (日合計)	2024年度 3月~4月	降水量(mm) (日合計)
2020/3/1	0.0	2021/3/1	0.0	2022/3/1	4.5	2023/3/1	8.5	2024/3/1	14.5
2020/3/2	0.0	2021/3/2	39.5	2022/3/2	1.5	2023/3/2	13.5	2024/3/2	9.5
2020/3/3	0.5	2021/3/3	0.0	2022/3/3	0.0	2023/3/3	0.0	2024/3/3	0.0
2020/3/4	8.5	2021/3/4	0.0	2022/3/4	0.0	2023/3/4	0.0	2024/3/4	2.5
2020/3/5	14.5	2021/3/5	6.0	2022/3/5	1.0	2023/3/5	0.0	2024/3/5	22.0
2020/3/6	0.0	2021/3/6	1.0	2022/3/6	1.0	2023/3/6	0.0	2024/3/6	2.0
2020/3/7	1.0	2021/3/7	0.0	2022/3/7	0.0	2023/3/7	0.0	2024/3/7	0.0
2020/3/8	12.5	2021/3/8	0.0	2022/3/8	0.0	2023/3/8	0.0	2024/3/8	8.5
2020/3/9	0.0	2021/3/9	0.0	2022/3/9	0.0	2023/3/9	0.0	2024/3/9	7.0
2020/3/10	7.0	2021/3/10	0.0	2022/3/10	0.0	2023/3/10	0.5	2024/3/10	1.5
2020/3/11	12.5	2021/3/11	0.0	2022/3/11	0.0	2023/3/11	0.0	2024/3/11	0.0
2020/3/12	0.5	2021/3/12	1.5	2022/3/12	0.0	2023/3/12	0.0	2024/3/12	23.0
2020/3/13	0.0	2021/3/13	30.0	2022/3/13	0.0	2023/3/13	27.0	2024/3/13	0.5
2020/3/14	1.0	2021/3/14	0.0	2022/3/14	11.5	2023/3/14	0.0	2024/3/14	0.0
2020/3/15	1.5	2021/3/15	0.0	2022/3/15	1.0	2023/3/15	0.0	2024/3/15	0.0
2020/3/16	7.0	2021/3/16	2.0	2022/3/16	0.0	2023/3/16	2.5	2024/3/16	0.0
2020/3/17	1.0	2021/3/17	0.0	2022/3/17	0.0	2023/3/17	0.0	2024/3/17	0.0
2020/3/18	8.5	2021/3/18	0.0	2022/3/18	34.5	2023/3/18	13.5	2024/3/18	0.0
2020/3/19	0.0	2021/3/19	0.0	2022/3/19	11.5	2023/3/19	0.0	2024/3/19	0.0
2020/3/20	1.0	2021/3/20	5.5	2022/3/20	0.0	2023/3/20	0.0	2024/3/20	14.0
2020/3/21	0.0	2021/3/21	26.0	2022/3/21	0.0	2023/3/21	2.0	2024/3/21	4.0
2020/3/22	2.0	2021/3/22	6.0	2022/3/22	8.0	2023/3/22	0.0	2024/3/22	0.5
2020/3/23	0.0	2021/3/23	0.0	2022/3/23	2.5	2023/3/23	2.5	2024/3/23	9.5
2020/3/24	0.0	2021/3/24	0.0	2022/3/24	1.5	2023/3/24	16.5	2024/3/24	0.5
2020/3/25	0.0	2021/3/25	2.5	2022/3/25	0.0	2023/3/25	2.0	2024/3/25	9.5
2020/3/26	0.0	2021/3/26	0.0	2022/3/26	11.0	2023/3/26	20.0	2024/3/26	30.0
2020/3/27	11.5	2021/3/27	0.0	2022/3/27	1.0	2023/3/27	0.5	2024/3/27	0.5
2020/3/28	18.0	2021/3/28	19.0	2022/3/28	0.0	2023/3/28	0.0	2024/3/28	1.5
2020/3/29	4.0	2021/3/29	0.0	2022/3/29	0.0	2023/3/29	0.0	2024/3/29	3.0
2020/3/30	0.0	2021/3/30	0.0	2022/3/30	0.0	2023/3/30	0.0	2024/3/30	0.0
2020/3/31	0.0	2021/3/31	0.0	2022/3/31	3.0	2023/3/31	0.0	2024/3/31	0.0
2020/4/1	41.5	2021/4/1	0.0	2022/4/1	0.0	2023/4/1	0.0	2024/4/1	0.0
2020/4/2	6.5	2021/4/2	0.0	2022/4/2	0.0	2023/4/2	0.0	2024/4/2	0.0
2020/4/3	0.0	2021/4/3	0.0	2022/4/3	0.0	2023/4/3	0.0	2024/4/3	26.5
2020/4/4	0.0	2021/4/4	29.5	2022/4/4	0.0	2023/4/4	0.0	2024/4/4	7.5
2020/4/5	0.0	2021/4/5	0.5	2022/4/5	0.0	2023/4/5	0.0	2024/4/5	0.0
2020/4/6	0.0	2021/4/6	0.0	2022/4/6	0.0	2023/4/6	2.0	2024/4/6	0.0
2020/4/7	0.0	2021/4/7	0.0	2022/4/7	1.0	2023/4/7	38.0	2024/4/7	0.0
2020/4/8	0.0	2021/4/8	0.0	2022/4/8	0.0	2023/4/8	5.0	2024/4/8	11.5
2020/4/9	0.0	2021/4/9	0.0	2022/4/9	0.0	2023/4/9	0.0	2024/4/9	57.0
2020/4/10	0.5	2021/4/10	0.0	2022/4/10	0.0	2023/4/10	0.0	2024/4/10	0.0
2020/4/11	0.0	2021/4/11	0.0	2022/4/11	0.0	2023/4/11	0.0	2024/4/11	0.0
2020/4/12	10.5	2021/4/12	0.0	2022/4/12	0.0	2023/4/12	2.5	2024/4/12	0.0
2020/4/13	32.0	2021/4/13	5.5	2022/4/13	0.0	2023/4/13	0.0	2024/4/13	0.0
2020/4/14	1.0	2021/4/14	6.5	2022/4/14	12.0	2023/4/14	0.0	2024/4/14	0.0
2020/4/15	0.0	2021/4/15	0.0	2022/4/15	12.0	2023/4/15	14.5	2024/4/15	0.0
2020/4/16	0.0	2021/4/16	0.0	2022/4/16	0.5	2023/4/16	8.0	2024/4/16	6.0
2020/4/17	0.0	2021/4/17	33.0	2022/4/17	0.0	2023/4/17	5.0	2024/4/17	15.0
2020/4/18	20.5	2021/4/18	6.5	2022/4/18	0.0	2023/4/18	4.0	2024/4/18	0.0
2020/4/19	7.0	2021/4/19	0.0	2022/4/19	0.0	2023/4/19	0.0	2024/4/19	0.0
2020/4/20	10.5	2021/4/20	0.0	2022/4/20	0.0	2023/4/20	0.0	2024/4/20	0.0
2020/4/21	0.5	2021/4/21	0.0	2022/4/21	2.5	2023/4/21	0.0	2024/4/21	2.5
2020/4/22	3.0	2021/4/22	0.0	2022/4/22	0.0	2023/4/22	0.0	2024/4/22	0.5
2020/4/23	10.0	2021/4/23	0.0	2022/4/23	0.0	2023/4/23	0.0	2024/4/23	10.5
2020/4/24	10.0	2021/4/24	0.0	2022/4/24	0.0	2023/4/24	0.0	2024/4/24	12.5
2020/4/25	0.0	2021/4/25	0.0	2022/4/25	0.0	2023/4/25	4.5	2024/4/25	0.5
2020/4/26	5.5	2021/4/26	0.0	2022/4/26	8.5	2023/4/26	36.5	2024/4/26	0.0
2020/4/27	0.0	2021/4/27	0.0	2022/4/27	14.5	2023/4/27	0.0	2024/4/27	0.0
2020/4/28	0.5	2021/4/28	10.0	2022/4/28	0.0	2023/4/28	0.0	2024/4/28	0.0
2020/4/29	0.0	2021/4/29	54.0	2022/4/29	28.5	2023/4/29	2.0	2024/4/29	3.5
2020/4/30	0.0	2021/4/30	4.5	2022/4/30	0.0	2023/4/30	29.0	2024/4/30	15.5

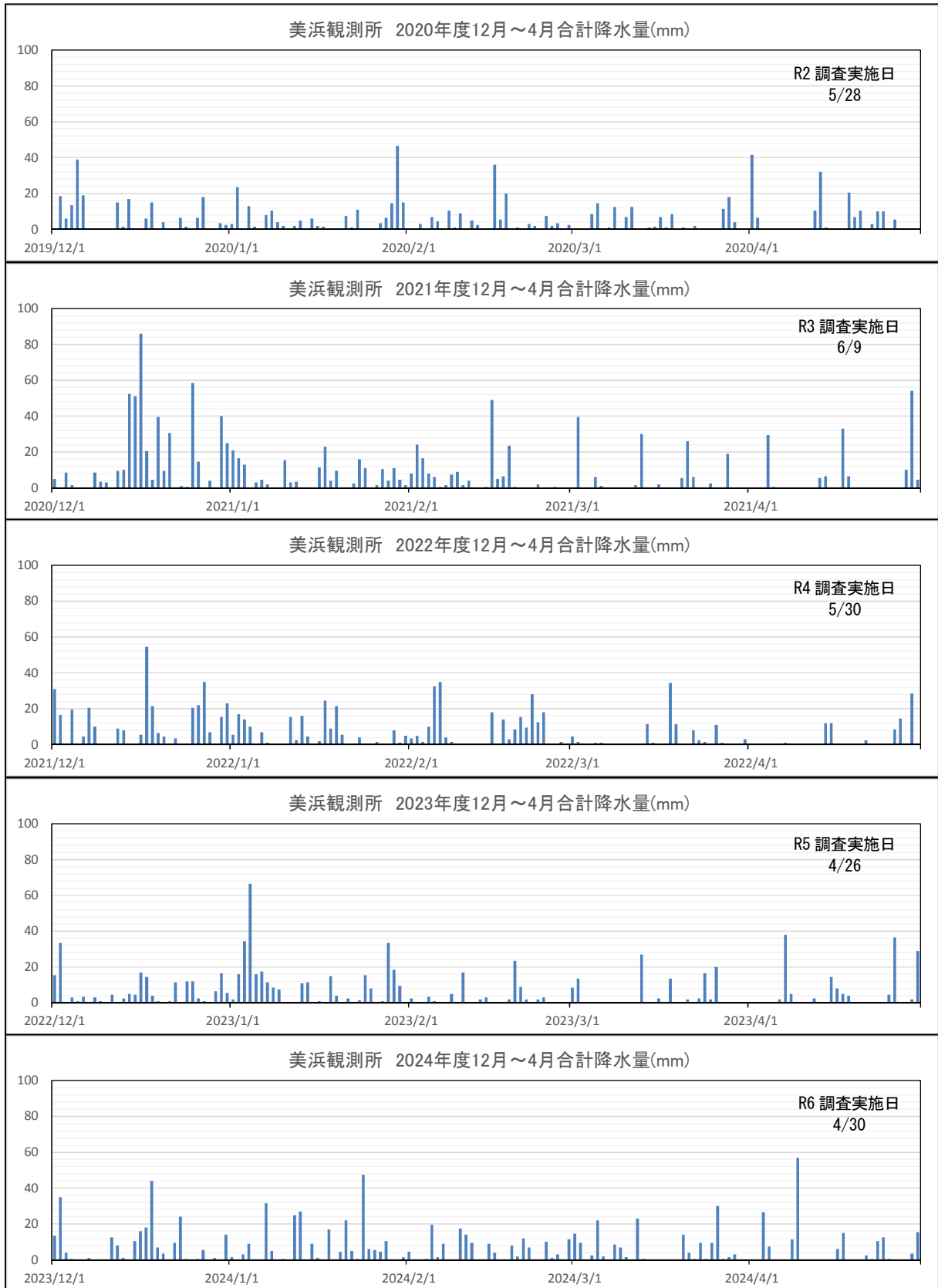


図-51 5 年（2020 年度～2024 年度）12 月～4 月における美浜観測所の日合計降水量

表-29(1) 5か年(2020年度~2024年度)12月~4月における  
美浜観測所の日平均風速と日最多風向

2020年度 12月~2月	平均風速 (m/s)	最多風向 (16方位)	2021年度 12月~2月	平均風速 (m/s)	最多風向 (16方位)	2022年度 12月~2月	平均風速 (m/s)	最多風向 (16方位)	2023年度 12月~2月	平均風速 (m/s)	最多風向 (16方位)	2024年度 12月~2月	平均風速 (m/s)	最多風向 (16方位)
2019/12/1	1.4	南南西	2020/12/1	1.3	南西	2021/12/1	4.8	西南西	2022/12/1	3.5	西北西	2023/12/1	2.4	南西
2019/12/2	4.1	西	2020/12/2	1.2	南西	2021/12/2	1.8	南西	2022/12/2	2.4	南西	2023/12/2	2.2	南西
2019/12/3	3.6	西北西	2020/12/3	3.2	北西	2021/12/3	1.8	南西	2022/12/3	1.0	南南西	2023/12/3	2.6	南西
2019/12/4	2.7	南西	2020/12/4	2.5	北北東	2021/12/4	3.9	西南西	2022/12/4	2.3	北北西	2023/12/4	1.1	南西
2019/12/5	2.9	南西	2020/12/5	1.9	南南西	2021/12/5	2.9	北東	2022/12/5	2.4	南西	2023/12/5	1.1	南西
2019/12/6	2.5	南西	2020/12/6	1.1	南南西	2021/12/6	0.9	南西	2022/12/6	3.1	南西	2023/12/6	1.2	南南西
2019/12/7	1.5	南西	2020/12/7	1.3	南南西	2021/12/7	2.3	南南西	2022/12/7	2.4	南西	2023/12/7	3.5	北西
2019/12/8	2.5	北	2020/12/8	2.3	南西	2021/12/8	5.5	北北西	2022/12/8	2.9	南西	2023/12/8	1.2	南西
2019/12/9	1.2	南西	2020/12/9	1.0	南西	2021/12/9	1.5	南南西	2022/12/9	1.1	南南西	2023/12/9	1.1	南西
2019/12/10	1.1	南南西	2020/12/10	1.0	南西	2021/12/10	1.2	南西	2022/12/10	1.2	南南西	2023/12/10	1.5	南南西
2019/12/11	1.1	南南西	2020/12/11	1.2	南南西	2021/12/11	1.1	南南西	2022/12/11	2.5	南西	2023/12/11	1.6	西南西
2019/12/12	3.7	西北西	2020/12/12	2.3	南南西	2021/12/12	2.9	西南西	2022/12/12	2.4	北東	2023/12/12	3.8	北北東
2019/12/13	1.4	南西	2020/12/13	2.7	南西	2021/12/13	3.9	北北西	2022/12/13	2.4	南西	2023/12/13	2.4	北東
2019/12/14	3.3	南西	2020/12/14	3.2	西	2021/12/14	1.0	南南西	2022/12/14	4.7	西	2023/12/14	1.0	南西
2019/12/15	3.3	北北東	2020/12/15	4.7	西南西	2021/12/15	1.4	南西	2022/12/15	3.4	南西	2023/12/15	1.4	南南西
2019/12/16	1.1	南南西	2020/12/16	4.2	西南西	2021/12/16	1.1	南西	2022/12/16	2.0	南西	2023/12/16	2.4	西北西
2019/12/17	1.1	南南西	2020/12/17	4.4	北西	2021/12/17	4.3	西	2022/12/17	1.9	南西	2023/12/17	5.4	西南西
2019/12/18	3.5	北	2020/12/18	2.1	南西	2021/12/18	4.3	北西	2022/12/18	5.6	西	2023/12/18	2.6	南西
2019/12/19	1.6	南西	2020/12/19	3.7	北北西	2021/12/19	2.8	南西	2022/12/19	4.0	南西	2023/12/19	0.8	南南西
2019/12/20	3.0	北西	2020/12/20	3.2	南西	2021/12/20	1.8	南西	2022/12/20	2.5	南西	2023/12/20	2.8	南西
2019/12/21	1.3	南西	2020/12/21	1.2	南南西	2021/12/21	1.4	南西	2022/12/21	2.3	南南東	2023/12/21	4.8	南西
2019/12/22	1.1	南南西	2020/12/22	1.4	南南西	2021/12/22	3.6	北北東	2022/12/22	2.9	南西	2023/12/22	3.4	南西
2019/12/23	1.7	南西	2020/12/23	1.1	南南西	2021/12/23	1.5	南西	2022/12/23	4.4	南西	2023/12/23	1.5	西南西
2019/12/24	1.4	南南西	2020/12/24	1.4	南西	2021/12/24	1.4	南西	2022/12/24	5.2	北西	2023/12/24	1.1	南東
2019/12/25	1.1	南南西	2020/12/25	4.2	西	2021/12/25	4.1	北北東	2022/12/25	4.8	北北西	2023/12/25	2.5	南西
2019/12/26	1.0	南西	2020/12/26	2.7	南西	2021/12/26	5.0	北西	2022/12/26	5.2	北北西	2023/12/26	1.7	南西
2019/12/27	5.8	北北西	2020/12/27	1.1	南南西	2021/12/27	4.0	西南西	2022/12/27	2.8	北西	2023/12/27	2.0	北
2019/12/28	2.3	南西	2020/12/28	1.0	南南西	2021/12/28	3.3	北	2022/12/28	1.4	南西	2023/12/28	1.1	南南西
2019/12/29	1.0	南南西	2020/12/29	1.1	南南西	2021/12/29	1.7	南西	2022/12/29	3.7	西南西	2023/12/29	2.2	南西
2019/12/30	1.4	南東	2020/12/30	5.1	北	2021/12/30	4.4	西南西	2022/12/30	2.7	西	2023/12/30	1.3	南南西
2019/12/31	4.8	北北西	2020/12/31	4.8	南西	2021/12/31	5.4	北北西	2022/12/31	2.0	南西	2023/12/31	2.8	南南西
2020/1/1	2.6	南西	2021/1/1	3.2	南西	2022/1/1	4.1	北北西	2023/1/1	2.9	南西	2024/1/1	4.3	北北東
2020/1/2	1.4	南西	2021/1/2	2.8	南西	2022/1/2	2.1	南西	2023/1/2	2.5	南西	2024/1/2	1.2	南南西
2020/1/3	3.0	南西	2021/1/3	2.7	南西	2022/1/3	1.9	南西	2023/1/3	1.9	南西	2024/1/3	1.2	南西
2020/1/4	2.7	南西	2021/1/4	2.0	南西	2022/1/4	4.7	北	2023/1/4	1.7	西南西	2024/1/4	3.2	北北東
2020/1/5	5.5	北	2021/1/5	2.0	南南西	2022/1/5	3.7	北東	2023/1/5	1.2	南西	2024/1/5	1.3	南南西
2020/1/6	2.0	東南東	2021/1/6	3.0	南西	2022/1/6	1.4	南南西	2023/1/6	1.4	南西	2024/1/6	2.3	南西
2020/1/7	1.0	南西	2021/1/7	4.5	南西	2022/1/7	4.9	北	2023/1/7	1.1	南西	2024/1/7	4.4	西
2020/1/8	4.9	西	2021/1/8	4.5	南西	2022/1/8	1.3	南西	2023/1/8	1.5	南西	2024/1/8	3.7	北
2020/1/9	3.3	北西	2021/1/9	3.5	南西	2022/1/9	2.1	南西	2023/1/9	2.0	南	2024/1/9	1.2	南西
2020/1/10	2.8	北北西	2021/1/10	2.3	南西	2022/1/10	1.7	南南西	2023/1/10	4.9	北北西	2024/1/10	1.7	南西
2020/1/11	1.5	南南西	2021/1/11	1.9	南西	2022/1/11	2.9	西	2023/1/11	1.1	南南西	2024/1/11	1.2	南南西
2020/1/12	1.3	南南西	2021/1/12	1.2	南西	2022/1/12	5.6	北西	2023/1/12	0.8	南南西	2024/1/12	2.9	南西
2020/1/13	2.5	南西	2021/1/13	1.2	南西	2022/1/13	4.5	西南西	2023/1/13	1.4	南南西	2024/1/13	4.2	北北西
2020/1/14	0.9	南西	2021/1/14	2.3	南西	2022/1/14	5.6	北西	2023/1/14	1.5	南西	2024/1/14	1.5	南西
2020/1/15	2.4	南西	2021/1/15	1.1	南	2022/1/15	2.3	北	2023/1/15	1.7	北	2024/1/15	4.9	北北西
2020/1/16	1.4	南西	2021/1/16	2.7	南西	2022/1/16	1.7	南西	2023/1/16	4.0	北北東	2024/1/16	5.3	北北西
2020/1/17	0.8	南南西	2021/1/17	3.0	南西	2022/1/17	3.9	西	2023/1/17	2.5	北東	2024/1/17	1.3	南西
2020/1/18	3.5	北東	2021/1/18	2.6	南西	2022/1/18	5.2	北北西	2023/1/18	1.8	南西	2024/1/18	1.9	南西
2020/1/19	1.2	南西	2021/1/19	5.1	北北西	2022/1/19	1.3	南西	2023/1/19	1.4	南西	2024/1/19	2.4	北北東
2020/1/20	2.9	西	2021/1/20	2.2	北東	2022/1/20	4.6	北	2023/1/20	3.3	南南西	2024/1/20	0.6	南南西
2020/1/21	3.9	北北東	2021/1/21	1.1	南西	2022/1/21	5.3	北	2023/1/21	3.6	北	2024/1/21	3.3	北北西
2020/1/22	1.3	南南西	2021/1/22	0.7	南南西	2022/1/22	1.2	北東	2023/1/22	1.1	南南西	2024/1/22	2.2	南西
2020/1/23	0.9	南西	2021/1/23	0.7	南西	2022/1/23	1.0	南南西	2023/1/23	1.1	南南西	2024/1/23	4.1	西
2020/1/24	3.1	北北東	2021/1/24	0.8	南西	2022/1/24	4.3	北北東	2023/1/24	5.4	西南西	2024/1/24	4.8	北西
2020/1/25	2.1	北東	2021/1/25	1.6	北北東	2022/1/25	1.3	南南西	2023/1/25	5.4	北北西	2024/1/25	4.9	北北西
2020/1/26	1.2	北北東	2021/1/26	3.4	南南東	2022/1/26	2.6	南西	2023/1/26	2.2	南西	2024/1/26	4.4	北北西
2020/1/27	1.2	東	2021/1/27	3.9	北北西	2022/1/27	2.7	北北東	2023/1/27	2.5	南西	2024/1/27	2.7	北北西
2020/1/28	2.0	南東	2021/1/28	1.4	南西	2022/1/28	1.2	南西	2023/1/28	3.2	西南西	2024/1/28	1.3	南南西
2020/1/29	2.7	西	2021/1/29	6.3	西	2022/1/29	2.0	南西	2023/1/29	1.6	南西	2024/1/29	1.2	南南西
2020/1/30	3.2	南西	2021/1/30	3.6	南西	2022/1/30	1.8	西	2023/1/30	3.5	南西	2024/1/30	1.3	南南西
2020/1/31	5.0	北北西	2021/1/31	2.7	北北西	2022/1/31	1.5	北北西	2023/1/31	1.7	南西	2024/1/31	1.2	南西
2020/2/1	3.9	北西	2021/2/1	1.8	東南東	2022/2/1	2.9	南西	2023/2/1	1.9	南西	2024/2/1	4.1	北北東
2020/2/2	1.1	南西	2021/2/2	3.8	西南西	2022/2/2	2.8	南西	2023/2/2	3.9	北東	2024/2/2	3.5	北北東
2020/2/3	2.8	西北西	2021/2/3	3.7	西	2022/2/3	3.0	北西	2023/2/3	1.2	南西	2024/2/3	2.9	北東
2020/2/4	2.2	北北東	2021/2/4	3.4	南西	2022/2/4	3.3	西南西	2023/2/4	2.1	南西	2024/2/4	1.9	南南西
2020/2/5	4.1	南西	2021/2/5	1.8	南南西	2022/2/5	4.6	西南西	2023/2/5	1.5	南南西	2024/2/5	1.7	南西
2020/2/6	5.1	北	2021/2/6	1.2	南	2022/2/6	4.1	北西	2023/2/6	1.1	南南西	2024/2/6	3.1	北西
2020/2/7	1.1	南西	2021/2/7	2.2	南西	2022/2/7	1.3	南西	2023/2/7	1.0	南南西	2024/2/7	2.4	南西
2020/2/8	2.8	北北西	2021/2/8	4.0	北	2022/2/8	1.0	南南西	2023/2/8	2.6	北東	2024/2/8	2.7	北北西
2020/2/9	4.5	北北西	2021/2/9	3.3	南西	2022/2/9	1.3	南南西	2023/2/9	3.3	北北東	2024/2/9	1.8	北北東
2020/2/10	3.3	北北西	2021/2/10	2.0	西南西	2022/2/10	1.8	南南西	2023/2/10	1.3	南南西	2024/2/10	1.8	南西
2020/2/11	3.1	北北西	2021/2/11	2.3	北北西	2022/2/11	1.6	北北西	2023/2/11	2.7	北北東	2024/2/11	1.8	南西
2020/2/12	2.1	南西	2021/2/12	1.1	南南西	2022/2/12	1.2	南南西	2023/2/12	1.2	南西	2024/2/12	2.5	北西
2020/2/13	1.7	南南西	2021/2/13	1.4	南東	2022/2/13	1.2	南南西	2023/2/13	3.0	北北西	2024/2/13	1.2	南西
2020/2/14	0.9	南西	2021/2/14	2.2	南東	2022/2/14	2.5	北	2023/2/14	6.0	北北西	2024/2/14	1.2	東南東
2020/2/15	1.0	南南西	2021/2/15	3.0	西	2022/2/15	2.3	南西	2023/2/15	5.4	北北西	2024/2/15	2.3	南南西
2020/2/16	1.8	西北西	2021/2/16	4.4	西	2022/2/16	4.2	西南西	2023/2/16	2.3	北北東	2024/2/16	4.9	北
2020/2/17	2.7	南南西	2021/2/17	4.9	西	2022/2/17	4.5	南西	2023/2/17	1.2	南南西	2024/2/17	1.2	南南西
2020/2/18	3.9	北北西	2021/2											

表-29(2) 5か年(2020年度~2024年度)12月~4月における  
美浜観測所の日平均風速と日最多風向

2020年度 3月~4月	平均風速 (m/s)	最多風向 (16方位)	2021年度 3月~4月	平均風速 (m/s)	最多風向 (16方位)	2022年度 3月~4月	平均風速 (m/s)	最多風向 (16方位)	2023年度 3月~4月	平均風速 (m/s)	最多風向 (16方位)	2024年度 3月~4月	平均風速 (m/s)	最多風向 (16方位)
2020/3/1	2.1	南西	2021/3/1	3.8	南南東	2022/3/1	1.2	南南西	2023/3/1	2.2	南西	2024/3/1	3.7	北西
2020/3/2	2.6	西北北西	2021/3/2	6.4	北北西	2022/3/2	1.4	南西	2023/3/2	4.4	北北西	2024/3/2	3.5	北西
2020/3/3	3.2	北北西	2021/3/3	3.5	北	2022/3/3	2.5	北	2023/3/3	2.0	北北西	2024/3/3	2.0	南西
2020/3/4	0.9	南東	2021/3/4	2.0	南東	2022/3/4	1.2	南南西	2023/3/4	2.2	南南西	2024/3/4	1.8	南西
2020/3/5	5.4	北西	2021/3/5	1.4	南東	2022/3/5	3.0	北西	2023/3/5	1.4	西北北西	2024/3/5	1.1	東南東
2020/3/6	3.3	北北西	2021/3/6	4.0	北北西	2022/3/6	5.5	北西	2023/3/6	1.4	南	2024/3/6	4.1	北北東
2020/3/7	1.5	南南西	2021/3/7	1.8	北西	2022/3/7	3.3	北	2023/3/7	1.4	南南西	2024/3/7	2.9	北北東
2020/3/8	1.6	北	2021/3/8	2.1	北北西	2022/3/8	1.6	南南西	2023/3/8	1.1	南南西	2024/3/8	3.2	西
2020/3/9	1.2	南南西	2021/3/9	1.0	北北東	2022/3/9	1.2	南南西	2023/3/9	1.2	南南東	2024/3/9	5.0	北西
2020/3/10	2.5	南東	2021/3/10	2.6	北北西	2022/3/10	1.4	南南西	2023/3/10	1.4	北	2024/3/10	2.8	北北西
2020/3/11	3.7	北北西	2021/3/11	1.4	南南西	2022/3/11	1.3	南西	2023/3/11	1.2	南南西	2024/3/11	1.3	南南西
2020/3/12	1.8	北	2021/3/12	1.2	東南東	2022/3/12	1.1	南南西	2023/3/12	3.4	南東	2024/3/12	2.3	北北西
2020/3/13	1.1	北東	2021/3/13	3.8	北西	2022/3/13	1.4	南南西	2023/3/13	3.3	西北北西	2024/3/13	3.7	北北西
2020/3/14	2.5	北	2021/3/14	3.2	北西	2022/3/14	1.0	南南西	2023/3/14	1.6	南南西	2024/3/14	1.5	南南西
2020/3/15	2.0	西南西	2021/3/15	2.0	北西	2022/3/15	2.3	北北東	2023/3/15	2.0	南東	2024/3/15	1.5	南南西
2020/3/16	4.5	北北西	2021/3/16	1.3	南西	2022/3/16	1.2	北北東	2023/3/16	1.7	西北北西	2024/3/16	1.5	南南西
2020/3/17	1.8	南南西	2021/3/17	2.6	北北西	2022/3/17	1.7	北北西	2023/3/17	1.4	北西	2024/3/17	2.4	南西
2020/3/18	1.7	南南西	2021/3/18	1.5	南西	2022/3/18	1.1	南西	2023/3/18	2.2	北北西	2024/3/18	5.0	北北西
2020/3/19	2.8	南東	2021/3/19	1.7	南西	2022/3/19	3.5	北北西	2023/3/19	1.4	南南西	2024/3/19	1.3	南南西
2020/3/20	4.0	北西	2021/3/20	2.9	南東	2022/3/20	2.1	南南西	2023/3/20	1.7	南南西	2024/3/20	5.1	北北西
2020/3/21	1.6	北北東	2021/3/21	2.6	北北西	2022/3/21	1.5	南西	2023/3/21	0.8	南西	2024/3/21	3.1	北北西
2020/3/22	2.4	北北西	2021/3/22	3.3	北北西	2022/3/22	1.6	北北西	2023/3/22	1.9	南西	2024/3/22	1.3	南西
2020/3/23	3.0	北北西	2021/3/23	1.4	南南西	2022/3/23	1.3	南南東	2023/3/23	2.7	南南東	2024/3/23	1.6	南西
2020/3/24	4.6	北北西	2021/3/24	1.5	南	2022/3/24	1.4	南南西	2023/3/24	2.0	北西	2024/3/24	0.7	南南西
2020/3/25	1.8	北	2021/3/25	0.7	南南西	2022/3/25	2.0	南東	2023/3/25	1.7	北北西	2024/3/25	0.8	南西
2020/3/26	1.4	南南西	2021/3/26	2.4	南西	2022/3/26	6.7	南東	2023/3/26	1.8	北	2024/3/26	3.9	北
2020/3/27	1.9	東南東	2021/3/27	2.1	東南東	2022/3/27	2.7	北西	2023/3/27	2.0	北西	2024/3/27	2.7	北
2020/3/28	2.8	北北西	2021/3/28	5.0	南東	2022/3/28	3.5	北北西	2023/3/28	1.8	南南西	2024/3/28	3.3	南東
2020/3/29	2.9	北北西	2021/3/29	1.3	北北東	2022/3/29	0.9	南南西	2023/3/29	1.7	南南西	2024/3/29	2.9	南南西
2020/3/30	1.1	南南西	2021/3/30	1.3	南南西	2022/3/30	1.0	北北東	2023/3/30	1.4	南南西	2024/3/30	1.9	北
2020/3/31	1.7	東南東	2021/3/31	1.7	南西	2022/3/31	2.9	北	2023/3/31	1.2	南南西	2024/3/31	1.3	北北東
2020/4/1	3.0	北北西	2021/4/1	2.1	南西	2022/4/1	5.4	北北東	2023/4/1	1.6	南西	2024/4/1	2.1	南西
2020/4/2	3.6	北北西	2021/4/2	2.3	南南東	2022/4/2	1.8	北	2023/4/2	2.2	南西	2024/4/2	1.1	南南西
2020/4/3	1.3	南南西	2021/4/3	2.2	南東	2022/4/3	1.3	南西	2023/4/3	1.9	北西	2024/4/3	1.9	南東
2020/4/4	2.6	南南西	2021/4/4	2.3	北西	2022/4/4	2.1	北北西	2023/4/4	1.5	南南西	2024/4/4	2.5	北西
2020/4/5	4.0	北北西	2021/4/5	4.2	北北西	2022/4/5	2.1	北西	2023/4/5	3.0	南東	2024/4/5	1.6	西北北西
2020/4/6	2.9	北北西	2021/4/6	1.5	南南西	2022/4/6	1.4	南南西	2023/4/6	4.1	南東	2024/4/6	1.4	北北東
2020/4/7	1.5	南南西	2021/4/7	1.6	北	2022/4/7	1.2	北東	2023/4/7	1.7	南東	2024/4/7	1.2	北北東
2020/4/8	2.2	南南西	2021/4/8	1.4	北西	2022/4/8	2.3	北	2023/4/8	3.3	北北西	2024/4/8	1.3	東南東
2020/4/9	2.2	北	2021/4/9	3.9	北	2022/4/9	1.6	南南西	2023/4/9	2.4	北北西	2024/4/9	5.8	北北西
2020/4/10	3.8	北北西	2021/4/10	2.3	北北西	2022/4/10	1.2	南南西	2023/4/10	1.5	南西	2024/4/10	1.9	北
2020/4/11	1.6	北	2021/4/11	1.5	北	2022/4/11	2.0	南東	2023/4/11	2.4	南東	2024/4/11	1.7	南南東
2020/4/12	1.0	北	2021/4/12	4.0	南東	2022/4/12	1.2	西南西	2023/4/12	1.4	北北西	2024/4/12	1.3	北北東
2020/4/13	3.1	北	2021/4/13	3.3	南南東	2022/4/13	1.2	北西	2023/4/13	1.4	南南東	2024/4/13	1.5	北北東
2020/4/14	3.9	北北西	2021/4/14	3.1	北北西	2022/4/14	1.3	南西	2023/4/14	1.3	南西	2024/4/14	1.4	南南西
2020/4/15	1.3	南南西	2021/4/15	1.9	北西	2022/4/15	2.5	北北西	2023/4/15	2.0	南東	2024/4/15	2.4	南東
2020/4/16	1.9	南南西	2021/4/16	5.2	南東	2022/4/16	4.2	北北西	2023/4/16	2.5	北西	2024/4/16	3.8	南東
2020/4/17	2.9	南東	2021/4/17	2.1	南南東	2022/4/17	1.5	南南西	2023/4/17	2.2	北西	2024/4/17	1.4	北北東
2020/4/18	4.3	南東	2021/4/18	4.3	西南西	2022/4/18	1.2	南南西	2023/4/18	1.3	南南西	2024/4/18	2.0	北西
2020/4/19	3.1	北北西	2021/4/19	2.1	南南西	2022/4/19	1.7	北西	2023/4/19	1.3	北北東	2024/4/19	2.4	北北西
2020/4/20	4.4	南東	2021/4/20	1.5	南	2022/4/20	1.3	北北東	2023/4/20	1.2	南南西	2024/4/20	1.3	南南西
2020/4/21	1.5	北	2021/4/21	1.4	北北東	2022/4/21	1.6	南東	2023/4/21	3.0	北北西	2024/4/21	0.8	南西
2020/4/22	3.6	西北北西	2021/4/22	1.9	南西	2022/4/22	1.5	北	2023/4/22	5.3	北北東	2024/4/22	1.0	南西
2020/4/23	2.4	西南西	2021/4/23	1.6	南南西	2022/4/23	0.8	北	2023/4/23	3.7	北北東	2024/4/23	1.4	東南東
2020/4/24	2.0	南西	2021/4/24	1.5	南南西	2022/4/24	1.1	南南西	2023/4/24	3.5	北	2024/4/24	4.2	南東
2020/4/25	2.1	南南西	2021/4/25	3.8	北北西	2022/4/25	1.3	北北東	2023/4/25	3.0	南南東	2024/4/25	1.1	北北東
2020/4/26	1.6	南南西	2021/4/26	3.9	北北西	2022/4/26	2.3	南南西	2023/4/26	3.2	北北西	2024/4/26	1.6	東南東
2020/4/27	2.2	北	2021/4/27	1.7	南東	2022/4/27	2.0	北北西	2023/4/27	1.5	北	2024/4/27	1.5	西南西
2020/4/28	1.5	北	2021/4/28	0.8	東南東	2022/4/28	2.0	北西	2023/4/28	2.1	南東	2024/4/28	1.3	北北東
2020/4/29	1.4	北	2021/4/29	1.1	北北西	2022/4/29	3.2	北	2023/4/29	3.8	南東	2024/4/29	1.6	南東
2020/4/30	1.6	南南西	2021/4/30	1.4	南南西	2022/4/30	3.0	北	2023/4/30	2.0	北	2024/4/30	1.8	北西

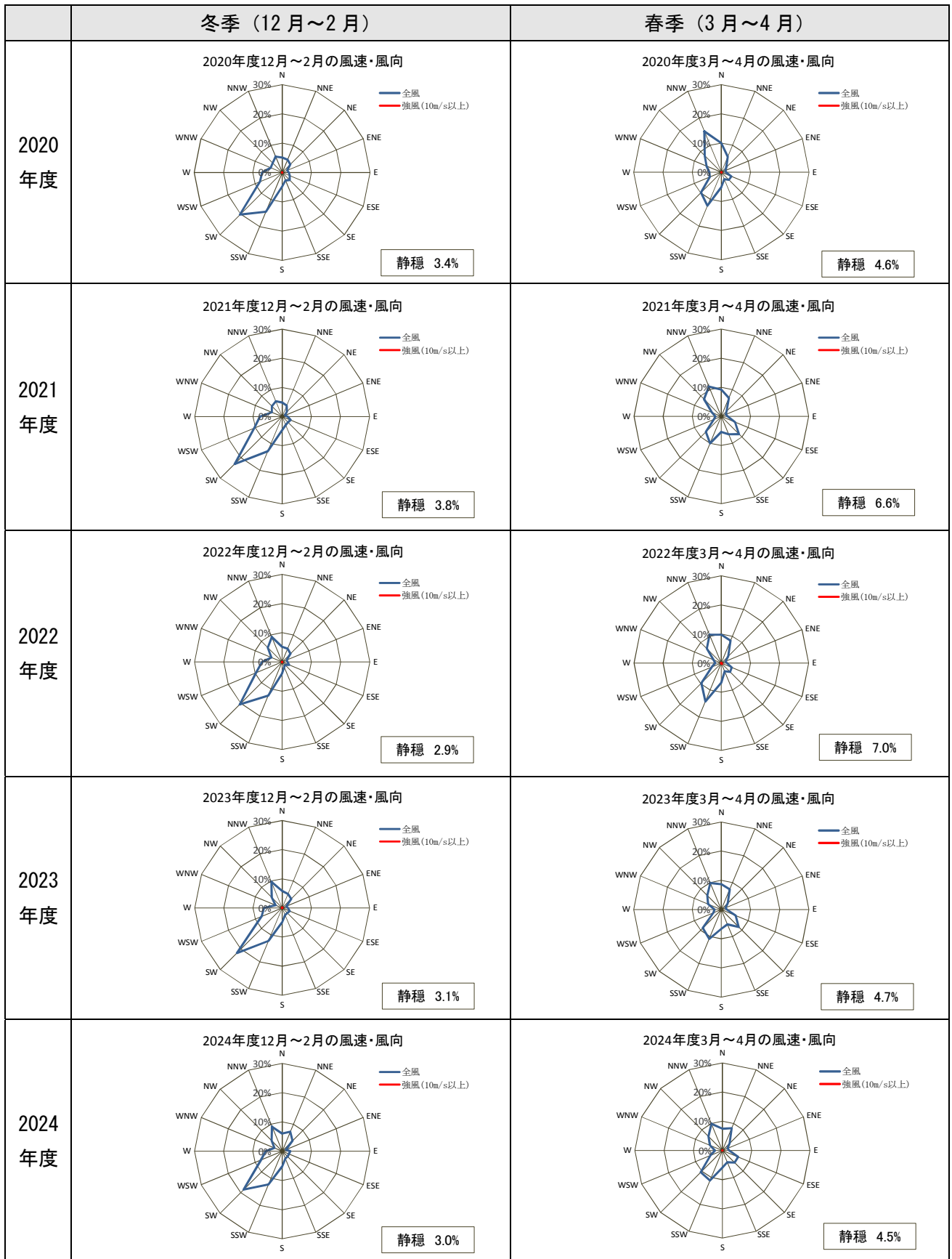


図-52 5か年(2020年度～2024年度)12月～4月における  
美浜観測所の日平均風速と日最多風向による風配図

## 7. 調査結果のまとめ

### (1) 海岸漂着物の個数、容量、重量

- ・水晶浜海水浴場における海岸漂着物について、個数は2,887個、容量は約4,760.8L、重量は約611.5kgとなっている。
- ・海岸漂着物の組成をみると、個数ではプラスチック類の割合が約94%と大半を占め、容量でも約62%と過半を占めている。重量では自然物（流木、灌木）の割合が最も高く約45%、容量では約26%を占めている。また、木材の割合も高くなっている。
- ・プラスチック類の組成（個数）は、「ロープ・ひも」、「ボトルのキャップ、ふた」の割合が高くなっている。
- ・プラスチック類の組成（重量）は、「ロープ・ひも」、「浮子（ブイ）」、「硬質プラスチック破片」の割合が高くなっている。

### (2) 海岸漂着物の国別割合

- ・ペットボトル等に記載された表記を基に判別した国別の割合は、ペットボトルは国内が約25%、ペットボトルのキャップは約12%、浮子（ブイ）は見られなかった。いずれも中国・台湾及び韓国のもものが多く見られた。

### (3) 過年度比較

- ・過年度調査（R2～R5年度）とR6年度の調査結果を比較すると、個数、容量及び重量ともに令和3年度をピークに以降は概ね減少傾向であった。個数は年々減少しているが、容量及び重量は前年と比較し微増であった。
- ・国外からのペットボトル等の漂着は、過年度同様、中国・台湾及び韓国のもものが多く確認された。
- ・5か年の降水量、風速、風向を確認したところ、漂着ごみの量が多いR3、R4年度は冬季の降雨量が多く、R5、R6年度は大きな変化はないことから、降雨の影響でごみが流出した可能性が考えられる。風速、風向については大きな変化は見られなかった。また、ヒアリング結果によると、特に冬季から春季にかけて海が荒れた際に起こる高い波の影響によりごみの漂着、再漂流が起こっているとのことから冬季から春季に漂着ごみの量が増えていると推察される。
- ・引き続き継続的に調査を実施することにより、水晶浜海水浴場の漂着物の組成や量の傾向が明らかになり、さらなる実態の把握が可能になると考えられる。